

令和 元 年度

# 工 事 設 計 仕 様 書

1 工 事 名 木染橋耐震補強等工事（第3期）

2 工事箇所 富士見市大字下南畑地内外 市道第5112号線

## 工事大要

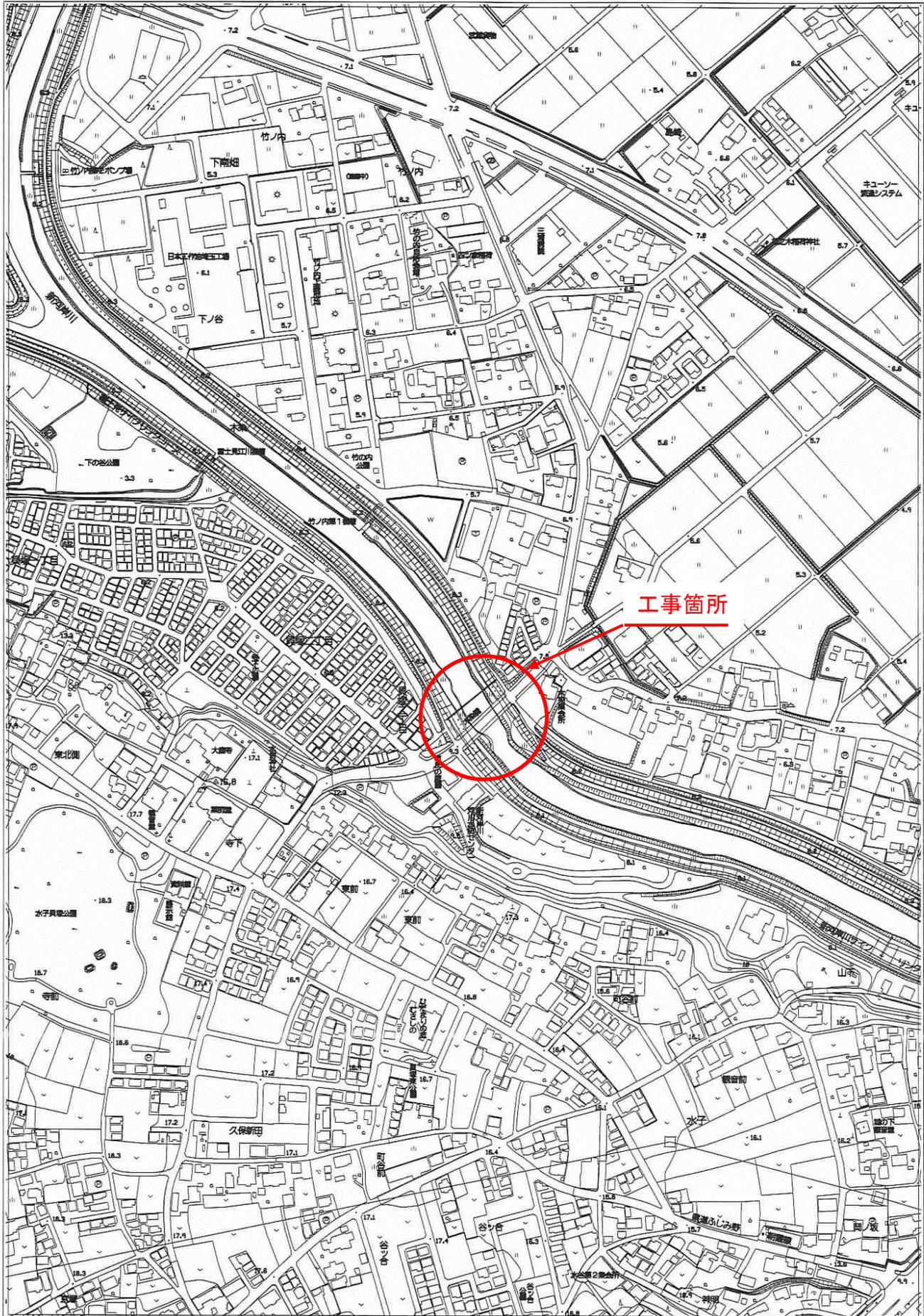
変更工事 の 大 要	
工 事 の 大 要	橋脚耐震補強工 一式 撤去工 一式 張ブロック 一式 足場工 一式 仮締切工 一式 掘削・埋戻し 一式 仮締切排水工 一式 仮設道路 一式 横断防止柵撤去復旧工 一式

富 士 見 市

# 案内図

富士見市

1:5,000



工事箇所

## 本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基
橋梁保全工事01	1	式			
橋脚耐震補強工	1	式			
橋脚耐震補強	1	式			
コンクリート削孔 D32 削孔深600mm以上690mm以下	84	箇所			P 1号
下地処理工 バキュームブラスト	224	m2			
下塗工 接着工 マグネライン工 タイプ	224	m2			代 1号
主筋組立工 SD345-D32（定着本数84本）	1	式			代 2号
ガス圧接工 D32 + D32	84	箇所			代 3号
帯筋組立工 SD345-D22	1	式			代 4号
フレア溶接	146	箇所			
中間貫通工 PC鋼棒 32	1	式			代 5号
増厚工 モルタル吹付施工 マグネライン +	1	式			代 6号
用心メッシュ取付工	228	m2			代 7号
養生工	229	m2			代 8号
表面保護工 エポキシ樹脂	229	m2			代 9号
護岸工	1	式			処:
撤去工	1	式			処:
構造物とりこわし 無筋構造物 機械施工	22	m3			代 10号
廃材持込料 Co廃材[無筋]	52	t			処:

## 本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基 準
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	22.4	m <sup>3</sup>			P 2号
構造物とりこわし 鉄筋構造物 人力施工	2.5	m <sup>3</sup>			代 11号
廃材持込料 Co廃材[有筋]	6.4	t			処:
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込	2.5	m <sup>3</sup>			P 3号
パイプロハンマ施工による引抜き 陸上施工 鋼矢板 引抜長=3m	15	枚			代 12号
パイプロハンマ施工による引抜き 陸上施工 鋼矢板 引抜長=8m	12	枚			代 13号
張ブロック	1	式			
平ブロック張 150kg/個未満 遮水シート無 吸出防止材有 連結金具無	186.9	m <sup>2</sup>			P 4号
基礎コンクリート	5.1	m			代 14号
小口止めコンクリート	6.3	m			代 15号
パイプロハンマ施工による打込み 陸上施工 鋼矢板 型 打込長=3m	15	枚			代 16号
パイプロハンマ施工による打込み 陸上施工 鋼矢板 型 打込長=8m	12	枚			代 17号
仮設工	1	式			
足場工	1	式			
足場(適用範囲外コンクリート巻立て工)	330	掛m <sup>2</sup>			P 5号
仮締切工	1	式			
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 陸上施工 鋼矢板 型	2	回			代 18号
鋼矢板圧入(Nmax 25) 陸上施工 鋼矢板 型 圧入長9m	161	枚			代 19号
鋼矢板(賃料) 360日内 型	23,012.7	t・日			

## 本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基 準
鋼矢板引抜き 陸上施工 鋼矢板 型 引抜長9m	161	枚			代 20 号
鋼矢板整備費	97.1	t			
継鋼矢板圧入(Nmax 25) 陸上施工 鋼矢板 型 継施工2箇所/枚	74	枚			代 21 号
鋼矢板引抜き 陸上施工 鋼矢板 型 引抜長9m	74	枚			代 20 号
鋼矢板購入 型 中古品	45.4	t			
鋼矢板エキストラ 形状 U形(11~1VW) 長さ2m以上 6m未満	45.4	t			
スクラップ A <sup>1</sup> -H2	46.8	t			
ガス切断 鋼矢板	148	箇所			代 22 号
切梁・腹起し設置	26.9	t			代 23 号
H形鋼賃料	6,375	t・日			
H形鋼整備料	26.9	t			
副部材賃料	1,659	t・日			
修理費及び損耗費 副部材(A)	5.9	t			
修理費及び損耗費 副部材(B)	1.1	t			
切梁・腹起し撤去	26.9	t			代 24 号
鋼矢板 SYW295 1/2型(10H、25H、45H)	7	t			
スクラップ A <sup>1</sup> -H2	7	t			
鋼管杭 規格SKK400 長さ6~12m以下	12.2	t			
スクラップ A <sup>1</sup> -H2	12.2	t			

## 本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基 準
コンビジャイロ工法圧入 ハット形鋼矢板10HL=11.5鋼管杭 800L=17.5		日			代 25 号
コンビジャイロ工法引抜 ハット形鋼矢板10HL=11.5鋼管杭 800L=17.5		日			代 26 号
土工	1	式			
掘削・埋戻し	1	式			
床掘り 土砂 掘削深さ5m超20m以下	1,184	m3			P 6 号
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	2,188	m3			P 7 号
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂	2,188	m3			P 8 号
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	1,004	m3			P 9 号
仮締切排水工	1	式			
ポンプ設置・撤去	1	箇所			代 27 号
ポンプ運転 常時排水 排水量0以上40m3/h未満		日			代 28 号
仮設道路工	1	式			処:
仮設道路	1	式			
掘削 小規模 土砂 標準	22	m3			P 10 号
路体(築堤)盛土 2.5m以上4.0m未満	191	m3			P 11 号
大型土のう製作・設置 設置作業半径6m以下	1,215	袋			代 29 号
大型土のう撤去 設置作業半径6m以下	1,215	袋			代 30 号
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂	2,812	m3			P 8 号
安定シート・ネット シート	570	m2			P 12 号

木染橋耐震補強等工事（第3期）

## 本工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 基 準
整備費（敷鉄板） 22×1524×6096	135	枚			
敷鉄板設置・撤去	1,254.2	m <sup>2</sup>			代 31 号
敷鉄板賃料 22×1524×6096（12ヶ月以内）	31,995	枚・日			
横断防止柵撤去復旧工	1	式			処:
横断防止柵撤去復旧	1	式			代 32 号 処:
交通誘導	1	式			
交通誘導員	1	式			
交通誘導警備員 B		人			
直接工事費計					
共通仮設費計	1	式			
共通仮設費(積上げ)	1	式			
運搬費	1	式			
仮設材等の運搬(1車1回) 往復 製品長12m以内 片道運搬距離10km	412	t			代 42 号
仮設材等の積込み・取卸し費 基地積込 現場 基地取卸	412	t			代 43 号
技術管理費	1	式			
鉄筋探査工 下向き	5	m <sup>2</sup>			代 44 号
鉄筋探査工 横向き	4	m <sup>2</sup>			代 45 号
共通仮設費(率化)	1	式			
共通仮設費率分	1	式			













木染橋耐震補強等工事（第3期）

第 6 号 代価表

増厚工 モルタル吹付施工 マグネライン +

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
土木一般世話役		人			
左官		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
マグネライン（タイプ ） t = 1.5mm	703.8	kg			
マグネライン（タイプ ） t=74.5mm	40,536	kg			
軽油 1.2号		l			
軽油 1.2号		l			
発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 15KVA		日			
空気圧縮機 1.4m <sup>3</sup> /min		日			
モルタルミキサー 100ℓ		日			
圧送ポンプ 3.0～4.0kw		日			
諸雑費		%			
計					
単位当たり					





木染橋耐震補強等工事（第3期）

第 9 号 代価表

表面保護工 エポキシ樹脂

80 m2 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
土木一般世話役		人			
塗装工		人			
普通作業員		人			
エポキシ樹脂プライマー CC-A・CC-B透明	9.6	kg			
エポキシ樹脂パテ	48	kg			
エポキシ樹脂塗料 中塗り	33.6	kg			
柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗 CC-B 淡彩	11.52	kg			
シンナー エッチングプライマー用		l			
エポキシ樹脂塗料用シンナー		l			
シンナー ポリウレタン樹脂塗料		l			
ガソリン レギュラー		l			
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 2KVA		日			
諸雑費		%			
計					
単位当たり					































木染橋耐震補強等工事（第3期）

第 25 号 代価表

コンビジャイロ工法圧入 ハット形鋼矢板10HL=11.5鋼管杭 800L=17.5

1 日 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
とび工		人			
溶接工		人			
特殊運転手		人			
コンビジャイロパイラーF301運転		日			代 36 号
水循環システム賃料 60kg/m3 60m3/min 23kw		日			
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 50t吊		日			
発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 150KVA		日			
半自動溶接機損料 500A		日			
溶接ワイヤー 溶接ワイヤー 径3.2mm	35	kg			
諸雑費		%			
計					
単位当たり					













木染橋耐震補強等工事（第3期）

第 32 号 代価表		横断防止柵撤去復旧				
				(	処:	)
				1 式 当り		
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準	
部材撤去工(ビーム・パネル) 支柱間隔3m	32	m			代 39 号	
構造物とりこわし 無筋構造物 人力施工	0.8	m <sup>3</sup>			代 40 号	
殻運搬 Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 人力積込	0.8	m <sup>3</sup>			P 3 号	
廃材持込料 Co廃材[無筋]	1.9	t			処:	
埋戻し 現場制約あり	0.8	m <sup>3</sup>			P 16 号	
掘削 小規模 土砂 標準以外	2.75	m <sup>3</sup>			P 17 号	
土砂等運搬 標準 バックホウ積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 土砂	2.75	m <sup>3</sup>			P 8 号	
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下	1.98	m <sup>2</sup>			P 18 号	
型枠 一般型枠 小型構造物	10.56	m <sup>2</sup>			P 19 号	
防護柵(横断・転落防止柵)設置工 コンクリート建込 ビーム・バネ式	32	m			代 41 号	
コンクリート バックホウ(クレーン機能付)打設 小型構造物	0.79	m <sup>3</sup>			P 20 号	
埋戻し 小規模	1.28	m <sup>3</sup>			P 21 号	
計						
単位当たり						



第 34 号 代価表

固定工（耐震補強）

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
土木一般世話役		人			
鉄筋工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
計					
単位当たり					



















第 44 号 代価表

鉄筋探查工 下向き

18 m2 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
技師（A）		人			
技師（B）		人			
技師（C）		人			
諸雑費		%			
計					
単位当たり					

木染橋耐震補強等工事（第3期）

第 45 号 代価表

鉄筋探查工 横向き

12.5 m2 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 基 準
技師（A）		人			
技師（B）		人			
技師（C）		人			
諸雑費		%			
計					
単位当たり					







木染橋耐震補強等工事（第3期）

第 4 号 施工パッケージ

平ブロック張 150kg/個未満 遮水シート無 吸出防止材有 連結金具無

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊						
【労務】						
普通作業員						
特殊運転手						
特殊作業員						
土木一般世話役						
その他(労務)						
【材料】						
平ブロック 厚さ120mm						
吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m						
再生クラッシャーラン RC-40						
軽油 1.2号						
【端数調整】						
[条件]						
[J1] = 1 ブロックの質量 150kg/個未満			[J2] = 2 平ブロック規格 平ブロック控120			
[J3] = 1 裏込材規格 再生砕石 RC-40			[J4] = 2 裏込材10m2当り使用量 1.0m3を超え3.0m3以下			
[J5] = 2 遮水シートの有無 無し			[J6] = 1 吸出し防止材の有無 有り			
[J7] = 2 連結金具の有無 無し						



















木染橋耐震補強等工事（第3期）

第 14 号 施工パッケージ

現場打基礎コンクリート 基礎砕石有

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊						
バックホウ(クローラ)[標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)						
【労務】						
型枠工						
普通作業員						
土木一般世話役						
特殊作業員						
その他(労務)						
【材料】						
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 【60%以下】						
軽油 1.2号						
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [N1] = 6 生コンクリート規格 18-8-25(20) 高炉 W/C60%以下				[J5] = 1 基礎砕石の有無 基礎砕石有り		
[J2] = 1 養生工の種類 一般養生・特殊養生(練炭)				[N3] = 1 生コン夜間割増 夜間割増なし		
[N4] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし						

木染橋耐震補強等工事（第3期）

第 15 号 施工パッケージ

現場打基礎コンクリート 基礎砕石有

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊						
バックホウ(クローラ)[標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)						
【労務】						
型枠工						
普通作業員						
土木一般世話役						
特殊作業員						
その他(労務)						
【材料】						
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉						
軽油 1.2号						
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [N1] = 5 生コンクリート規格 18-8-25(20) 高炉				[J5] = 1 基礎砕石の有無 基礎砕石有り		
[J2] = 1 養生工の種類 一般養生・特殊養生(練炭)				[N3] = 1 生コン夜間割増 夜間割増なし		
[N4] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし						





木染橋耐震補強等工事（第3期）

第 18 号 施工パッケージ

基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
バックホウ(クローラ)[標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)						
その他(機械)						
【労務】						
普通作業員						
特殊作業員						
土木一般世話役						
特殊運転手						
その他(労務)						
【材料】						
再生クラッシャーラン RC-40						
軽油 1.2号						
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件] [J1] = 2 碎石の厚さ 7.5cmを超え12.5cm以下				[J2] = 8 碎石の種類 再生クラッシャー40~0		



第 20 号 施工パッケージ

コンクリート パック材(クレーン機能付)打設 小型構造物

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格	金額 構成 比(%)	金 額	構成 比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号 基 準
【機械】						
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付] 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊						
その他(機械)						
【労務】						
普通作業員						
特殊作業員						
特殊運転手						
土木一般世話役						
その他(労務)						
【材料】						
生コンクリート 18-8-25(20) 高炉 【60%以下】						
軽油 1.2号						
その他(材料)						
【端数調整】						
[条件]						
[J1] = 2 構造物種別 小型構造物				[J9] = 2 打設工法 パック材(クレーン機能付)打設		
[N1] = 51 コンクリート規格 18-8-25(20) 高炉 W/C60%以下				[J5] = 2 養生工の種類 一般養生		
[N3] = 1 生コン夜間割増 夜間割増なし				[N4] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし		



木 染 橋 数 量 総 括 表 (1/4)

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	数 位	積 算 数 量	備 考
P2橋脚耐震補強工								
	橋脚耐震補強							
		アンカー工 (コンクリート削孔工)	φ42 (D32用) 削孔深さ L=650mm	箇所	84.000	1	84	
		樹脂注入	国交省規格 ロス率9% 主鉄筋固定 エポキシ樹脂	kg	38.900	0.1	38.9	
		下地処理工	バキュームグラスト	m <sup>2</sup>	224.070	0.1	224.1	
		下塗工	接着材 マグネリン タイプ I	m <sup>2</sup>	224.070	0.1	224.1	
		主筋組立工	SD345-D32 (定着筋84本)	t	6.080	0.01	6.08	
		サドルバンド	鉄筋固定用金具 ロス率5%	枚	618.000	1	618	
		コンクリートビス	鉄筋取付アンカー ロス率10%	本	1294.000	1	1294	
		ガス圧接工	D32+D32	箇所	84.000	1	84	
		帯鉄筋組立工	SD345-D22 (取付段数73段)	t	4.700	0.01	4.70	
		現場溶接工	フラジ溶接	箇所	146.000	1	146	
		中間貫通工						
		コンクリート削孔工	φ42*1200 (φ32用)	箇所	45.000	1	45	
		中間拘束筋	SBPR930/1080 P C 鋼棒 φ32	kg	432	1	432	
		溝形鋼	[-250×90×9×13 L=1.5m	t	0.934	0.01	0.93	
		定着具	支圧版、ナット、ワッシャーφ32用	組	90	1	90	
		樹脂注入	国交省規格 ロス率9% 主鉄筋固定エポキシ樹脂 比重1.2	kg	41.050	0.1	41.1	
		増厚工	モルタル吹付け施工 マグネリン I+II	m <sup>3</sup>	17.229	0.01	17.23	吹付体積
			マグネリンタイプ I	kg	703.8	0.01	703.80	吹付体積
			マグネリンタイプ II	kg	40536.0	0.01	40536.00	吹付体積
		用心メッシュ取付工	補強材 FRPグリッド	m <sup>2</sup>	228.354	0.1	228.4	
		養生工	鉄筋構造物	m <sup>2</sup>	229.391	0.1	229.4	
		表面保護工	プライマー、パテ: エポキシ樹脂; 中上塗: ポリウレタン樹脂	m <sup>2</sup>	229.391	0.1	229.4	
護岸工								
	撤去工	張ブロック	t =120mm	m <sup>3</sup>	22.42	0.1	22.4	

木 染 橋 数 量 総 括 表 (2/4)

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	数 位	積 算 数 量	備 考
		殻運搬	C o 無筋	m <sup>3</sup>	22.42	0.1	22.4	
				t	52.69	0.1	52.7	
		基礎コンクリート取壊し 小口止め取壊し		m <sup>3</sup>	2.54	0.1	2.5	
		殻運搬	C o 有筋	t	6.35	0.1	6.4	
		小口止矢板	II型 再利用 L=3m	枚	15.00	1	15	
		基礎コンクリート矢板	II型 再利用 L=8m	枚	12.00	1	12	
	護岸復旧工	張ブロック	t =120mm、砕石、吸出し防止材含む	m <sup>2</sup>	186.87	0.1	186.9	
		基礎コンクリート復旧		m	5.10	0.1	5.1	
		小口止め復旧		m	6.31	0.1	6.3	
仮設工								
	足場工	枠組み足場	手摺先行型枠組足場 TYPE-G	掛m <sup>2</sup>	332.200	10	330	
	仮締切工							
		U形鋼矢板						
		鋼矢板継施工無し	III型 L=10.5m 打込み長8.6m	枚	16.0	1	16	
				t	10.1	0.1	10.1	
		鋼矢板継施工	III型 L=10.5m 打込み長8.6m 2箇所 (3継)	枚	34.0	1	34	
				t	21.4	0.1	21.4	
		鋼矢板継施工無し	III型 L=10.0m 打込み長8.6m	枚	145.0	1	145	
				t	87.0	0.1	87.0	
		鋼矢板継施工	III型 L=10.0m 打込み長8.6m 2箇所 (3枚継)	枚	40.0	1	40	
				t	24.0	0.1	24.0	
			継施工無し矢板合計	枚	161.0	1	161	
				t	97.1	0.1	97.1	
			継施工2箇所矢板合計	枚	74.0	1	74	
				t	45.420	0.1	45.4	
			鉄くず (ヘビーHS) 継手材含む	t	46.800	0.1	46.8	

木 染 橋 数 量 総 括 表 (3/4)

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	数 位	積 算 数 量	備 考
		継施工箇所		箇所	148.0	1	148	
		支保工	切梁・腹起し	t	26.875	0.1	26.9	
		主部材		t	26.875	0.1	26.9	
		副部材 (A)		t	5.913	0.1	5.9	
		副部材 (B)		t	1.075	0.1	1.1	
		支保工合計		t	33.863	0.1	33.9	
		仮設材合計		t	176.4	0.1	176.4	
		ハット形鋼矢板						
		鋼矢板継施工	10H、 L=12.5m 打込み長11.1m 3箇所 (4枚継)	枚	7.0	1	7	SYW295
				t	6.955	0.1	7.0	
			鉄くず (へビーH2) 継手材含む	t	6.955	0.1	7.0	
		鋼管杭						
		継ぎ施工	φ800、L=17.5m、 t=12、打込み長16.6m	本	3.0	1	3	
				t	12.233	0.1	12.2	
		継ぎ施工箇所		箇所	3.0	1	3	
		切断延長		m	7.5	0.1	7.5	
			鉄くず (へビーHS) 継手材含む	t	12.233	0.1	12.2	
		土工						
		掘削工	床掘り 砂・礫混り砂	m <sup>3</sup>	1183.97	1	1184	
		埋戻し工	埋戻し 砂・礫混り砂	m <sup>3</sup>	1004.26	1	1004	
		残土	残土 砂・礫混り砂	m <sup>3</sup>	179.71	1	180	
		運搬工	運搬距離：1km	m <sup>3</sup>	2188.23	1	2188	
		仮締切排水工						
		ポンプ据付撤去		箇所	1.000	1	1	
		ポンプ運転	商用電源排水量0~40 (m <sup>3</sup> /h)	日	128.000	1	128	



§ 2. 数量計算書

P 2 橋脚耐震補強工 数量計算書 (1/5)

種 別	算 式	数 量
橋脚耐震補強工	<p>平面図</p> <p>断面図</p>	
アンカー工	<p>コンクリート削孔工 φ42 (D32用) 削孔深さ L=650mm</p>	
	<p>削孔箇所 N = 84</p>	= 84 箇所
樹脂注入	<p>主鉄筋固定 (エポキシ樹脂 : 比重1.2 : 国交省規格) ロス率 : 9 %</p> $V = (1 / 4 \pi \times 0.042^2 \times 0.65 \times 84 - 1 / 4 \pi \times 0.032^2 \times 0.64 \times 84) \times 1200 \text{ kg/m}^3$	= 38.9 kg
下地処理工	<p>バキュームブラスト</p> $A = (1.20 \times \pi + 8.30 \times 2) \times 11.000$	= 224.07 m <sup>2</sup>
下塗工	<p>接着材 (マグネライン タイプ I)</p> $A = (1.20 \times \pi + 8.30 \times 2) \times 11.000$	= 224.07 m <sup>2</sup>
主筋組立工	<p>SD345-D32 (定着筋 84本)</p> $W = 6081 \times 1 / 1000$ <p>鉄筋長</p>	= 6.08 t
サドルバンド	<p>鉄筋固定定着具 ロス率5%</p> $n = 11.620 / 2.000 + 1 = 7$ $N = 7 \times 84 \times 1.05$	= 618 枚

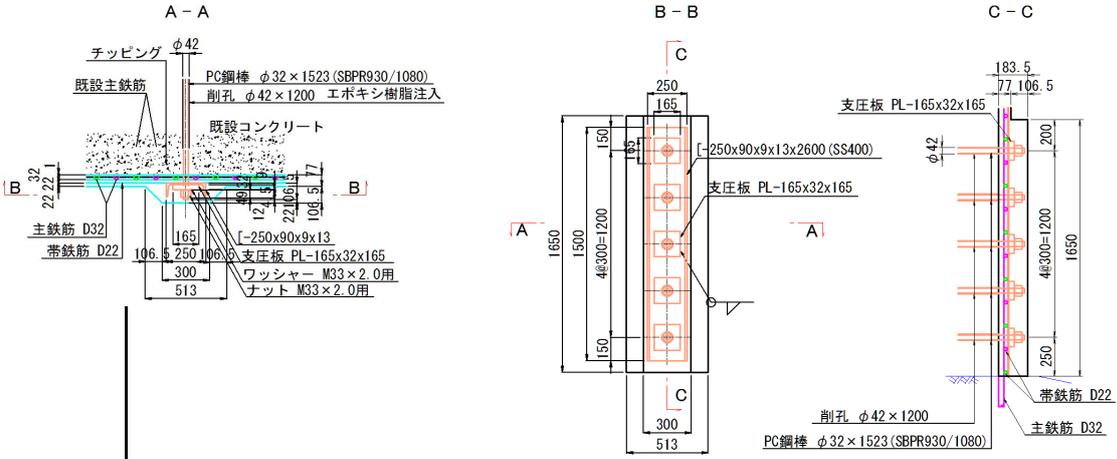
P 2 橋脚耐震補強工 数量計算書 (2/5)

種 別	算 式	数 量																																																																								
コンクリートビス	鉄筋取付アンカー ロス率10%																																																																									
	$N = 7 \times 84 \times 2 \times 1.10$	= 1294 本																																																																								
ガス圧接工	D32+D32																																																																									
	$N = 84$	= 84 箇所																																																																								
帯筋組立工	SD345-D22 (取付段数73段)																																																																									
	$W = 4700 \times 1 / 1000$	= 4.70 t																																																																								
現場溶接工	ﾌﾙｱ溶接																																																																									
	$N = 146$	= 146 箇所																																																																								
	<p><b>鉄筋重量表</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>径</th> <th>長さ (mm)</th> <th>本数</th> <th>単位重量 (kg/m)</th> <th>1本当り重量 (kg)</th> <th>重量 (kg)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P1</td> <td>D32</td> <td>11620</td> <td>84</td> <td>6.23</td> <td>72.393</td> <td>6081</td> <td>┆</td> </tr> <tr> <td>P2</td> <td>D22</td> <td>10590</td> <td>146</td> <td>3.04</td> <td>32.194</td> <td>4700</td> <td>ㄣ</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>SD345 D32</td> <td>6081 kg</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>SD345 D22</td> <td>4700 kg</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>合 計</td> <td>10781 kg</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>アンカー</td> <td>84 本</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>ガス圧接</td> <td>84 箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td>ﾌﾙｱ-溶接</td> <td>146 箇所</td> </tr> </tbody> </table>	種別	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要	P1	D32	11620	84	6.23	72.393	6081	┆	P2	D22	10590	146	3.04	32.194	4700	ㄣ							SD345 D32	6081 kg							SD345 D22	4700 kg							合 計	10781 kg							アンカー	84 本							ガス圧接	84 箇所							ﾌﾙｱ-溶接	146 箇所	
種別	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要																																																																			
P1	D32	11620	84	6.23	72.393	6081	┆																																																																			
P2	D22	10590	146	3.04	32.194	4700	ㄣ																																																																			
						SD345 D32	6081 kg																																																																			
						SD345 D22	4700 kg																																																																			
						合 計	10781 kg																																																																			
						アンカー	84 本																																																																			
						ガス圧接	84 箇所																																																																			
						ﾌﾙｱ-溶接	146 箇所																																																																			
	<p>Ⓟ<sub>2</sub> 146 × D22 × 10590 ﾌﾙｱ-溶接箇所数 : 146箇所</p>																																																																									

P 2 橋脚耐震補強工 数量計算書 (3/5)

種 別	算 式	数 量																																																																
中間貫通工																																																																		
コンクリート削孔工	<p>φ 42 (φ 32用) 削孔長 L = 1200mm</p> <p>削孔箇所 N = 9 × 5 = 45 箇所</p> <p>削孔長 L = 1.200 × 45 = 54.0 m</p>																																																																	
中間拘束筋	<p>PC鋼棒 φ 32</p> <p>W = 432 = 432 kg</p>																																																																	
溝形鋼	<p>[- 250×90×9×13</p> <p>W = 934 × 1 / 1000 = 0.934 t</p> <p>定着具 (支圧板、ナット、ワッシャー)</p> <p>N = 90 = 90 組</p> <p>PC鋼材定着部重量表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>寸法・規格</th> <th>長さ (mm)</th> <th>本数</th> <th>単位重量 (kg/m)</th> <th>1本当り重量 (kg)</th> <th>重量 (kg)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PC鋼棒</td> <td>φ 32 (SBPR930/1080)</td> <td>1523</td> <td>45</td> <td>6.31</td> <td>9.61</td> <td>432</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">合 計</td> <td>432 kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>形鋼</td> <td>[-250×90×9×13</td> <td>1500</td> <td>18</td> <td>34.6</td> <td>51.9</td> <td>934</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支圧板</td> <td>PL-165×32×165</td> <td>-</td> <td>90</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ナット</td> <td>M33×2.0用</td> <td>-</td> <td>90</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ワッシャー</td> <td>M33×2.0用</td> <td>-</td> <td>90</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">合 計</td> <td>1366 kg</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	寸法・規格	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要	PC鋼棒	φ 32 (SBPR930/1080)	1523	45	6.31	9.61	432		合 計						432 kg		形鋼	[-250×90×9×13	1500	18	34.6	51.9	934		支圧板	PL-165×32×165	-	90	-	-	-		ナット	M33×2.0用	-	90	-	-	-		ワッシャー	M33×2.0用	-	90	-	-	-		合 計						1366 kg		
種別	寸法・規格	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要																																																											
PC鋼棒	φ 32 (SBPR930/1080)	1523	45	6.31	9.61	432																																																												
合 計						432 kg																																																												
形鋼	[-250×90×9×13	1500	18	34.6	51.9	934																																																												
支圧板	PL-165×32×165	-	90	-	-	-																																																												
ナット	M33×2.0用	-	90	-	-	-																																																												
ワッシャー	M33×2.0用	-	90	-	-	-																																																												
合 計						1366 kg																																																												
樹脂注入	<p>主鉄筋固定 (エポキシ樹脂 : 比重1.2 : 国交省規格 ロス率 : 9 %</p> <p><math>V = (1 / 4 \pi \times 0.042^2 \times 54.0 - 1 / 4 \pi \times 0.032^2 \times 54.0) \times 1200 \text{ kg/m}^3 = 37.66</math></p> <p>ロス率加算 <math>V = 37.66 \times 1.09 = 41.05 \text{ kg}</math></p>																																																																	

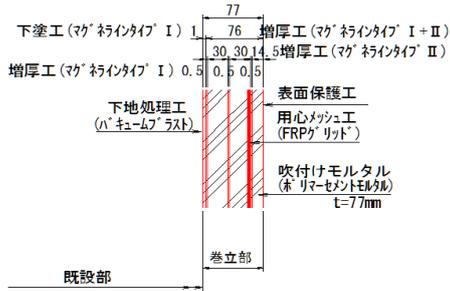
P 2 橋脚耐震補強工 数量計算書 (4/5)

種 別	算 式	数 量
<p>中間貫通PC鋼棒取付け詳細図</p> 		
増厚工	<p>モルタル吹付け施工 (マグネライン I + II)</p> $V = 0.077 \times ( 1.20 \times \pi + 8.30 \times 2 ) \times 11.000 = 17.23 \text{ m}^3$	
マグネライン	$A1 = ( 1.20 \times \pi + 8.30 \times 2 ) \times 11.000 = 224.1 \text{ m}^2$ $A2 = 1/2 \times ( 0.300 + 0.513 ) \times 1.650 \times 18 = 12.1 \text{ m}^2$	
マグネラインタイプ I	<p>単位重量 : 1800 kg/m<sup>3</sup>    厚み : t = 1.5 mm    ポス率 15 %</p> $W = 17.23 \times 1.5 / ( 1.5 + 74.5 ) \times 1800 = 612 \text{ kg}$ $W = 612 \times 1.15 = 703.8 \text{ kg}$	
マグネラインタイプ II	<p>単位重量 : 2000 kg/m<sup>3</sup>    厚み : t = 74.5 mm    ポス率 20 %</p> $W = 17.23 \times 74.5 / ( 1.5 + 74.5 ) \times 2000 = 33780 \text{ kg}$ $W = 33780 \times 1.20 = 40536.0 \text{ kg}$	
用心メッシュ工	<p>補強材 FRPカブリット かぶり t = 1200 + (1 + 0.5 × 2 + 30 × 2) × 2 = 1324mm</p> $A = ( 1.324 \times \pi + 8.30 \times 2 ) \times 11.000 = 228.354 \text{ m}^2$	
養生工	<p>鉄筋構造物 t = 1200 + 77 × 2 = 1354mm</p> $A = ( 1.354 \times \pi + 8.30 \times 2 ) \times 11.000 = 229.391 \text{ m}^3$	

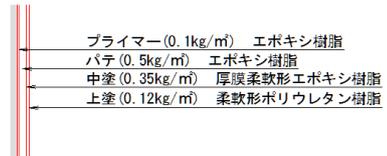
P 2 橋脚耐震補強工 数量計算書 (5/5)

種 別	算 式	数 量
表面保護工	表面保護 (プライマー、パテ:エポキシ樹脂) (中、上塗:ポリウレタン樹脂) かぶり $t = 1200 + 77 * 2 = 1354\text{mm}$  $A = ( 1.354 \times \pi + 8.30 \times 2 ) \times 11.000 = 229.391 \text{ m}^2$	229.391 m <sup>2</sup>

増厚部断面詳細図



表面保護工詳細図



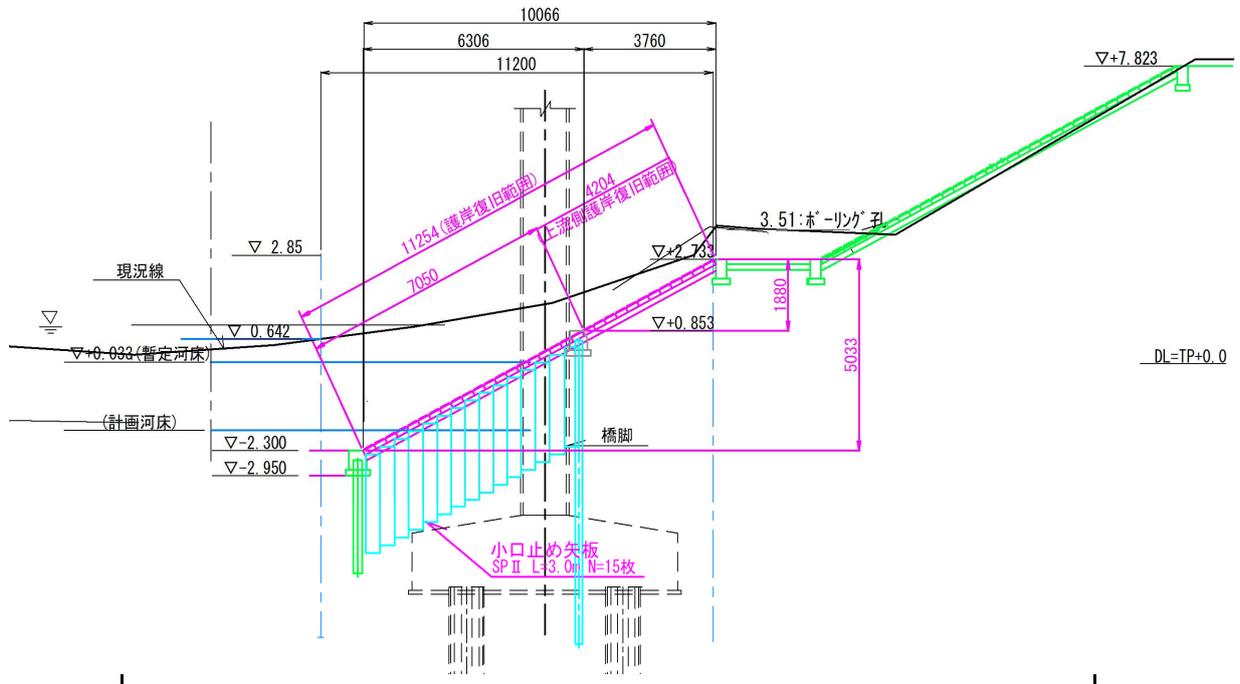
種 別	算 式	数 量
撤去工		
張ブロック	張ブロック t = 120 mm 砕石、吸出し防止材含む  $A = 11.254 \times 14.700 + 4.204 \times 5.100 = 186.87 \text{ m}^2$  $V = 186.87 \times 0.12 = 22.42 \text{ m}^3$	
殻処分	C o 無筋  $V = 22.42 = 22.42 \text{ m}^3$  $W = 22.42 \times 2.35 = 52.69 \text{ t}$	
基礎コンクリート取壊し 及び小口止め取壊し	基礎コンクリート取壊し L = 5.10 m、 小口止め取壊し L = 6.31 (有筋)  $V = 5.10 \times 2.50 \text{ } \diagdown \text{ } 10.00 + 6.31 \times 2.00 \text{ } \diagdown \text{ } 10.00 = 2.54 \text{ m}^3$  $W = 2.54 \times 2.50 = 6.35 \text{ t}$	
小口止矢板	L = 5.70 m II型 w = 60 kg L = 3 m 再利用  $N = ( 6.306 - 0.325 - 0.100 ) / 0.400 = 15.00 \text{ 枚}$	
基礎コンクリート矢板	L = 8.00 m II型 w = 60 kg 再利用  $N = 12 = 12.00 \text{ 枚}$	
護岸復旧工	厚 t = 120mm 砕石 吸出し防止材含む  $A = 186.87 = 186.87 \text{ m}^2$	
基礎コンクリート復旧	L = 5.10 m = 5.10 m	
小口止め復旧	L = 6.31 m = 6.31 m	



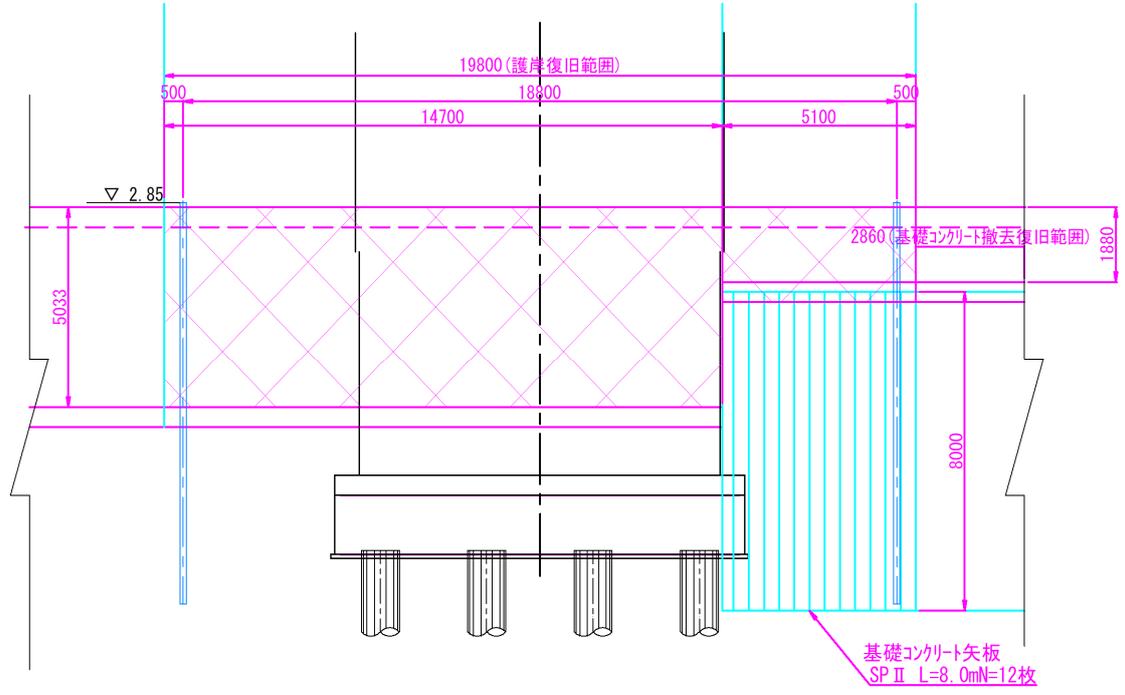
# 護岸工 数量計算書 (3/5)

種 別	算 式	数 量
-----	-----	-----

断面図  
(1-1)



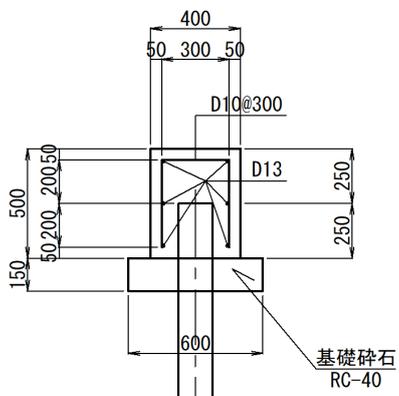
(2-2)



小口止コンクリート

10m 当材料計算書 (4/5)

略図

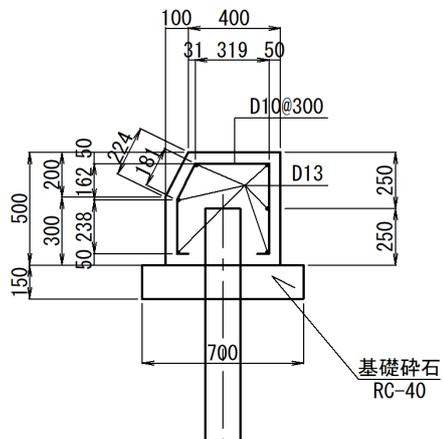


種 別	規格・寸法	算 式	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$0.5 \times 0.4 \times 10 =$	$2.0 \text{ m}^3$
同上型枠		$0.5 \times 2 \times 10 =$	$10.0 \text{ m}^2$
基礎碎石	再生切込碎石 RC-40. t = 150	$0.6 \times 10 =$	$6.0 \text{ m}^2$
鉄筋	D13	$6 \times 10 \times 0.995 =$	$59.7 \text{ kg}$
		$( 0.4 \times 2 + 0.3 \times 1 )$	
	D10	$\times 10 / 0.3 \times 0.56 =$	$20.5 \text{ kg}$

基礎コンクリート

10m 当材料計算書 (5/5)

略図



種 別	規格・寸法	算 式	数 量
		$0.5 \times 0.5 \times 10 -$	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.2 \times 0.1 / 2 \times 10 =$	$2.5 \text{ m}^3$
同上型枠		$(0.5 + 0.3 + 0.224) \times 10 =$	$10.2 \text{ m}^2$
基礎碎石	再生切込碎石 RC-40. t = 150	$0.7 \times 10 =$	$7.0 \text{ m}^2$
鉄筋	D13	$6 \times 10 \times 0.995 =$	$59.7 \text{ kg}$
		$(0.4 + 0.238 + 0.181 + 0.319 + 0.1)$	
	D10	$\times 10 / 0.3 \times 0.56 =$	$23.1 \text{ kg}$

足場工 数量計算書 (1/2)

種 別	算 式	数 量
足場工 枠組み足場	手摺先行型枠組足場 TYPE-G P2橋脚 $A = ( 2 \times ( 1.2 + 9.5 ) + 8.8 ) \times 11.0 = 332.2 \text{ 掛} \text{ m}^2$ <p style="text-align: center;">側 面 図</p> <p style="text-align: center;">正 面 図</p> <p style="text-align: center;">A - A</p> <p style="text-align: center;">1200 10500 1200 500 9500 500 1200 2200 1200 500 500 1200 1200 3400 11700</p> <p style="text-align: center;">次頁に数量算出要領を貼付する。</p>	332.2 掛m <sup>2</sup>

足場工 数量計算書 (2/2)

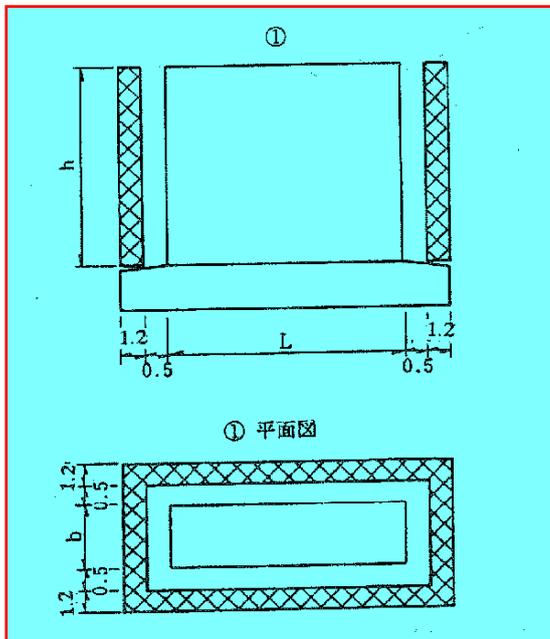
種 別

算 式

数 量

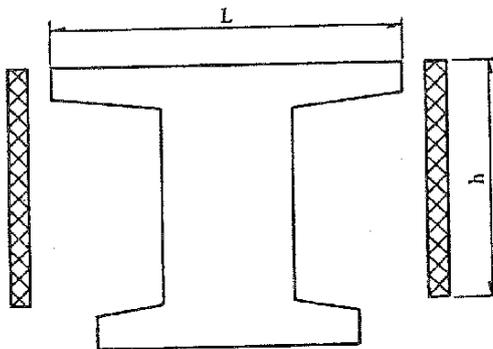
平成17年度版 土木工事数量算出要領 (案) 関東地方整備局

橋  
脚

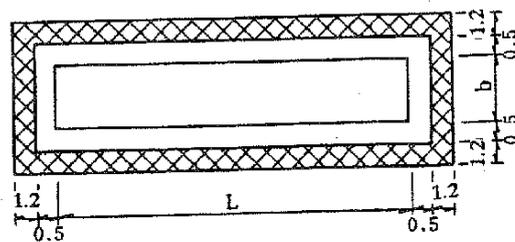


① 平面図

② (埋戻しを考慮しない場合)



② (埋戻しを考慮しない場合) 平面図



1. 枠組足場を標準とする。  
直に近い場合 (勾配1分以下) は枠
2. 高さ (h) 2.0m未満は原則  
として足場は計上しない。
3. フーチング部についても高さ (h) が  
2.0m以上の場合は足場を計上する。
4. 足場工面積 (掛 $m^2$ )

① 枠組 =  $[2 \times (b + L) + 8.8] \times h$

② (埋戻しを考慮しない場合)  
枠組 =  $[2 \times (b + L) + 8.8] \times h$

② (埋戻しを考慮する場合)  
枠組 =  $[2 \times (b + L1) + 8.8] \times h1$   
+  $[2 \times (b + L2) + 8.8]$   
 $\times h2$

③ (埋戻しを考慮しない場合)  
枠組 =  $[2 \times (b + L) + 8.8] \times h$

③ (埋戻しを考慮する場合)  
枠組 =  $[2 \times (b + L1) + 8.8] \times 2$   
 $\times h1 + [2 \times (b + L2) + 8.8]$   
 $\times h2$

④  
枠組 =  $[4 \times (b1 + b2) + 17.6]$   
 $\times h$

仮設締切工 数量計算書 (1/8)

種 別	算 式	数 量
U型鋼矢板		
①継施工無し	Ⅲ型 L = 10.5 m 打込み長 : 8.6m 単位重量 w = 60 kg/m  N = 16 = 16 枚  W = 16 × 0.0600 × 10.5 = 10.1 t	
②継施工	Ⅲ型 L = 10.5 m 打込み長 : 8.6m n = 2 箇所/枚  N = 34 = 34 枚  W = 34 × 0.0600 × 10.5 = 21.4 t  n = 34 × 2 = 68 箇所	
③継施工無し	Ⅲ型 L = 10.0 m 打込み長 : 8.6m 単位重量 w = 60 kg/m  N = 53 + 25 + 67 = 145 枚  W = 145 × 0.0600 × 10.0 = 87.0 t	
④継施工	L = 10.0 m n = 2 箇所/枚  N = 40 = 40 枚  W = 40 × 0.0600 × 10.0 = 24.0 t  n = 40 × 2 = 80 箇所	
⑤継施工無矢板重量合計	N = 16 + 145 = 161 枚  W = 10.080 + 87.000 = 97.1 t	
⑥継施工2箇所矢板重量合計	N = 34 + 40 = 74 枚  W = 21.420 + 24.000 = 45.420 t	
⑦鉄くず	(へビーH2)、継手材含む W = 45.420 + 1.380 = 46.80 t	

仮設締切工 数量計算書 (2/8)

種 別	算 式	数 量
⑧継施工箇所合計		
	$n = 68 + 80$	$= 148$ 箇所
	$W = 1.380$	$= 1.380$ t
⑨支保工 (切梁・腹起)		
	$W = 26.875$	$= 26.875$ t
主部材合計		
	$W = 26.875$	$= 26.875$ t
副部材 (A)		
	$W = 26.875 \times 0.220$	$= 5.913$ t
副部材 (B)		
	$W = 26.9 \times 0.040$	$= 1.075$ t
支保工合計		
	$W = 26.875 + 5.913 + 1.075$	$= 33.863$ t
⑩U型鋼矢板仮設材合計		
	$W = 97.080 + 45.420 + 33.863$	$= 176.4$ t
ハット型鋼矢板 10H 打込み長: 10.1m 単位重量 $w = 86.4$ m SYW295		
①継施工無し	$L = 11.5$ m	
	$N = 7$	$= 7.0$ 枚
	$W = 7 \times 0.0864 \times 11.5$	$= 6.955$ t
② 鉄くず (へビーH2)	$W = 6.955$	$= 6.955$ t

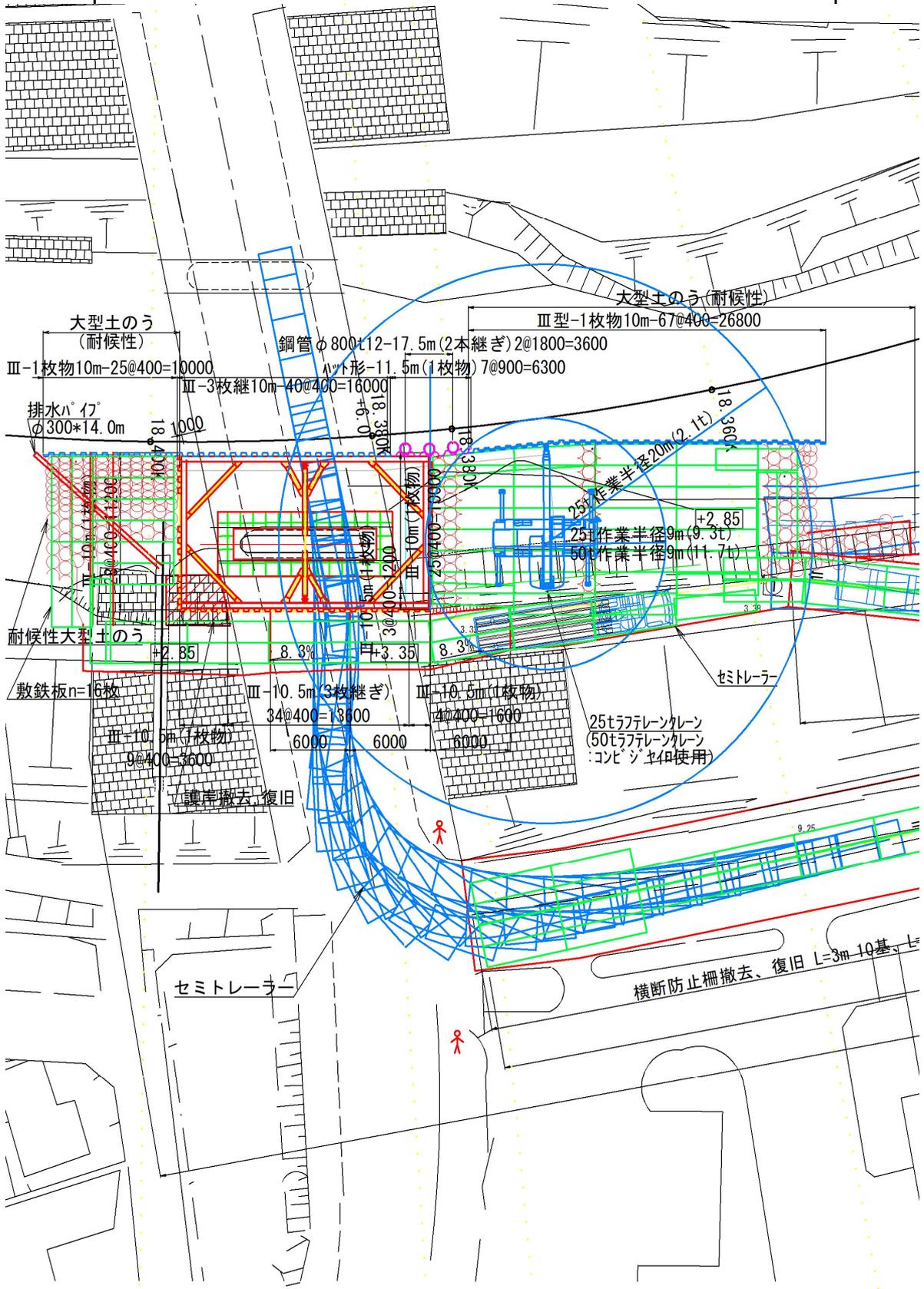
仮設締切工 数量計算書 (3/8)

種 別	算 式	数 量
鋼管杭		
①継施工 1箇所	$L = 17.5 \text{ m } \phi 800 \text{ t}=12 \text{ 打込長:16.6m 単位重量 } w = 233 \text{ kg/m}$ $N = 3$ $W = 3 \times 0.2330 \times 17.5 = 12.233 \text{ t}$ $n = 3 \times 1 = 3.0 \text{ 箇所}$	<p>3.0 本</p> <p>12.233 t</p> <p>3.0 箇所</p>
②鋼管杭切断延長	$\phi 800$ $L = 0.800 \times \pi \times 3 = 7.5 \text{ m}$	<p>7.5 m</p>
③鉄くず	$(\text{へビーH2})$ $W = 12.233 = 12.233 \text{ t}$	<p>12.233 t</p>

仮設締切工 数量計算書 (4/8)

種 別	算 式	数 量
-----	-----	-----

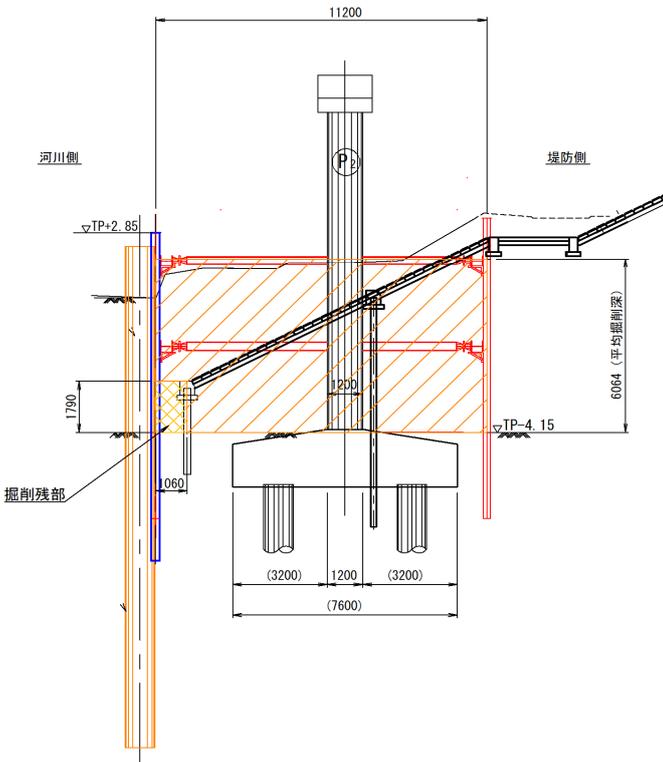
仮設矢板施工平面図



仮設締切工 数量計算書(5/8)

種 別	算 式					数 量
主 要 部 材 数 量 表						
部材名	寸法	長さ	本数	単位重量 kg/m	重 量 kg	備 考
U型鋼矢板	Ⅲ型 (400×130)	10500	16	60.0	10,080	本体締切、1枚物
	Ⅲ型 (400×130)	10500	34	60.0	21,420	本体締切、3枚継ぎ
	Ⅲ型 (400×130)	10000	53	60.0	31,800	本体締切、1枚物(上下流側)
	Ⅲ型 (400×130)	10000	40	60.0	24,000	本体締切、3枚継ぎ
	Ⅲ型 (400×130)	10000	25	60.0	15,000	上流山留、1枚物
	3枚継ぎ 計		74		45,420	
	Ⅲ型 (400×130)	10000	67	60.0	40,200	下流山留、1枚物
	鋼矢板計		235		142,500	
鋼矢板平均根入長 = $[(7682+8504)/2 \times 305 + (8504+8723)/2 \times 1289 + 8723 \times 2496 + (8723+8926)/2 \times 395 + 8926 \times 1926 + (8926+9013)/2 \times 1930 + (9013+10500)/2 \times 2465 + 10500 \times 394] \times 2 + 7682 \times 54800 + 10500 \times 18800 / [(11200+18800) \times 2 + 36000] = 8556$						
平均掘削深 = $\{(7682+8504)/2 \times 305 + (8504+8723)/2 \times 1289 + 8723 \times 2496 + (8723+8926)/2 \times 395 + 8926 \times 1926 + (8926+9013)/2 \times 1930 + (9013+10500)/2 \times 2465 + 10500 \times 394\} / 11200 - 3000 = 6064$						
継手材	PL-180×690×19(D)	—	148	9.3	1,376	
	継手材計				1,376	
腹起し	H-400×400×13×21	18550	4	172.0	12,762	
	H-400×400×13×21	10150	4	172.0	6,983	
切ばり	H-350×350×12×19	4775	2	135.0	1,289	
	H-350×350×12×19	3175	2	135.0	857	
隅火打ち	H-300×300×10×15	4850	8	93.0	3,608	
切ばり火打ち	H-300×300×10×15	1850	8	93.0	1,376	
主部材	H-400×400×13×21				19,745kg	
	H-350×350×12×19				2,146kg	
	H-300×300×10×15				4,984kg	
小計					26,875kg	
副部材(A)	26,875×0.22				5,913kg	
副部材(B)	26,875×0.04				1,075kg	
小計					6,988kg	
合計					33,863kg	
ハット型鋼矢板	10H	11500	7	86.4	6,955	本体締切+下流山留、1枚物
	ハット型鋼矢板 計		7		6,955	
鋼管杭	φ800 t=12	17500	3	233	12,232	本体締切、2本継ぎ
	鋼管杭 計		3		12,232	

仮設締切工 数量計算書(6/8)

種 別	算 式	数 量
土工	掘削埋戻し	
床掘	$V = (( 11.200 \times 18.800 - ( 1.200^2 \times \pi / 4 + 8.300 \times 1.200 )) \times 6.064 - 1.790 \times 1.060 \times 13.500 =$	1183.97 m <sup>3</sup>
埋戻し	$V = 57.732 \times 18.800 - ( 1.200^2 \times \pi / 4 + 8.300 \times 1.200 ) \times 5.003 - 1.790 \times 1.060 \times 13.500 =$	1004.26 m <sup>3</sup>
残土	$V = 1183.97 - 1004.26 =$	179.71 m <sup>3</sup>
運搬工	運搬距離 1 k m  $L = 1183.97 + 1004.26 =$	2188.23 m <sup>3</sup>
掘削時	<p style="text-align: center;">断面図</p> 	

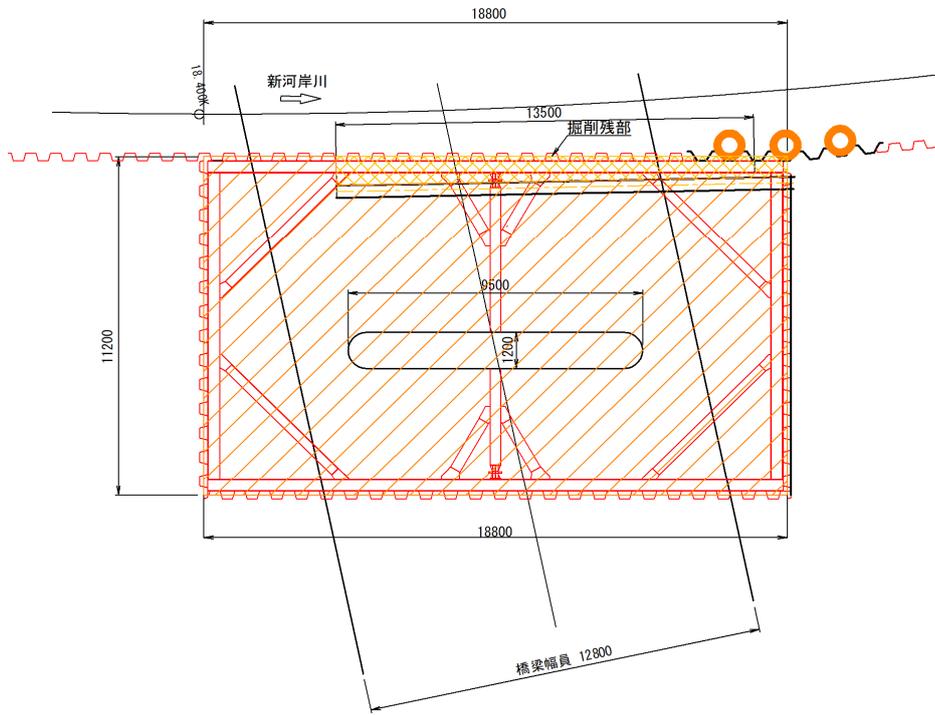
仮設締切工 数量計算書 (7/8)

種 別

算 式

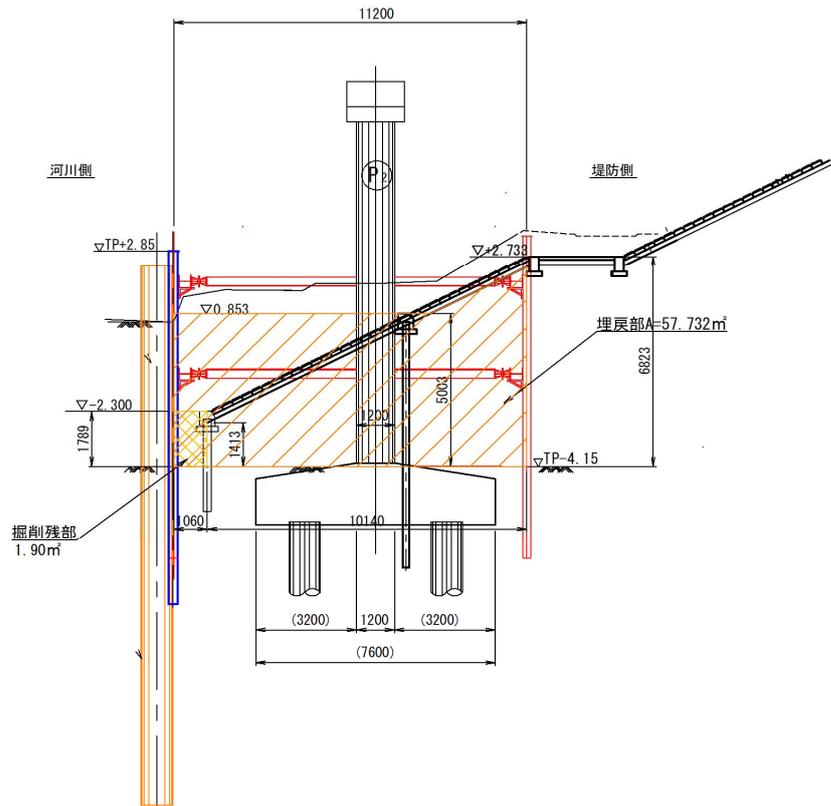
数 量

平面図



埋戻時

断面図



仮設締切工 数量計算書 (8/8)

種 別	算 式	数 量
仮締切排水工		
ポンプ据付撤去	(締切排水工)  $N = 1.000$	1.000 箇所
ポンプ運転	商用電源 排水量 0~40 (m <sup>3</sup> /h 未満)  $N = 128$	= 128 日

仮設道路工 数量計算書 (1/4)

種 別	算 式	数 量
切土	( 表-1 土工、土のう、土木シート数量計算表より)  V = 22.1	= 22.1 m <sup>3</sup>
盛土	( 表-1 土工、土のう、土木シート数量計算表より)  V = 191.3	= 191.3 m <sup>3</sup>
大型土のう	( 土工、土のう、土木シート数量計算表より) (耐候性大型土のう2.0 t 用 φ110丸形×110cm 短期仮設 1年)  N = 1215.0	= 1215 袋
運搬	再生砕石(RC40) (単位重量 2.0 t : 道示 p119より)  搬入 V = 191.3 + 1215.0  W = 1406.3 × 1.6  撤去 V = 191.3 + 1215.0  W = 1406.3 × 1.6	= 1406.3 m <sup>3</sup>  = 2250.1 t  = 1406.3 m <sup>3</sup>  = 2250.1 t
土木シート	ポリプロピレン (P. P系織布980N/5cn土工、土のう、土木シート数量計算表より)  A = 569.5 m <sup>2</sup>	= 569.5 m <sup>2</sup>
敷鉄板	敷き鉄板幅B=3.0m 22 × 1524 × 6096 (仮設道路平面図より w=1.604 t)  N = 135  A = 1.524 × 6.096 × 135  W = 135 × 1.604	= 135.0 枚  = 1254.2 m <sup>2</sup>  = 216.5 t

表-1. 土工、土のう、土木シート数量計算

側 点	単距離 m	土工数量：切土			土工数量：盛土 (砕石)			土のう数量			土木シート			
		面積 m <sup>2</sup>	平均面積 m <sup>2</sup>	数量 m <sup>3</sup>	面積 m <sup>2</sup>	平均 m <sup>2</sup>	数量 m <sup>3</sup>	個数 袋	平均 袋	数量 袋	延長 m	平均 m	数量 m <sup>2</sup>	
-24.000	0.000	0.0			0.0			0.0			0.0			
-14.000	10.000	0.0			0.4	0.2	2.0	11.0	5.5	55.0	12.0	0.0	0.0	
18.300	14.000	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	5.6	11.0	5.5	77.0	12.0	12.0	168.0	
18.320	20.000	0.0	0.0	0.0	0.8	0.6	12.0	8.0	9.5	190.0	9.0	10.5	210.0	
18.340	20.000	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	12.0	6.0	8.5	170.0	7.0	8.0	160.0	
+9.000	9.000	0.0	0.0	0.0	1.5	0.9	8.1	4.0	5.0	45.0	0.0	3.5	31.5	
+15.000	6.000	0.6	0.3	1.8	3.0	1.7	9.9	8.0	6.0	36.0	0.0	0.0	0.0	
18.360	5.000	2.7	1.7	8.3	1.1	2.1	10.5	12.0	11.5	58.0	0.0	0.0	0.0	
18.380	20.000	0.6	0.3	6.0	2.0	1.6	32.0	12.0	9.0	180.0	0.0	0.0	0.0	
18.400	20.000	0.0	0.3	6.0	4.4	3.2	64.0	18.0	15.0	300.0	0.0	0.0	0.0	
+8.000	8.000	0.0	0.0	0.0	4.4	4.4	35.2	18.0	13.0	104.0	0.0	0.0	0.0	
		合計			22.1	合計		191.3	合計		1215.0	合計		569.5



仮設道路工 数量計算書 (3/4)

種 別	算 式	数 量
	<p>18. 320k 河床高=1.91</p> <p>敷鉄板 6096 × 1524 × 22</p> <p>500 4000 3000 500</p> <p>▽+6.37</p> <p>A=8.8m<sup>2</sup> 再生碎石0.8m<sup>2</sup> 大型土のう8袋</p> <p>土ホシート(ポリプロピレン) (P.P系織布980N/5cm) L=9.0m</p> <p>DL=TP+0.00</p>	
	<p>18. 340k 河床高=1.74</p> <p>敷鉄板 6096 × 1524 × 22</p> <p>500 4000 3000 500</p> <p>▽+5.47</p> <p>A=6.3m<sup>2</sup> 再生碎石0.3m<sup>2</sup> 大型土のう6袋</p> <p>土ホシート(ポリプロピレン) (P.P系織布980N/5cm) L=7.0m</p> <p>DL=TP+0.00</p>	
	<p>18. 340k+9.000 河床高=1.74</p> <p>敷鉄板 6096 × 1524 × 22</p> <p>500 4000 3000 500</p> <p>▽+3.45</p> <p>再生碎石1.5m<sup>2</sup> 大型土のう4袋</p> <p>DL=TP+0.00</p>	
	<p>18. 340k+15.000 河床高=1.04</p> <p>敷鉄板 6096 × 1524 × 22</p> <p>500 4000 3000 500</p> <p>▽+2.85</p> <p>A=11.0m<sup>2</sup> 再生碎石3.0m<sup>2</sup> 大型土のう8袋</p> <p>掘削: 0.6m<sup>2</sup></p> <p>鋼矢板</p> <p>10000</p> <p>DL=TP+0.00</p>	
	<p>18. 360k 河床高=1.04</p> <p>敷鉄板 6096 × 1524 × 22</p> <p>500 4000 3000 500</p> <p>▽+2.85</p> <p>A=13.1m<sup>2</sup> 再生碎石1.1m<sup>2</sup> 大型土のう12袋</p> <p>掘削: 2.7m<sup>2</sup></p> <p>鋼矢板</p> <p>10000</p> <p>DL=TP+0.00</p>	

仮設道路工 数量計算書 (4/4)

種 別	算 式	数 量
	<p>18.380k 河床高=1.23</p> <p>敷鉄板 6096 × 1524 × 22</p> <p>4000 500 3000 500</p> <p>▽+2.85</p> <p>DL=TP+0.00</p> <p>17500</p> <p>11500</p> <p>鋼管杭 φ800</p> <p>鋼矢板 ハット形10H</p> <p>25tラフテレンクレーン</p> <p>A=14.0m<sup>2</sup> 掘削:0.6m<sup>2</sup> 再生砕石2.0m<sup>2</sup> 大型土のう12袋</p>	
	<p>18.400K 河床高=AP 1.31 (TP 0.176)</p> <p>25tクレーン</p> <p>敷鉄板 6096 × 1524 × 22</p> <p>4000 500 3000 500</p> <p>▽+2.85</p> <p>DL=TP+0.00</p> <p>A=22.4m<sup>2</sup> 再生砕石4.4m<sup>2</sup> 大型土のう18袋</p>	
	<p>18.400K+8.0 河床高=AP 1.31 (TP 0.176)</p>	



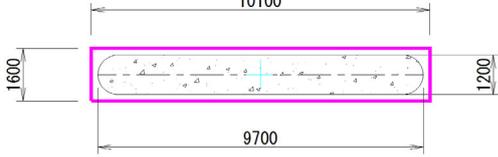
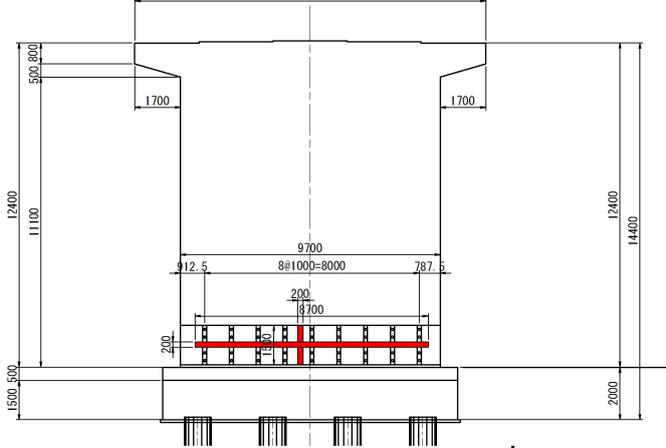
横断防止柵撤去復旧工 数量計算書 (2/2)

種 別	算 式	数 量
撤去工	コンクリート基礎 $N = 11 \times 2 = 22$ 個	
	横断防止柵 $L = 10 \times 3.000 + 1 \times 2.000 = 32.00$ m	
横断防止柵撤去	鋼製パイプ $L = 32.000$	= 32.0 m
基礎コンクリート取壊し	(無筋・人力) $V = 0.300 \times 0.300 \times 0.400 \times 22$	= 0.79 m <sup>3</sup>
	$W = 0.790 \times 2.350$	= 1.9 t
埋戻	$V = 0.790$	= 0.79 m <sup>3</sup>
復旧工		
掘削	$V = (((0.300 \times 0.300) + (0.700 \times 0.700)) / 2 \times 0.400$ $+ 0.300 \times 0.300 \times 0.100) \times 22$	= 2.75 m <sup>3</sup>
基礎砕石	(RC-40 t=100) $A = 0.300 \times 0.300 \times 22$	= 1.98 m <sup>2</sup>
型枠	$A = 0.300 \times 0.400 \times 4 \times 22$	= 10.56 m <sup>2</sup>
横断防止柵設置	$L = 32.000$ (再利用)	= 32.0 m
コンクリート	$V = 0.790$	= 0.79 m <sup>3</sup>
埋戻	$V = (((0.300 \times 0.300) + (0.650 \times 0.650)) / 2 \times 0.350$ $- 0.300 \times 0.300 \times 0.350) \times 22$	= 1.28 m <sup>3</sup>
舗装	$A = ((0.650 \times 0.650) - (0.300 \times 0.300)) \times 22$	= 7.32 m <sup>3</sup>

運搬費 数量計算書

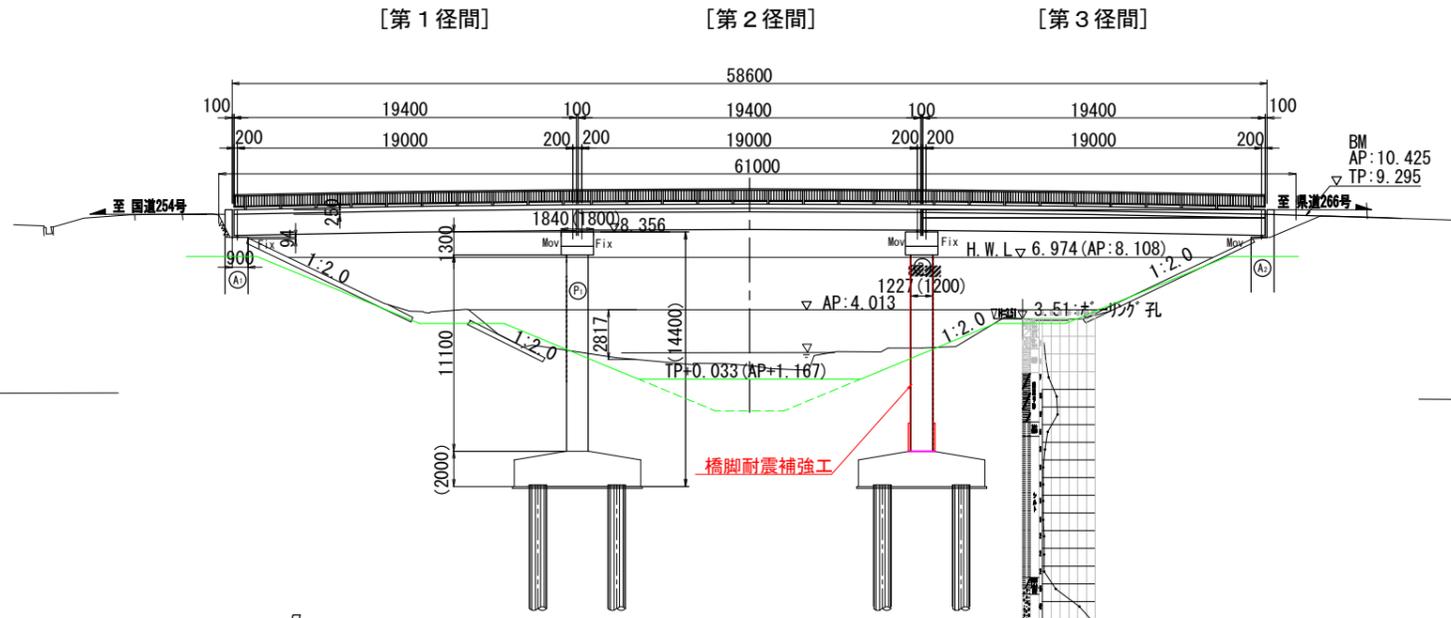
種 別	算 式	数 量
	仮設材積込・取り卸し  鋼矢板、鋼管杭  $W = 176.363 + 6.955 + 12.233 = 195.551$	195.6 t
	敷鉄板  $W = 216.500 = 216.500$	216.5 t
	仮設材合計  $W = 195.551 + 216.500 = 412.051$	412.1 t

## 技術管理費 数量計算書

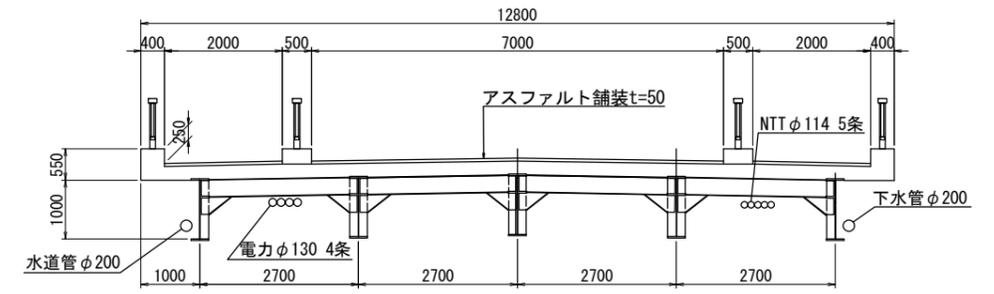
種 別	算 式	数 量
鉄筋探査工	橋脚柱断面図      幅 $b = 20 \text{ c m}$	
	主筋削孔 延長 $L = 23.4 \text{ m}$ 中間貫通口2面 延長 $L = 20.4 \text{ m}$	
	下向き $A = 0.20 \times 23.4$ $= 4.7$	4.7 $\text{m}^2$
	横向き $A = 0.20 \times 20.4$ $= 4.1$	4.1 $\text{m}^2$
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>平面図</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>正面図</p>  </div> </div>	

# 補強全体一般図

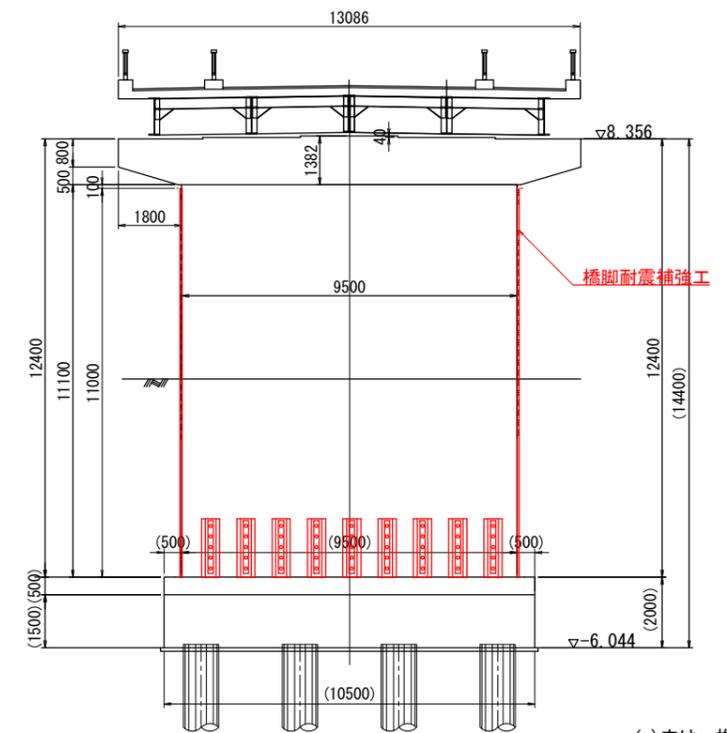
側面図 S=1:200



断面図 S=60

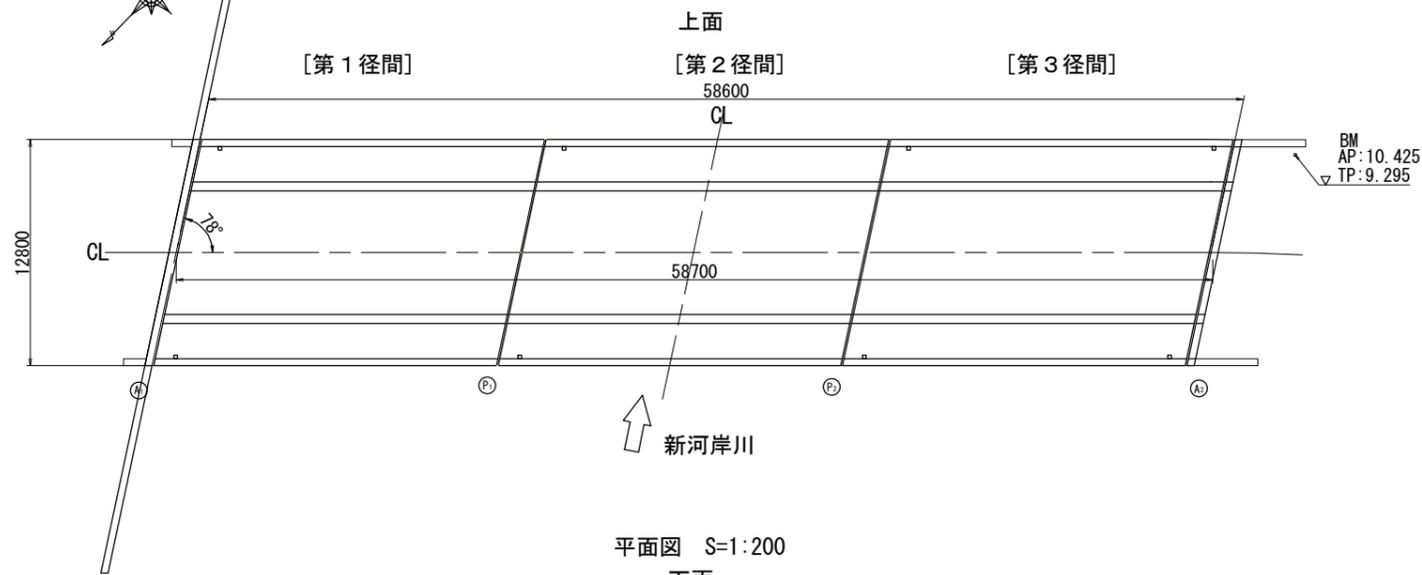


橋脚 S=1:100

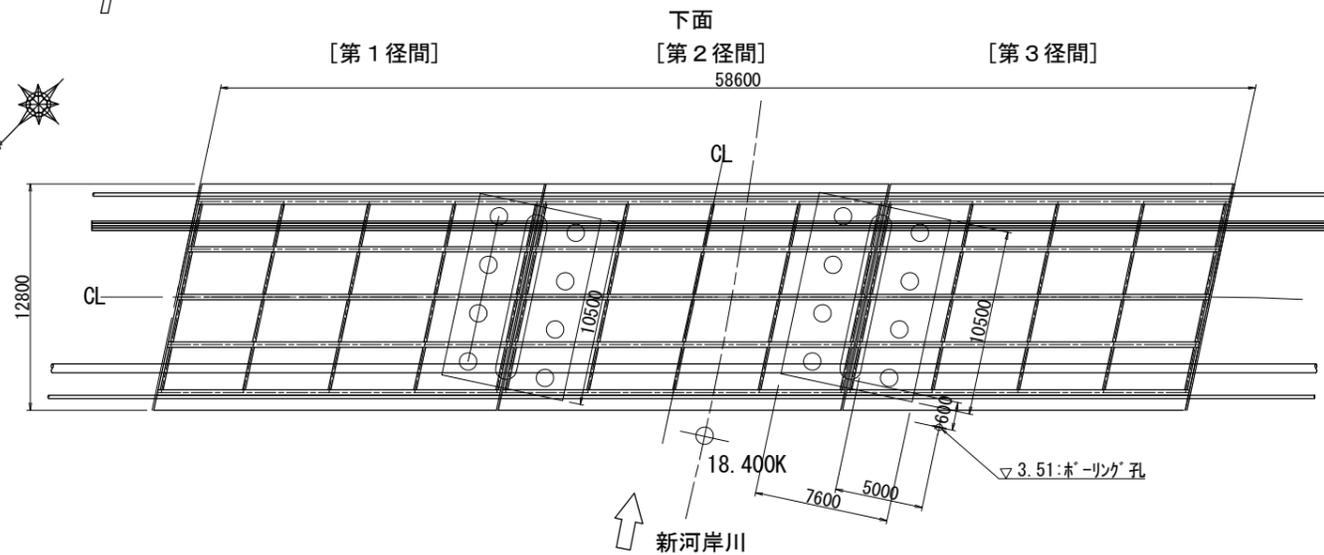


( )内は、推定値を示す。

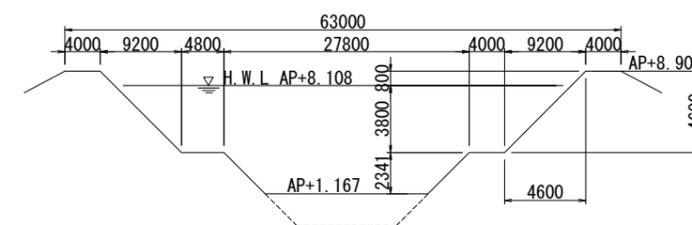
平面図 S=1:200



平面図 S=1:200



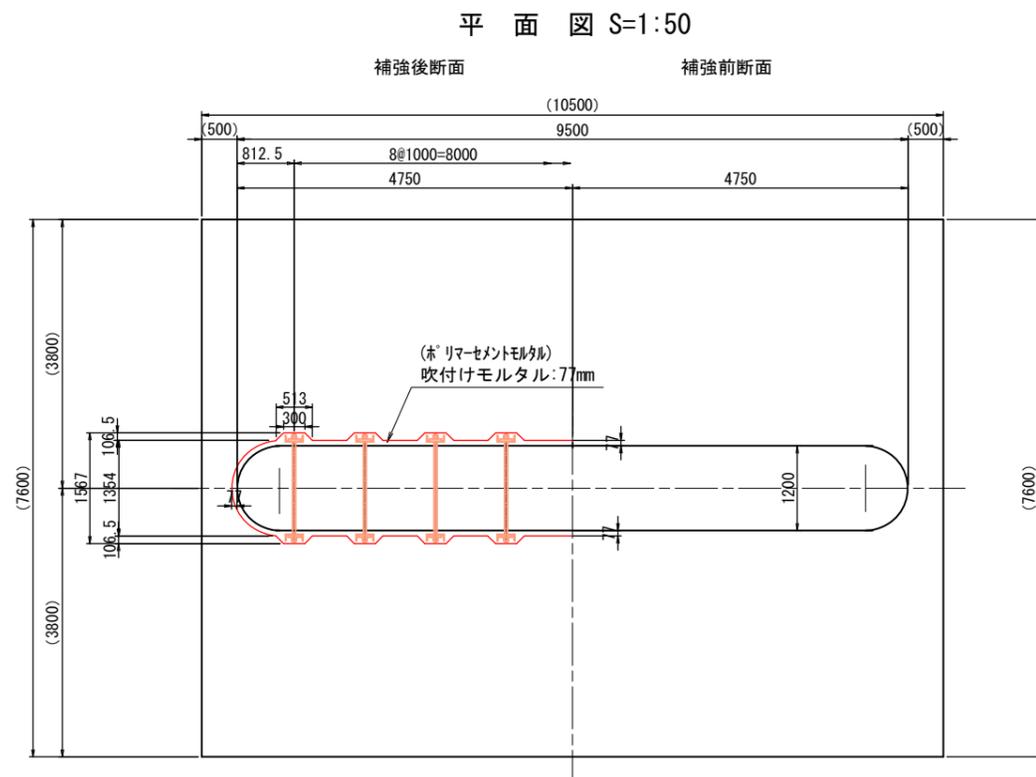
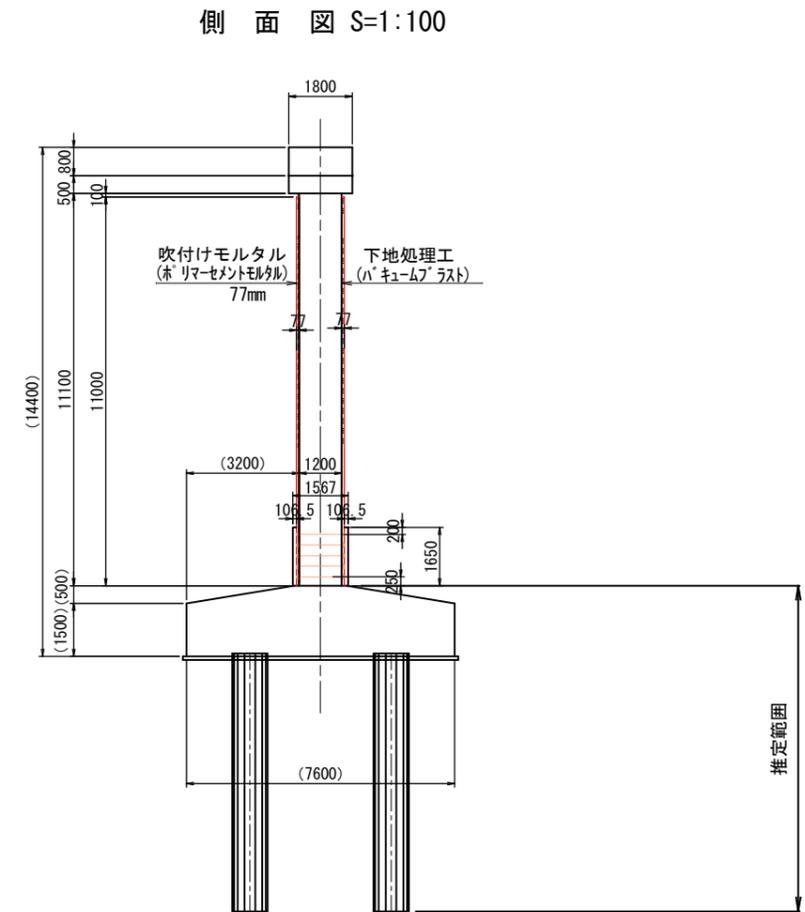
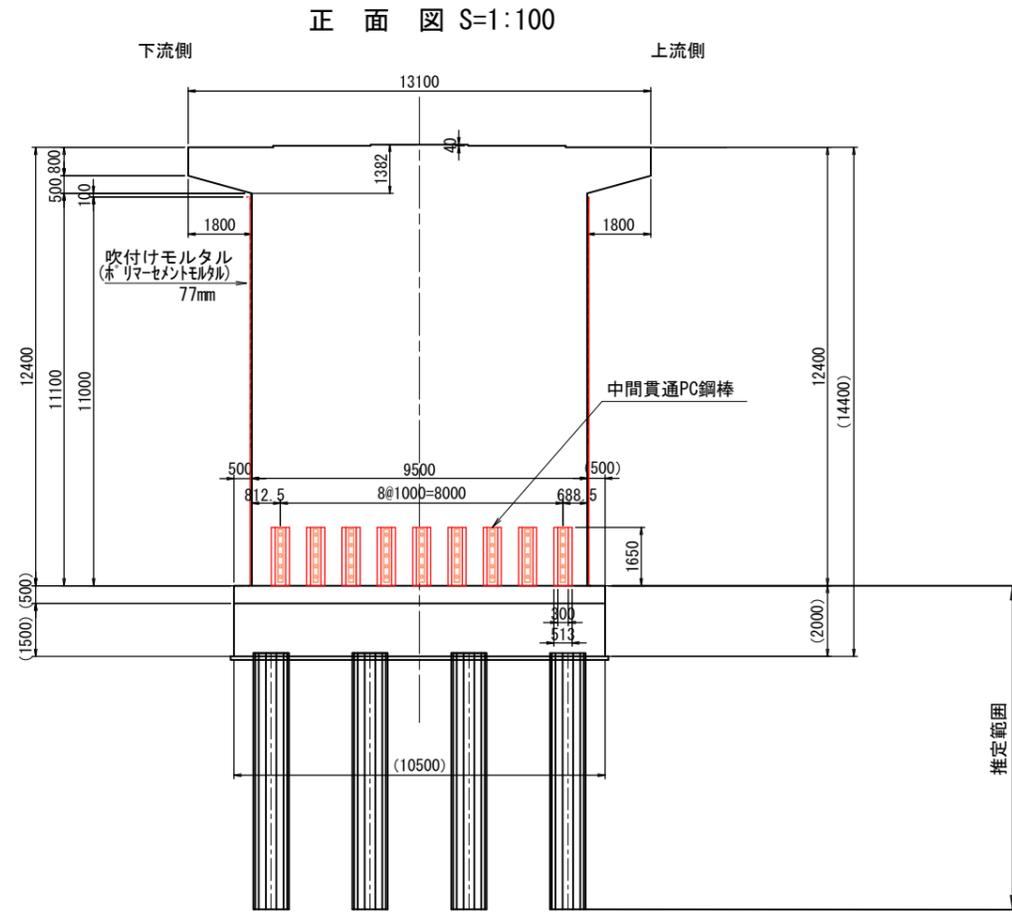
新河岸川河川断面 (18.4KM)



橋梁諸条件表	
路線名	市道5112号線
所在地	富士見市大字下南畑地内外
適用示方書	道示S55
完成年	昭和58年3月
舗装種別	アスファルト舗装
伸縮装置種別	鋼製ジョイント
支承種別	線支承 (LB)
上部工形式	活荷重合成単純桁橋
設計活荷重	TL-20 (一等橋)
使用鋼材	—

工事名	木架橋耐震補強等工事 (第3期)		
図面名	補強全体一般図		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	1
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

# 橋脚耐震補強一般図 (P2橋脚)

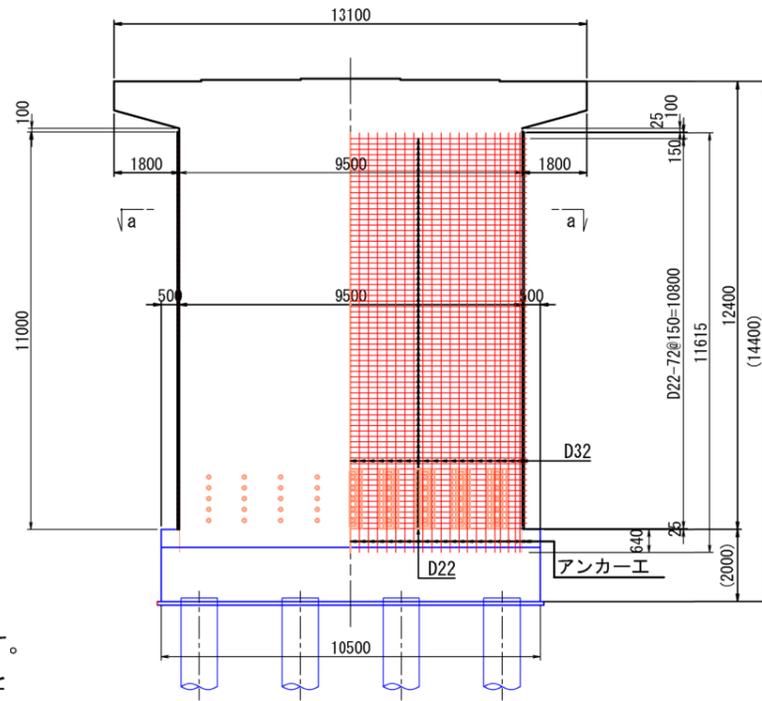


※( )は推定値を示す。

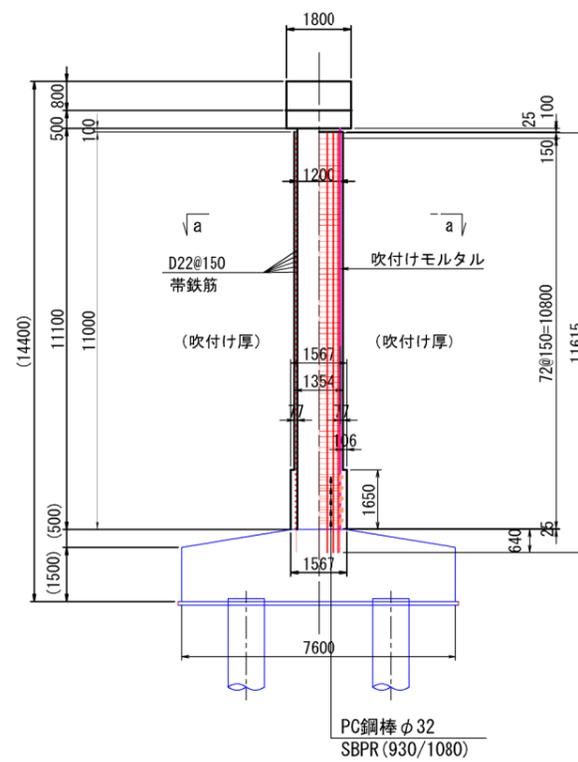
工事名	木染橋耐震補強等工事 (第3期)		
図面名	橋脚耐震補強一般図 (P2橋脚)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	2
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

# 橋脚耐震補強詳細図 (P2橋脚)

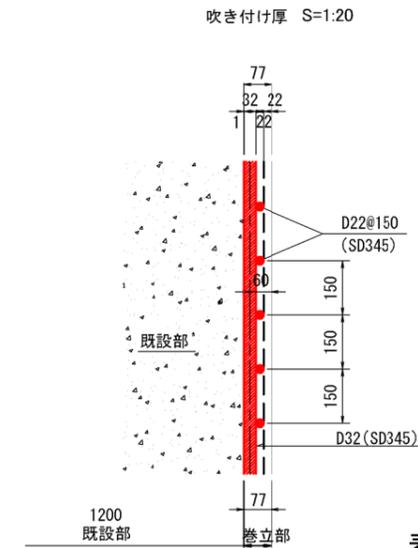
正面図 S=1:100



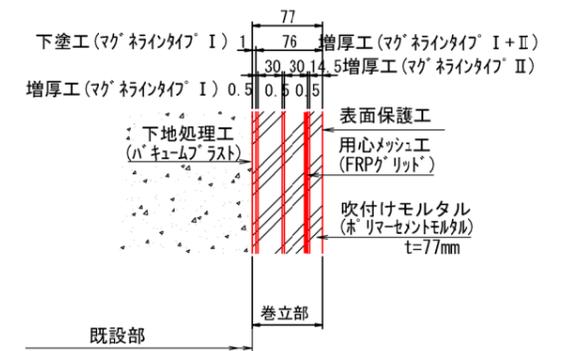
側面図 S=1:100



かぶり詳細図

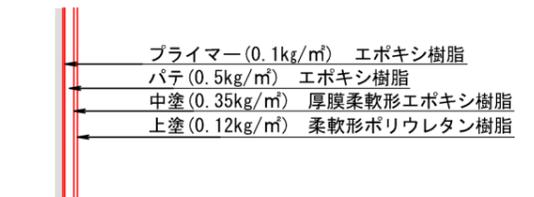


増厚部断面詳細図

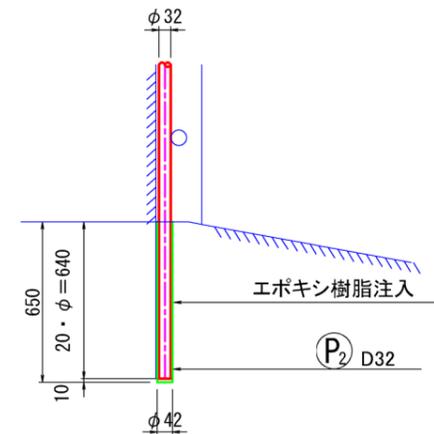


- ※1. モルタル吹付けは、3回の重ね塗りを想定している。
- ※2. 重ね塗りにおけるマグネラインの巻立て厚さは、タイプ I タイプ II で、それぞれ0.5mm、30mm以下を標準とする。
- ※3. 吹付けモルタル強度は $\sigma_{ck}=30N/mm^2$ を標準とする。
- ※4. マグネラインについては同等品であれば使用可とする。

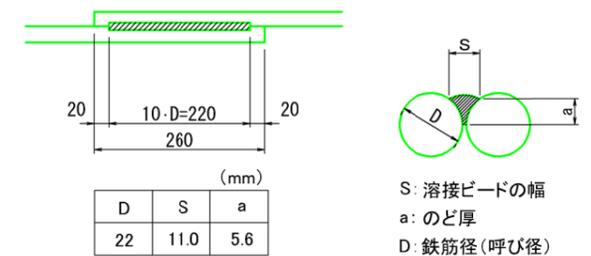
表面保護工詳細図



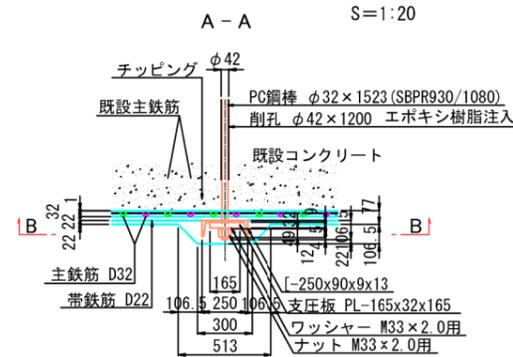
アンカー工詳細図 S=1:10



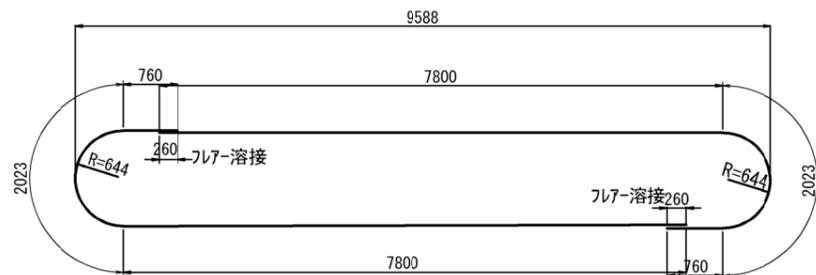
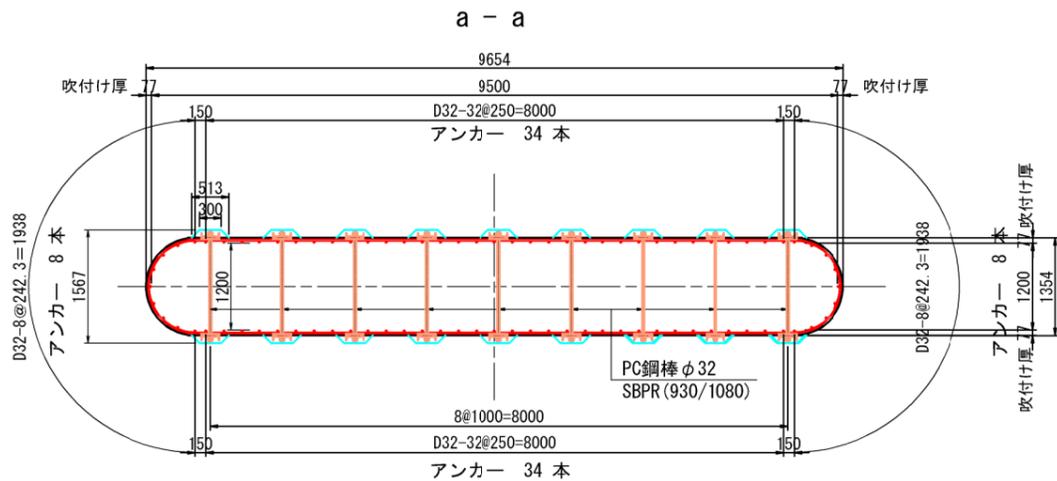
フレア溶接詳細図 S=1:10



中間貫通PC鋼棒取付け詳細図



平面図 S=1:50



(P2) 146 x D22 x 10590  
フレア溶接箇所数：146箇所

※ フレア溶接箇所は千鳥配置となるように鉄筋を配置する。

鉄筋重量表

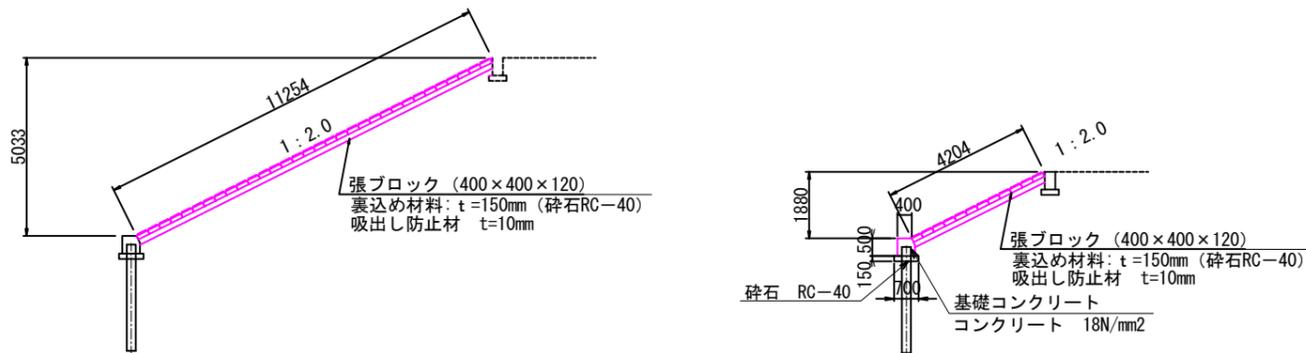
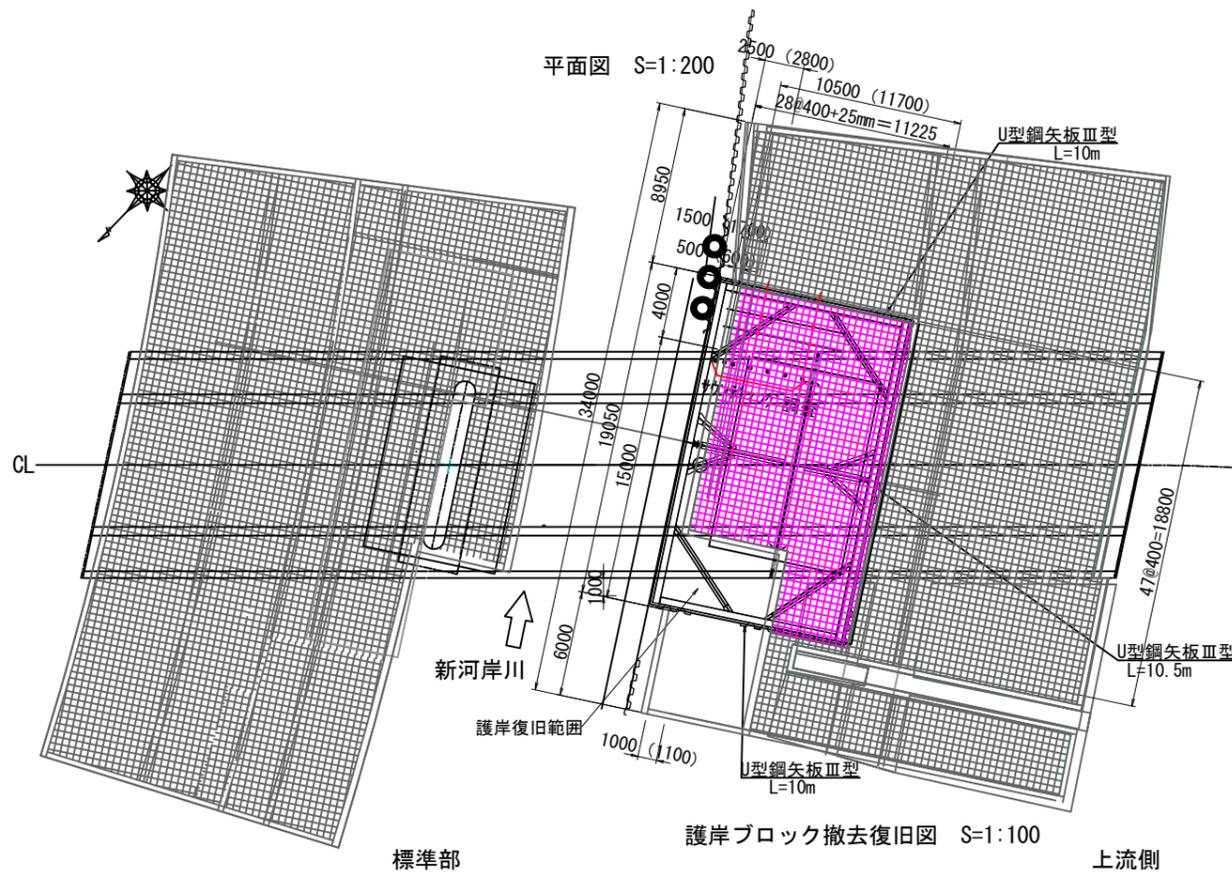
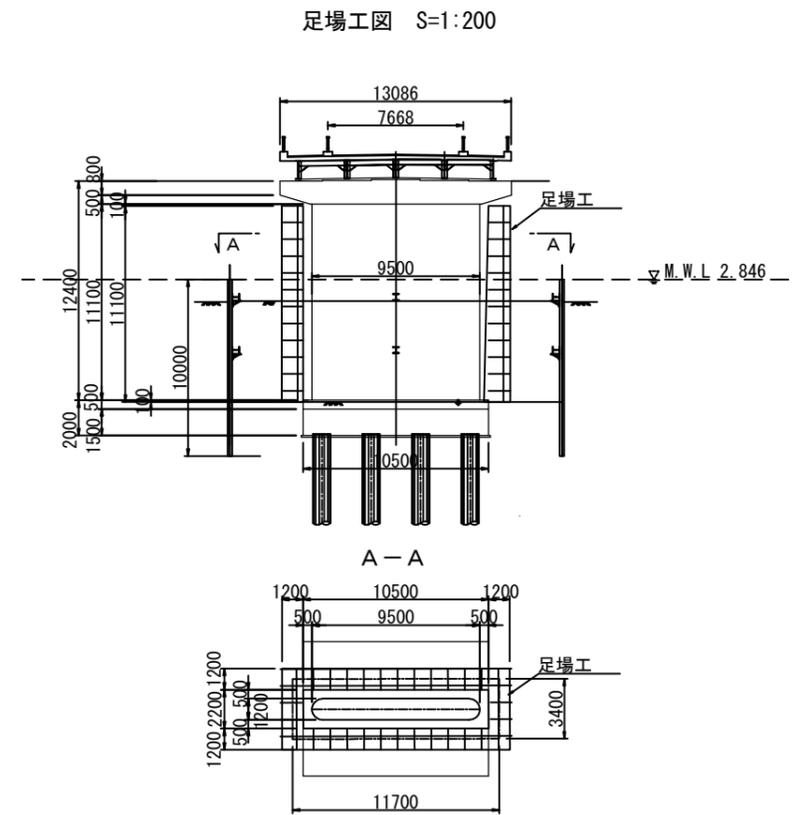
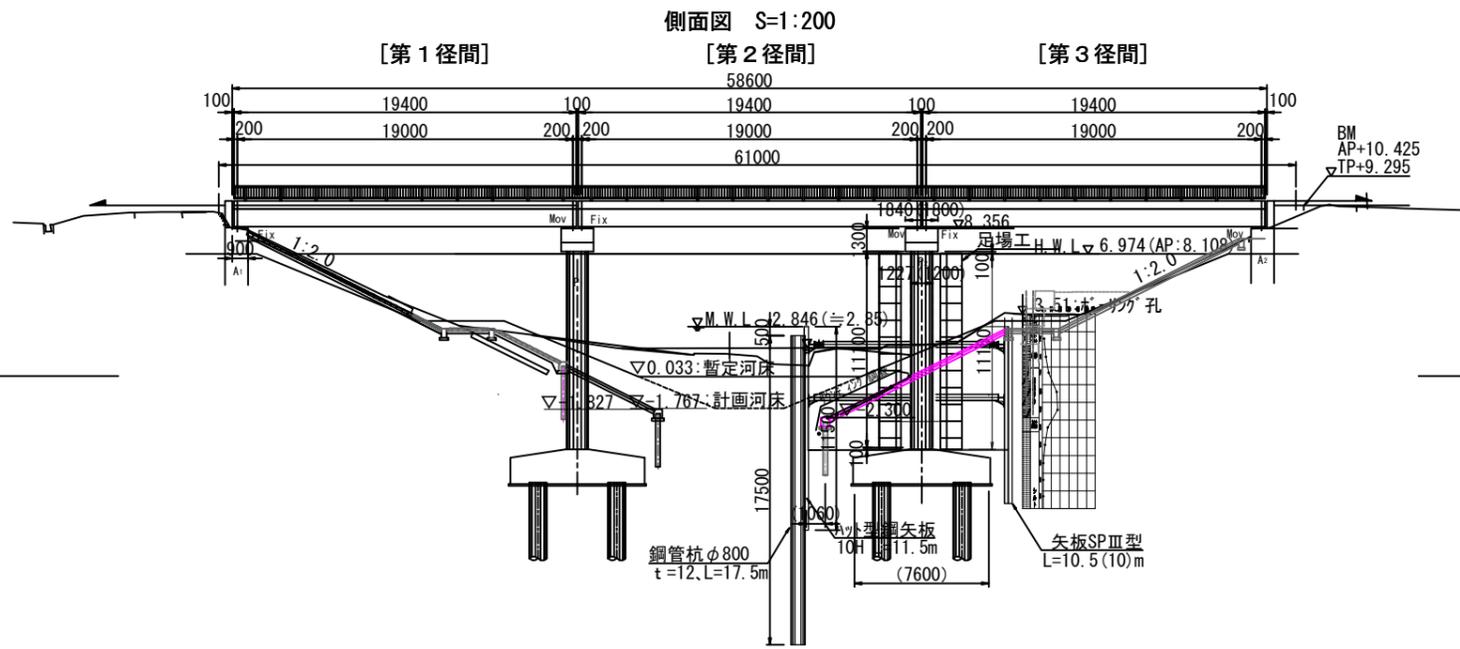
種別	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
P1	D32	11620	84	6.23	72.393	6081	
P2	D22	10590	146	3.04	32.194	4700	└
						SD345 D32	6081 kg
						SD345 D22	4700 kg
						合計	10781 kg
						アンカー	84 本
						ガス圧接	84 箇所
						フレア溶接	146 箇所

PC鋼材定着部重量表

種別	寸法・規格	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
PC鋼棒	φ32 (SBPR930/1080)	1523	45	6.31	9.610	432	
						小計	432 kg
形鋼	[-250 x 90 x 9 x 13]	1500	18	34.6	51.900	934	
支圧板	PL-165 x 32 x 165	-	90	-	-	-	
ナット	M33 x 2.0用	-	90	-	-	-	
ワッシャー	M33 x 2.0用	-	90	-	-	-	
						合計	1366 kg

工事名	木架橋耐震補強等工事 (第3期)		
図面名	橋脚耐震補強詳細図 (P2橋脚)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	3
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

# 仮設護岸工全体図



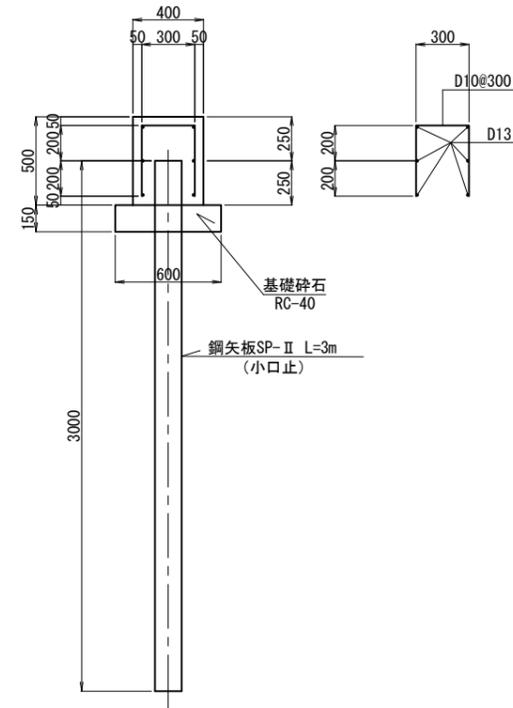
工事名	木染橋耐震補強等工事 (第3期)		
図面名	仮設護岸工全体図		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	4
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		



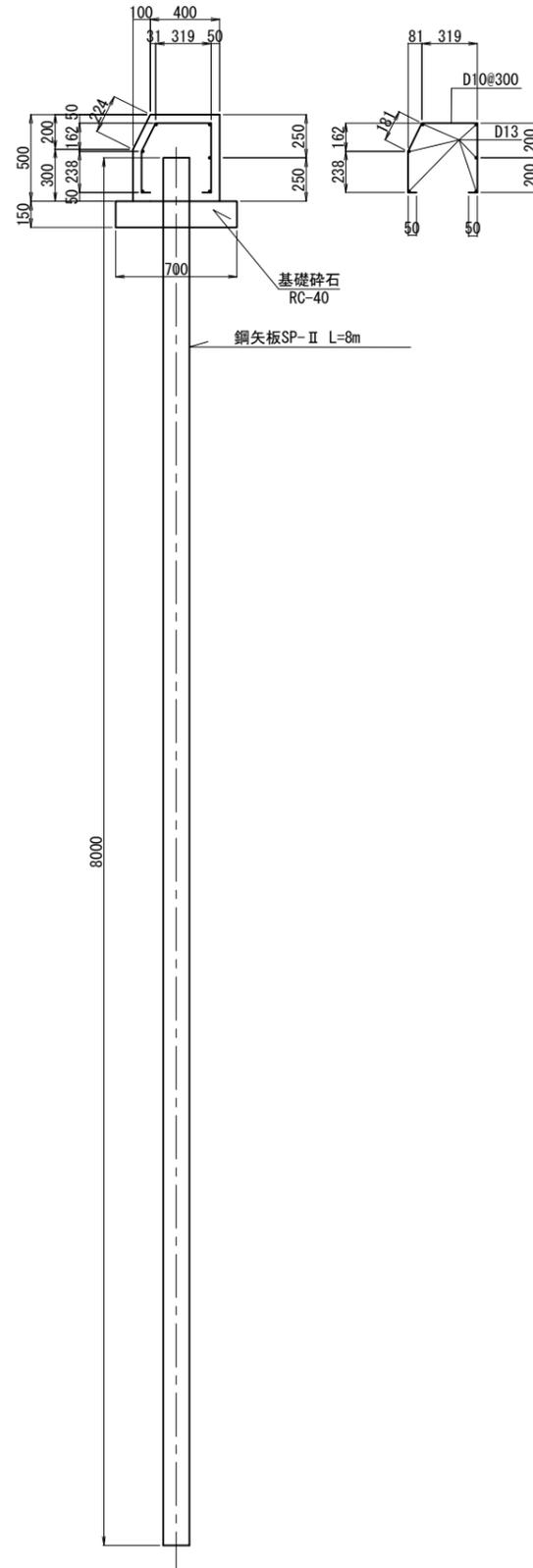


# 護岸基礎図

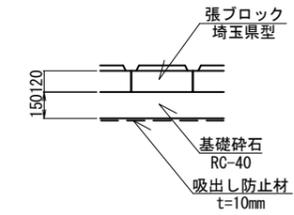
小口止コンクリート S=1:20  
 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$



基礎コンクリート S=1:20  
 $\sigma_{ck}=18N/mm^2$



張ブロック S=1:20

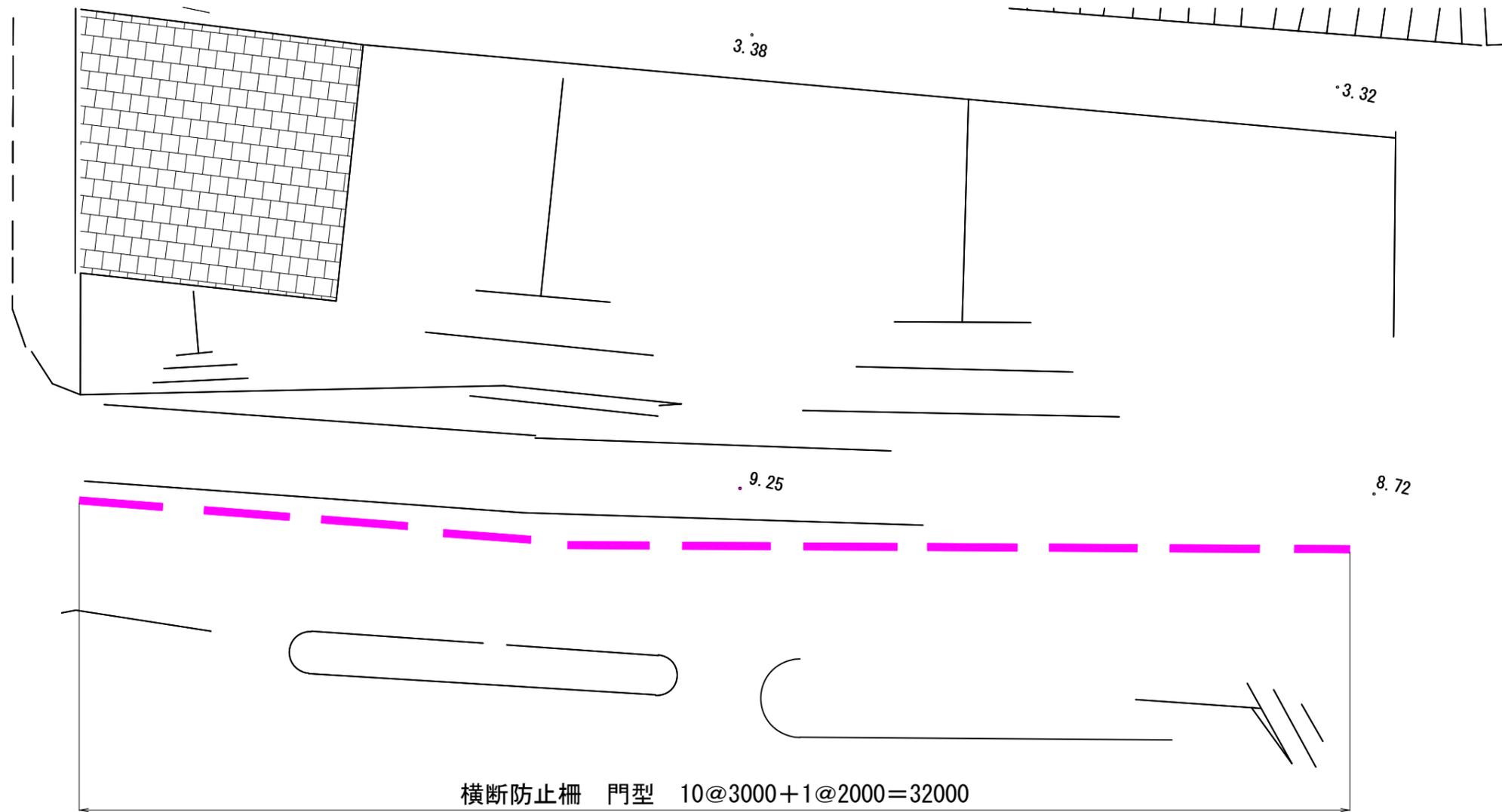


工事名	木染橋耐震補強等工事 (第3期)		
図面名	護岸基礎図		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	7
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

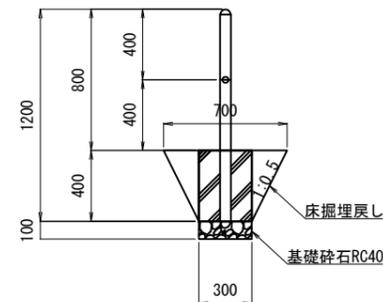
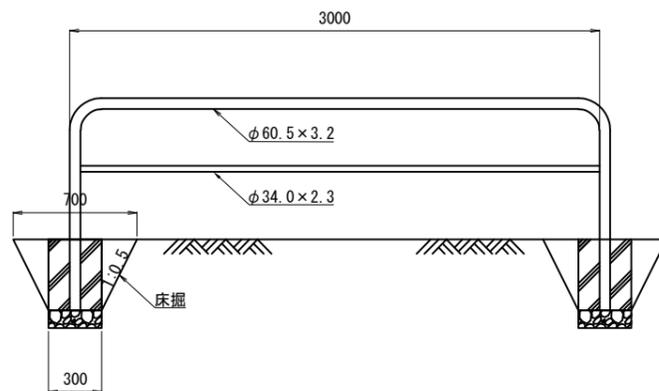


# 施工計画図-6 (横断防止柵撤去復旧工図)

平面図 S=1:100



横断防止柵詳細図 S=1:20

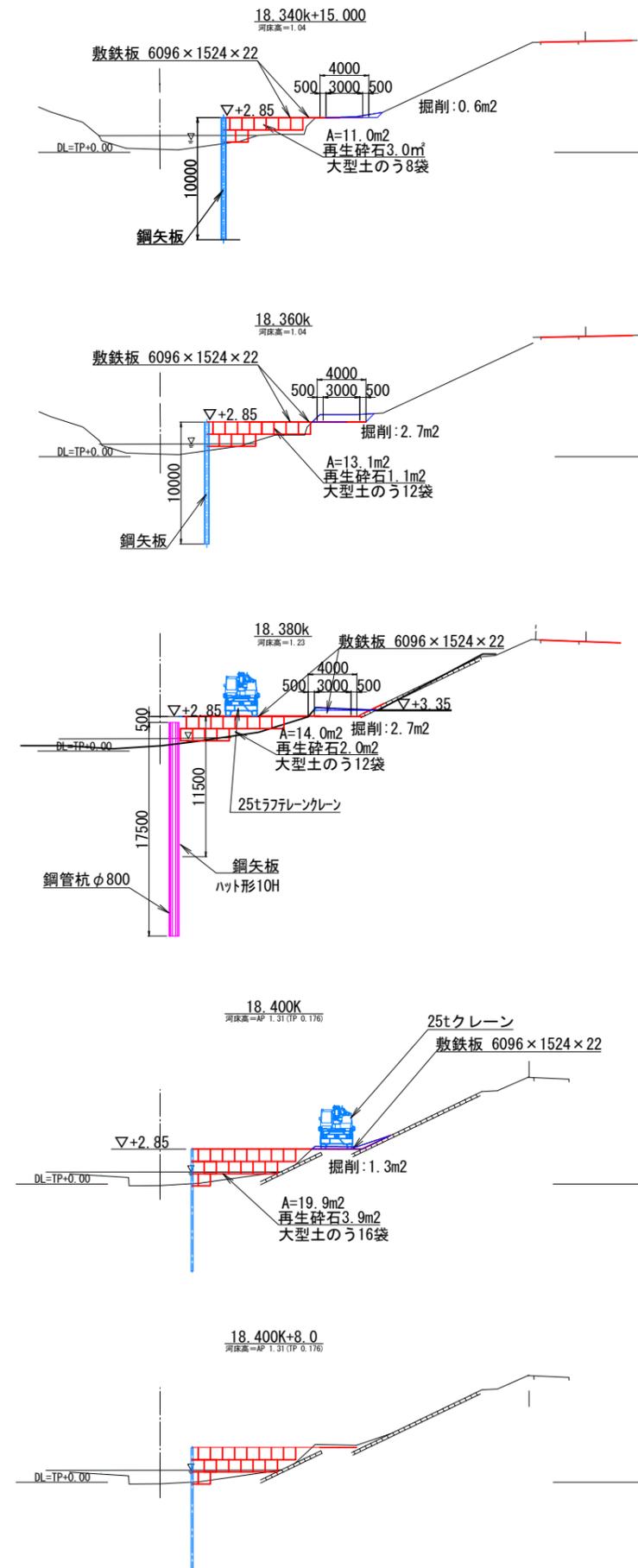
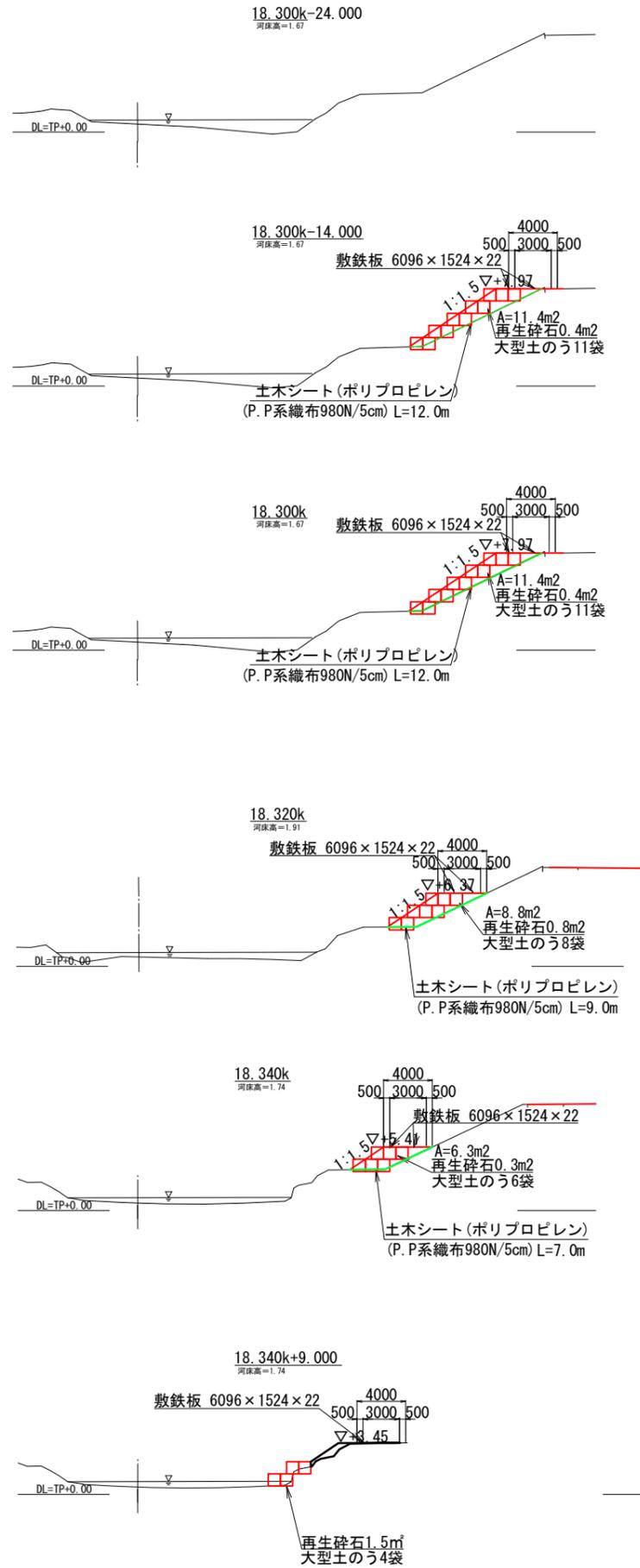


施工内容

- 撤去
  - ・横断防止柵撤去工
  - ・基礎コンクリート取壊し
  - ・埋戻し
- 復旧
  - ・掘削
  - ・基礎砕石
  - ・型枠
  - ・横断防止柵設置
  - ・コンクリート (18-8-25)
  - ・埋戻し

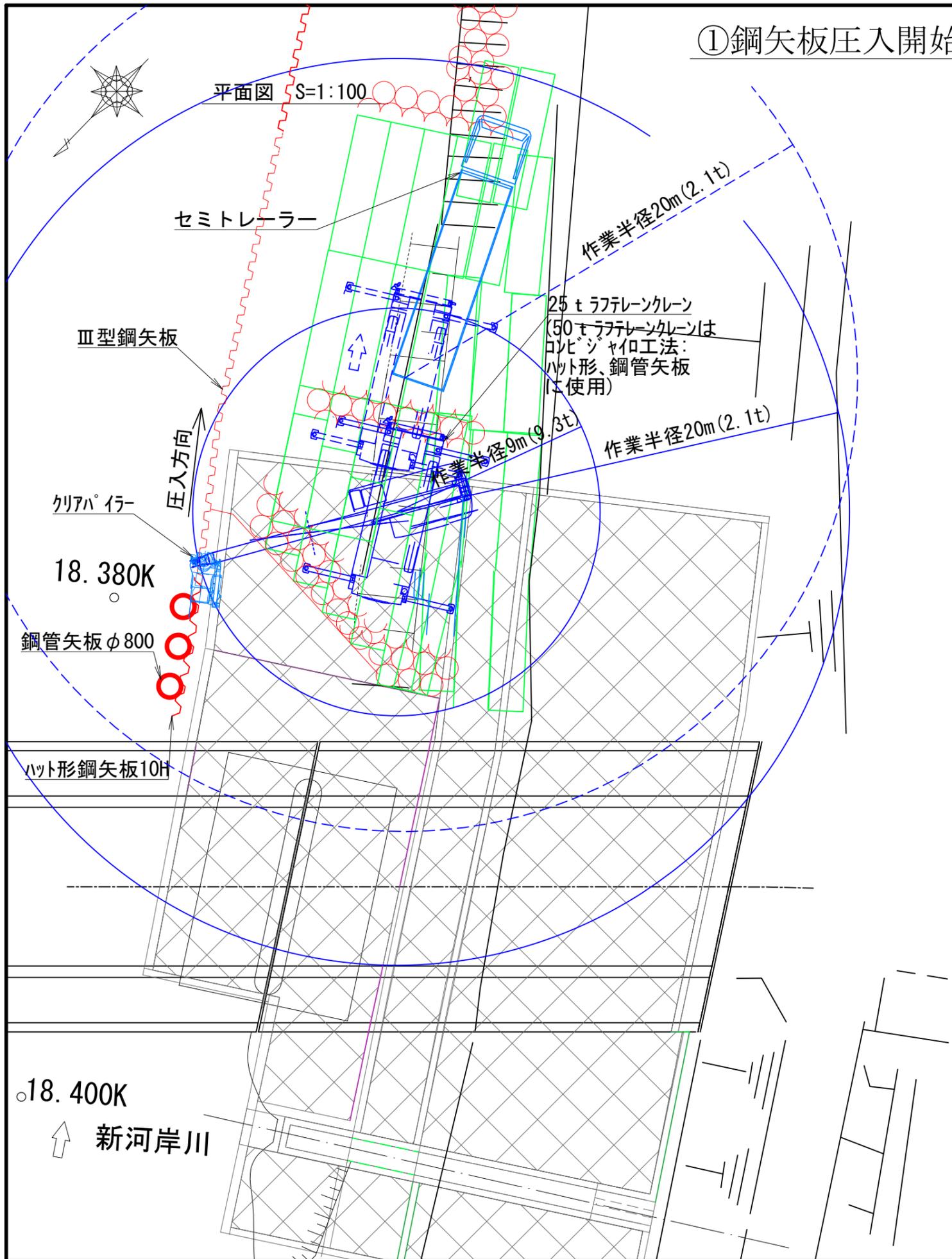
工事名	木染橋耐震補強等工事 (第3期)		
図面名	施工計画図-6 (横断防止柵撤去復旧工図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	9
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

仮設計画横断面図 S=1:250

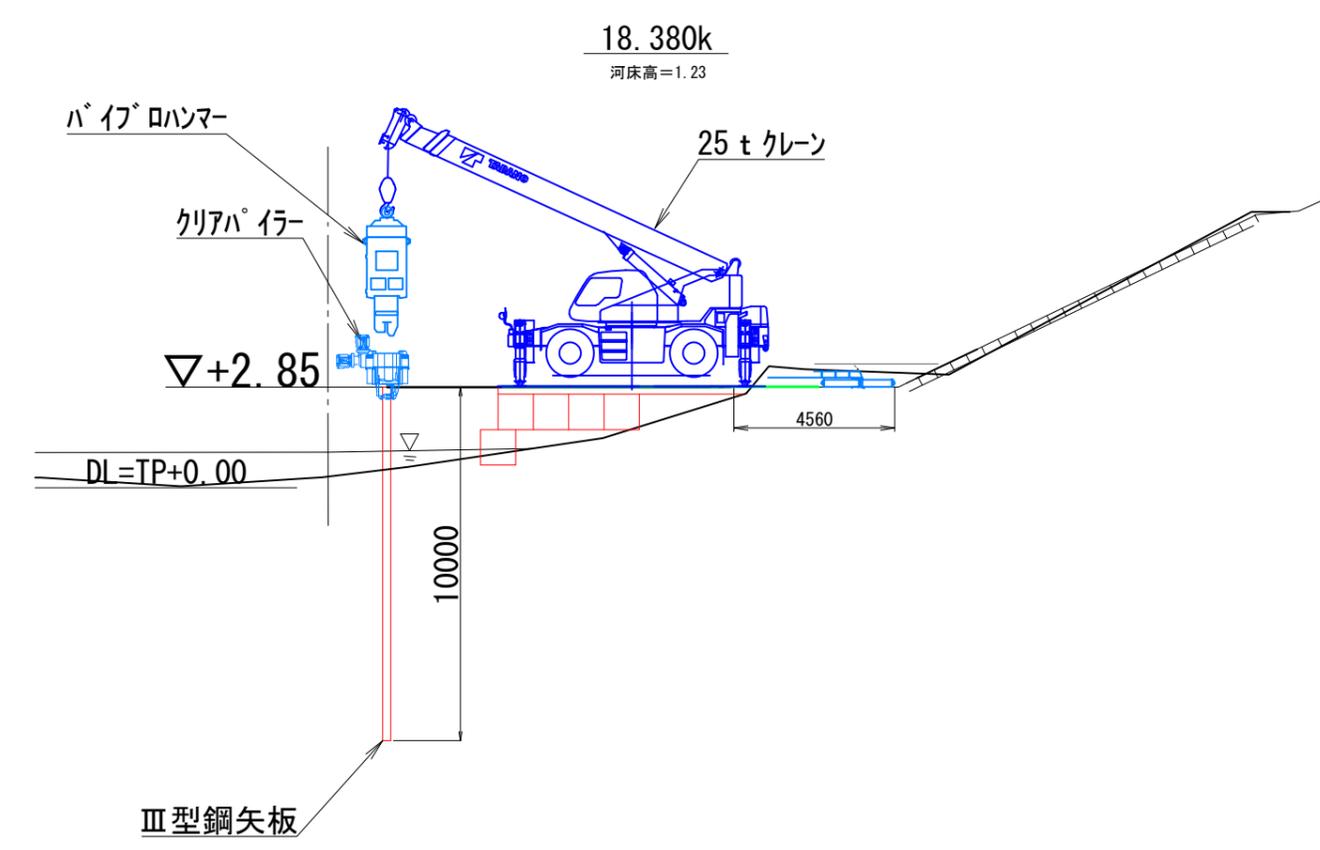


工事名	木架橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	仮設計画横断面図		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	10
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

# ①鋼矢板圧入開始図(参考図)



## 横断図 S=1:100



### 施工条件

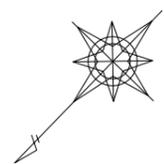
1. 下流側護岸ブロック撤去は、深い所で4m以上の掘削が必要となることから、先行して河川側矢板の設置を行い、止水が完了した後に下流側矢板の設置を行う。
2. 先にU形鋼矢板3枚をパイプロハンマーにて打設し、この矢板を反力として圧入工法により矢板を打設する。
3. 使用クレーンは25tラフテレーンクレーンとするが、ハット形と鋼管矢板を使用するコンビジャイロ工法時には、50tラフテレーンクレーンを使用する。

工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	①鋼矢板圧入開始図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	11
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

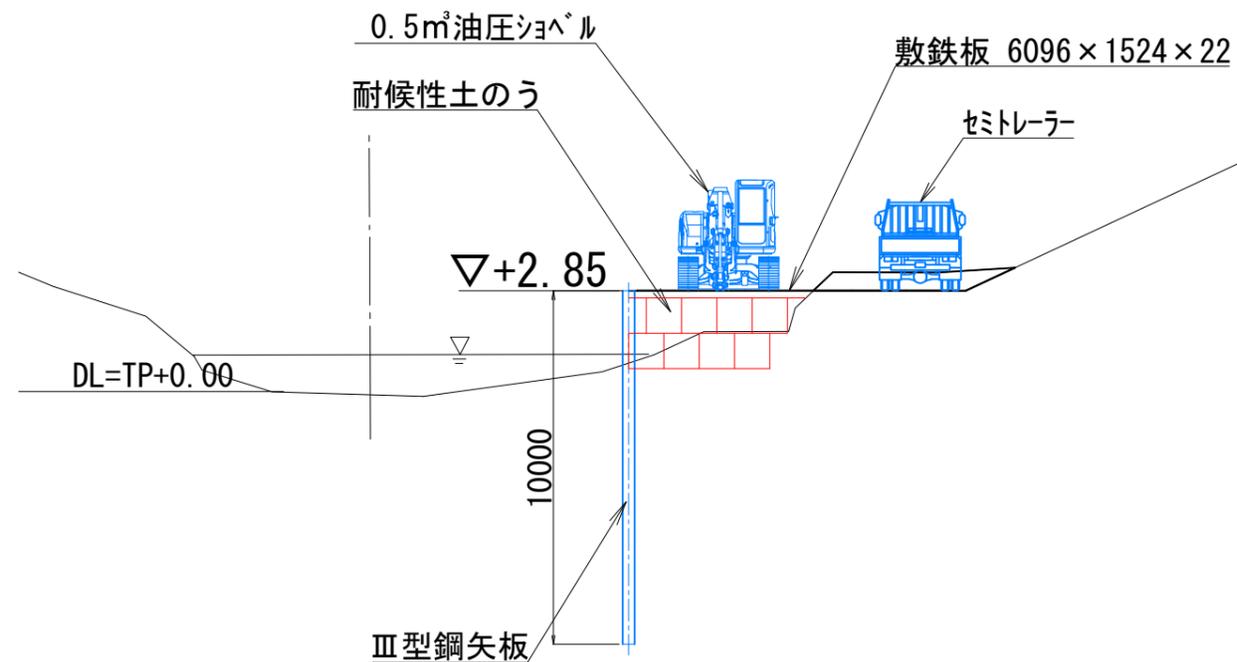
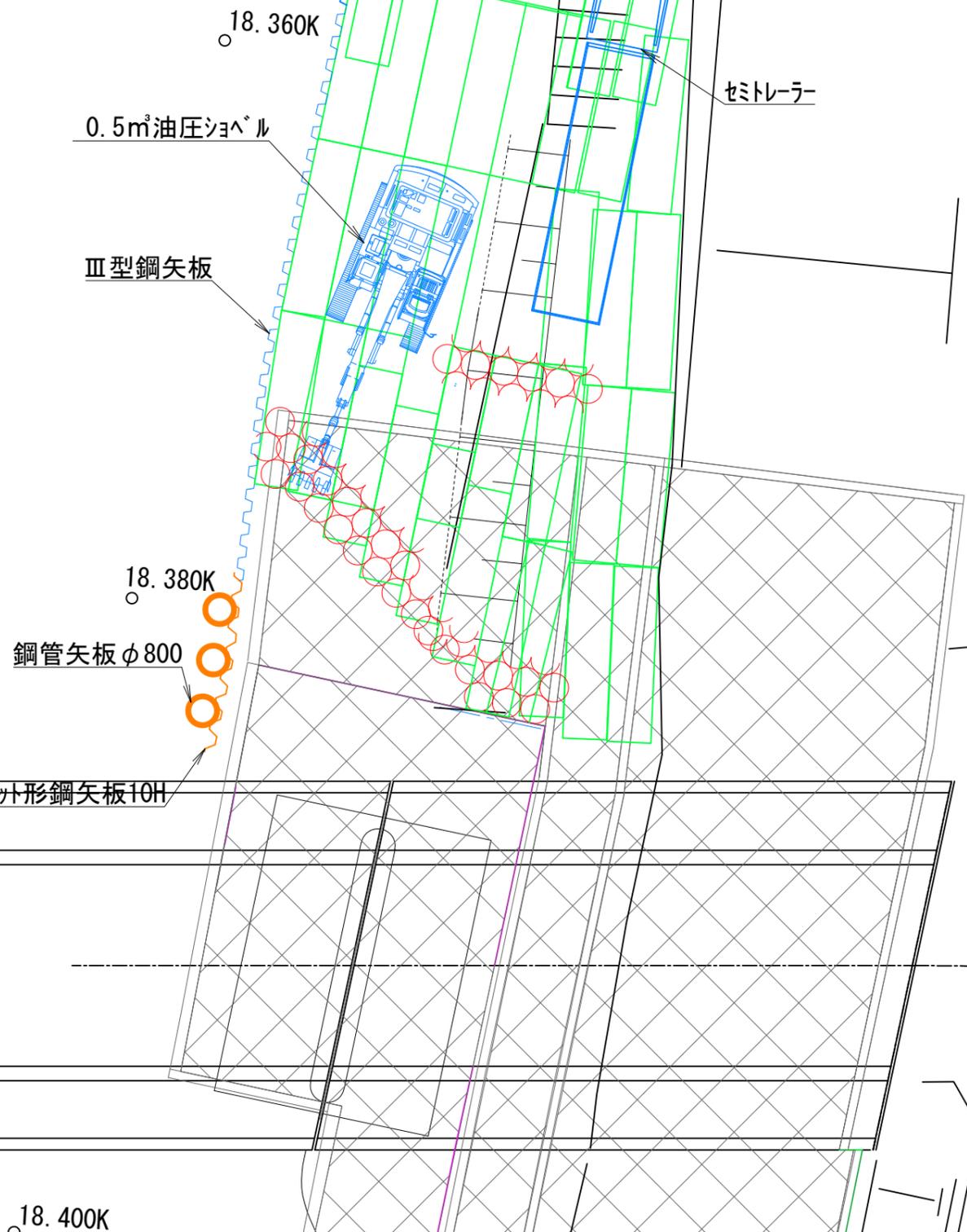
## ②下流側施工ヤード設置図(参考図)

平面図 S=1:100

横断面図 S=1:100



18.360k  
河床高=1.04

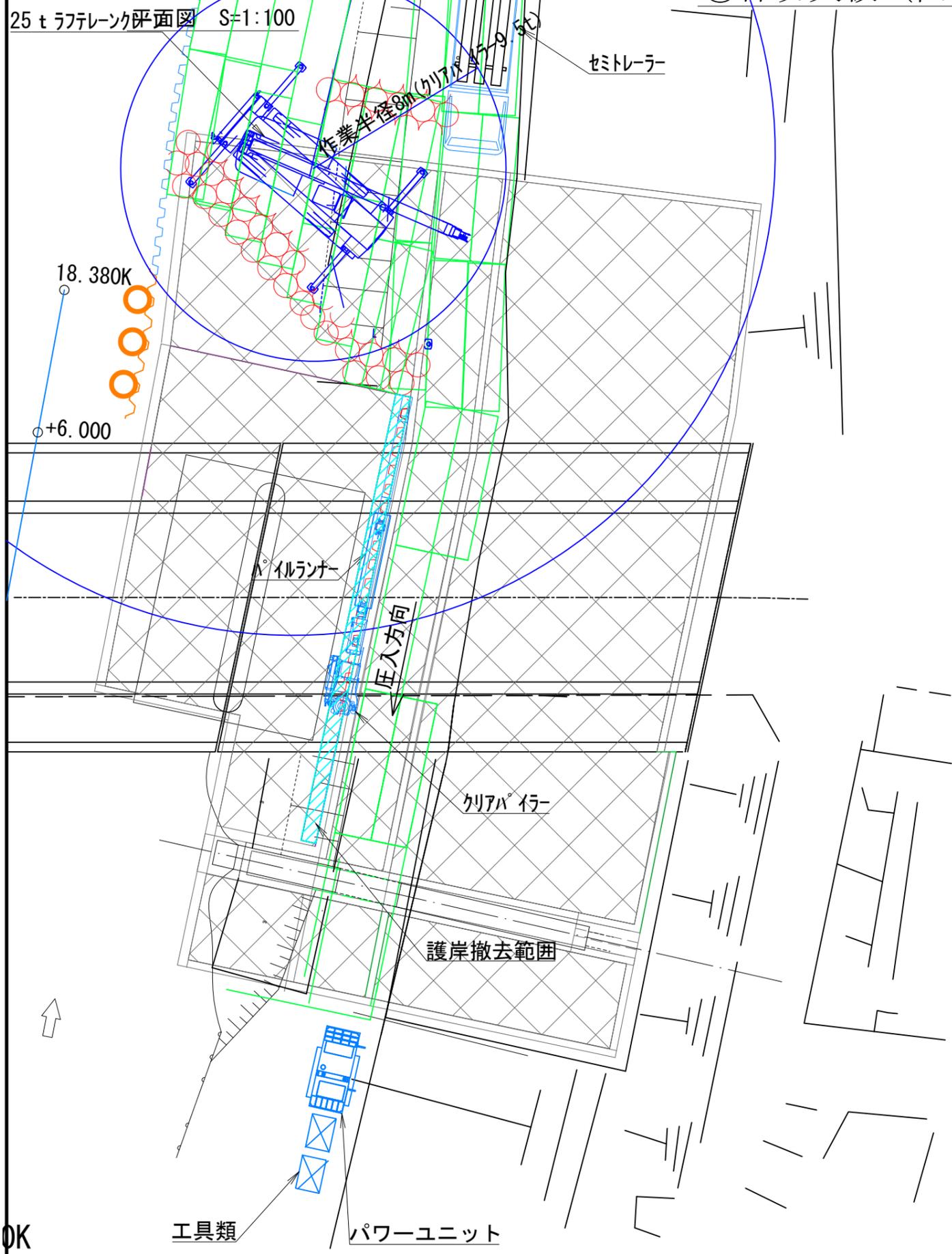


### 施工条件

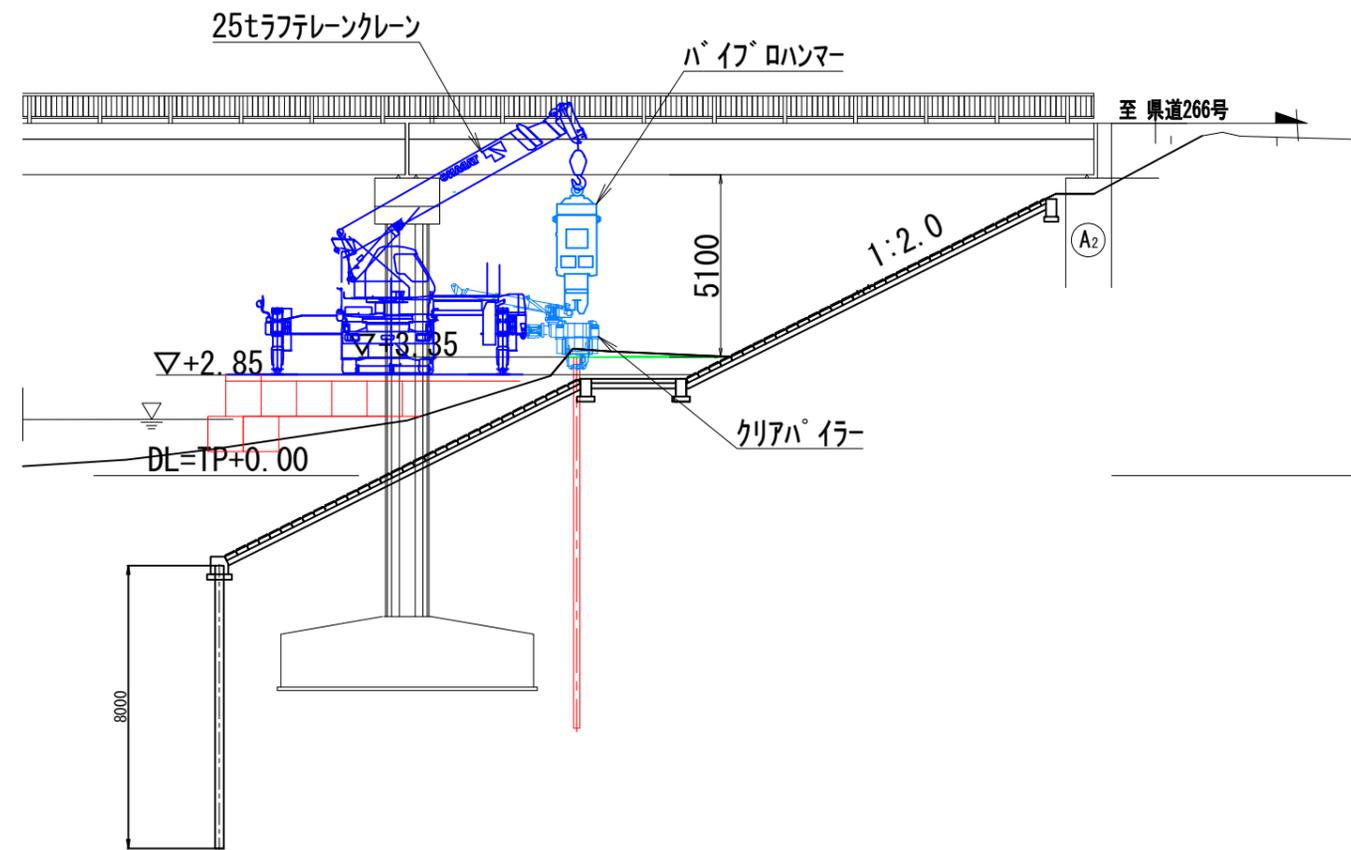
1. 下流側矢板打設終了後にバックホウにて大型土のう、敷鉄板の設置を行いヤードを施工する。

工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	②下流側施工ヤード設置図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	12
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

### ③締切矢板（山側）設置図(参考図)



横断図 S=1:100  
18.380k+6.0m



#### 施工条件

1. 矢板打設箇所の護岸ブロックを撤去した後、パイロハンマーにて反力用矢板3枚を打設し、桁下と共にクリアパイラーによる圧入施工とする。
2. 矢板は桁下を考慮し3枚継ぎとしパイランナーにより矢板を供給する。

工事名	木染橋耐震補強等工事（第3期）		
図面名	③締切矢板（山側）設置図（参考図）		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	13
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

OK

# ④上流側鋼矢板設置図(参考図)

平面図 S=1:100

Ⅲ型鋼矢板

18.380K

鋼管矢板φ800

+6.000

ハット形鋼矢板10H

護岸撤去範囲

18.400K

クリアパイラー

25 t クレーン

排水パイプφ300×14m

18.420K

工具類

パワーユニット

搬入車両

作業半径20m(2.1t)

作業半径9m(クリアパイラー9.5t)

圧入方向

圧入方向

横断図 S=1:100

18.400K  
河床高=1.31

25 t クレーン

クリアパイラー

セミトレーラー

▽+2.85

DL=TP+0.00

DL=0.000

10000

5600

## 施工条件

1. 山側矢板打設終了後にバックホウにより上流側締切矢板打設箇所の護岸ブロックを撤去する。
2. 護岸撤去後に引き続きクリアパイラーにより上流側締切部、川側矢板を設置する。
3. 上流側締切部矢板の設置が進んだ段階で25 t ラフテレーンクレーンを設置し、矢板の供給を行う。矢板は一枚物とする。
4. 縦排水溝吐口部に排水管を設置する。

工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	④上流側鋼矢板設置図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	14
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

### ⑤河川側締切鋼矢板設置図(参考図)

平面図 S=1:100

Ⅲ型鋼矢板

18.380K

鋼管矢板φ800

○+6.000

ハット形鋼矢板10H

パイルランナー

注入方向

クリアパイラー

セミトレーラー

18.400K

作業半径20m(2.1t)

作業半径8m(クリアパイラー-9.5t)

排水パイφ300×14m

25tクレーン

○18.420K

工具類

パワーユニット

横断面図 S=1:100

18.400K  
河床高=1.31

25tクレーン

セミトレーラー

5600

クリアパイラー

▽+2.85

DL=TP±0.00

10000

耐候性土のう

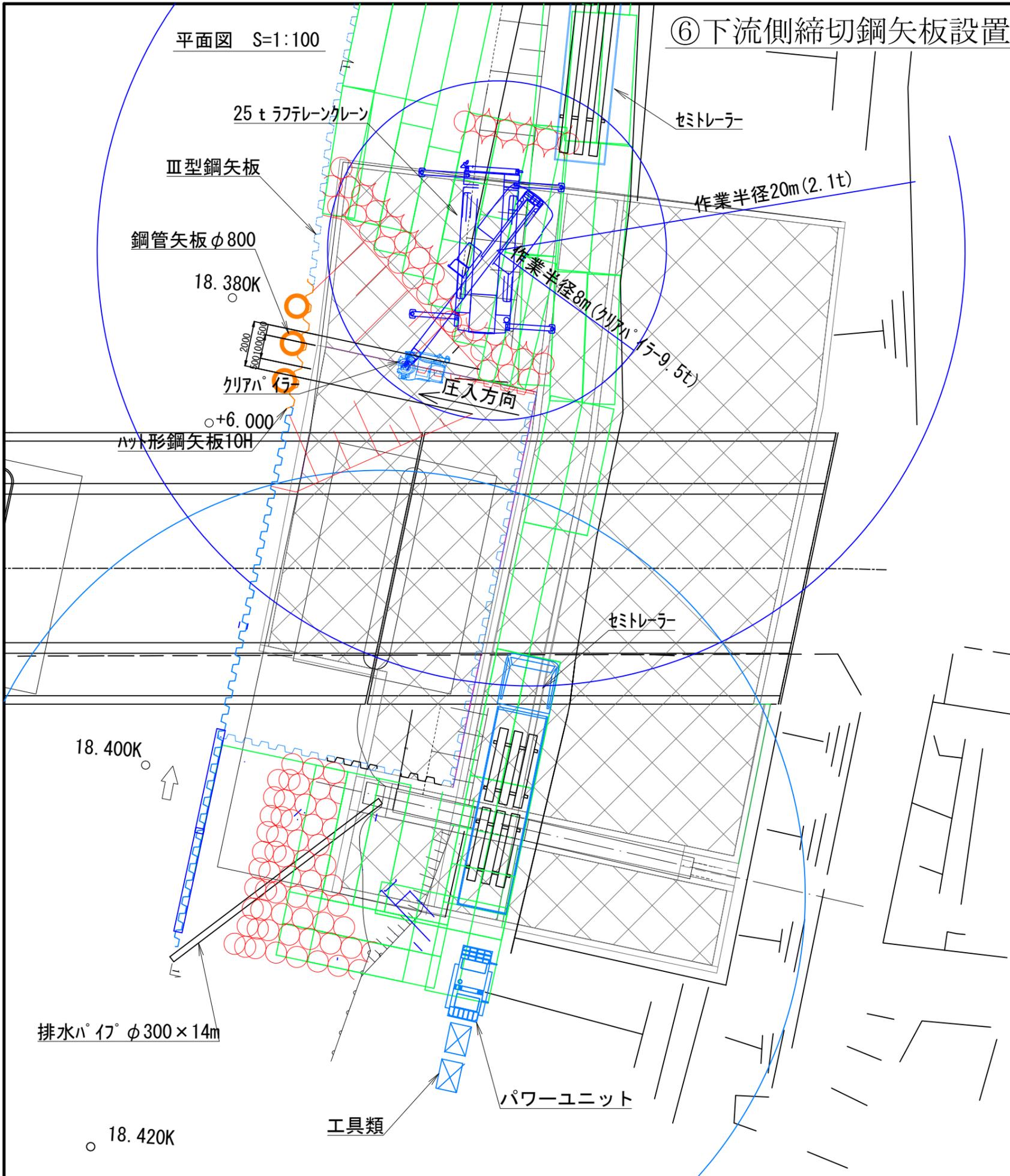
#### 施工条件

1. 上流側矢板打設後、引き続き河川側締切部矢板の設置をクリアパイラーにより行う。
2. 桁下については、パイルランナーにて矢板を供給する。

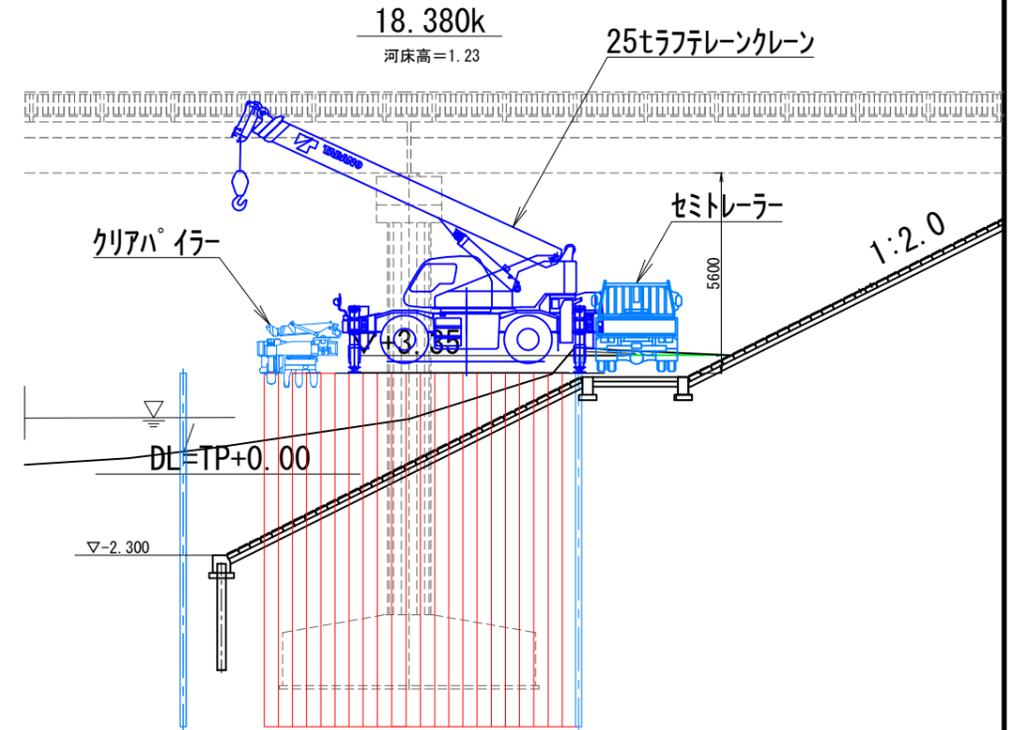
工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	⑤河川側締切鋼矢板設置図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	15
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

# ⑥下流側締切鋼矢板設置図(参考図)

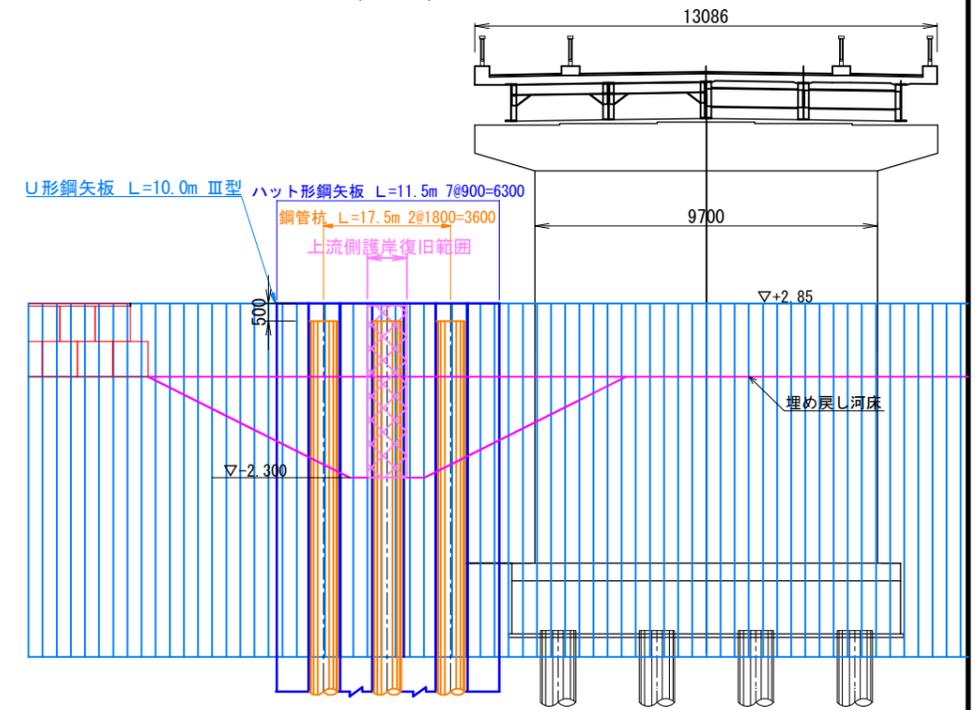
平面図 S=1:100



横断面 S=1:100



横断面 S=1:100  
(1-1)



## 施工条件

1. 下流側締切矢板設置部の護岸ブロックを撤去後、山側矢板を反力台としてクリアパイラーにより圧入施工を行う。
2. 使用矢板は一枚物とする。

工事名	木染橋耐震補強等工事 (第3期)		
図面名	⑥下流側締切鋼矢板設置図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	16
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

⑦上流側施工ヤード設置図(参考図)

平面図 S=1:100

横断面図 S=1:100

18.380K  
河床高=1.31

Ⅲ型鋼矢板

18.380K

鋼管矢板φ800

○+6.000

ハット形鋼矢板10H

0.11m<sup>3</sup>ミニ油圧ショベル

0.5m<sup>3</sup>油圧ショベル

10Tダンプ

▽+2.85

DL=TP+0.00

耐候性土のう

10000

5600

18.380K+15.0

0.5m<sup>3</sup>油圧ショベル

10Tダンプ

DL=TP+0.00

0.11m<sup>3</sup>ミニ油圧ショベル

5600

18.400K

排水パイプφ300×14m

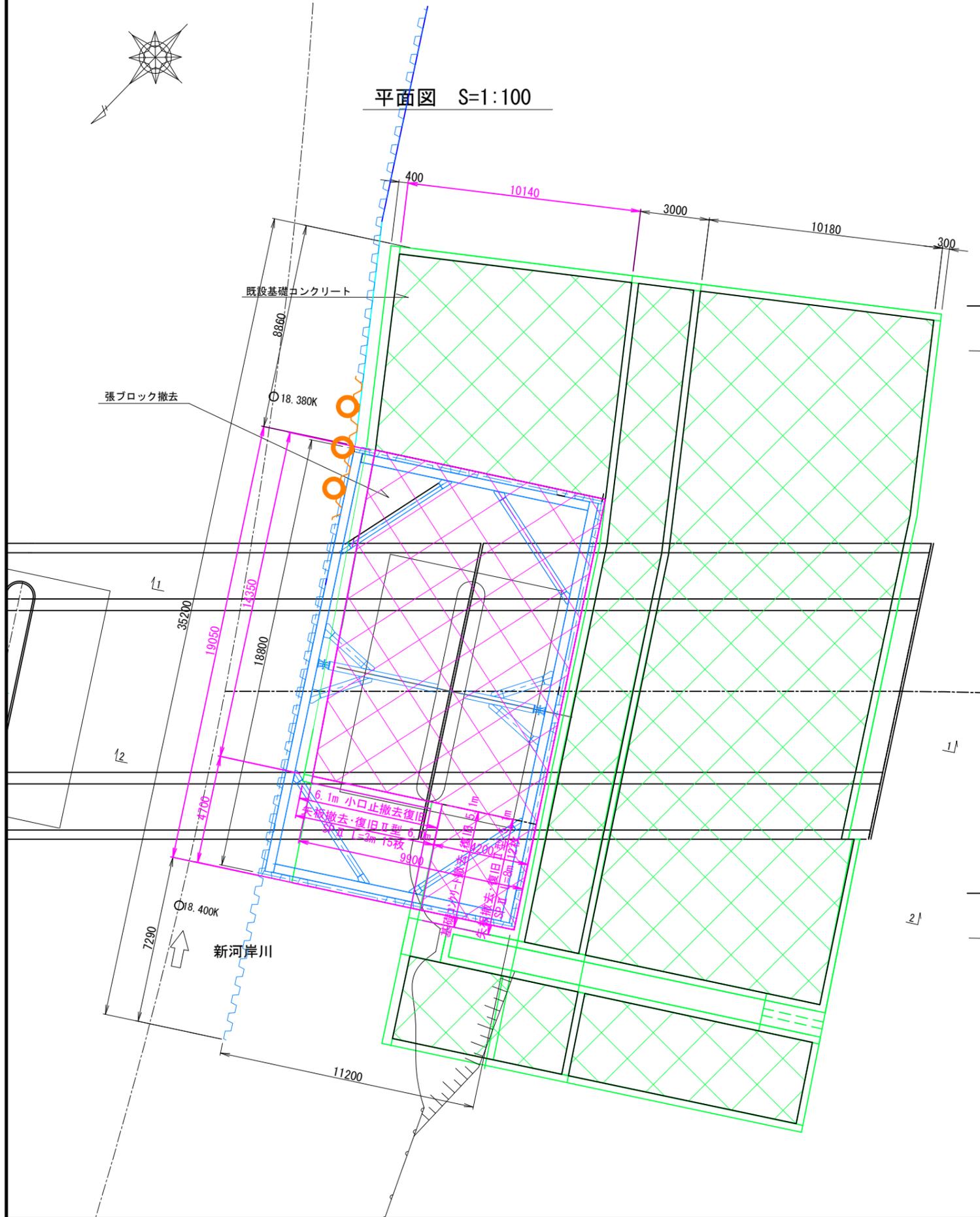
0.5m<sup>3</sup>油圧ショベル

10Tダンプ

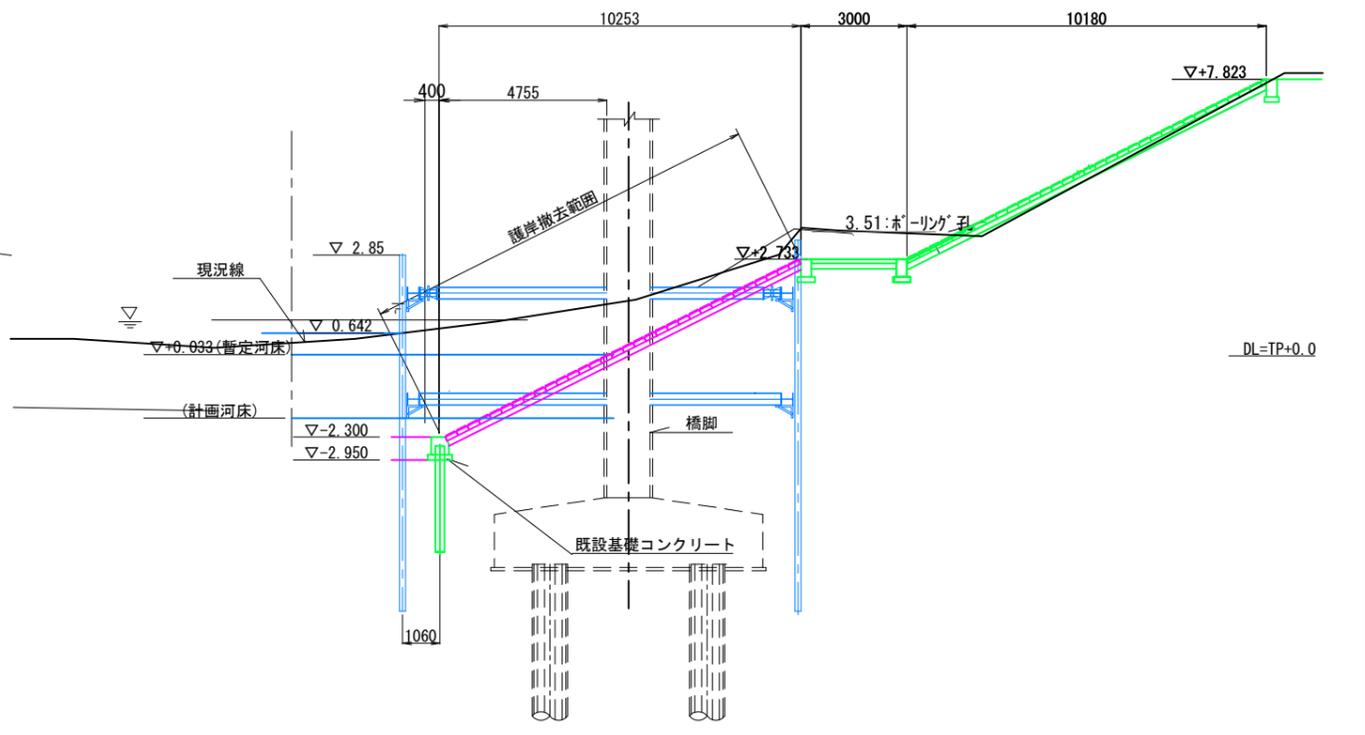
○18.420K

工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	⑦上流側施工ヤード設置図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	17
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

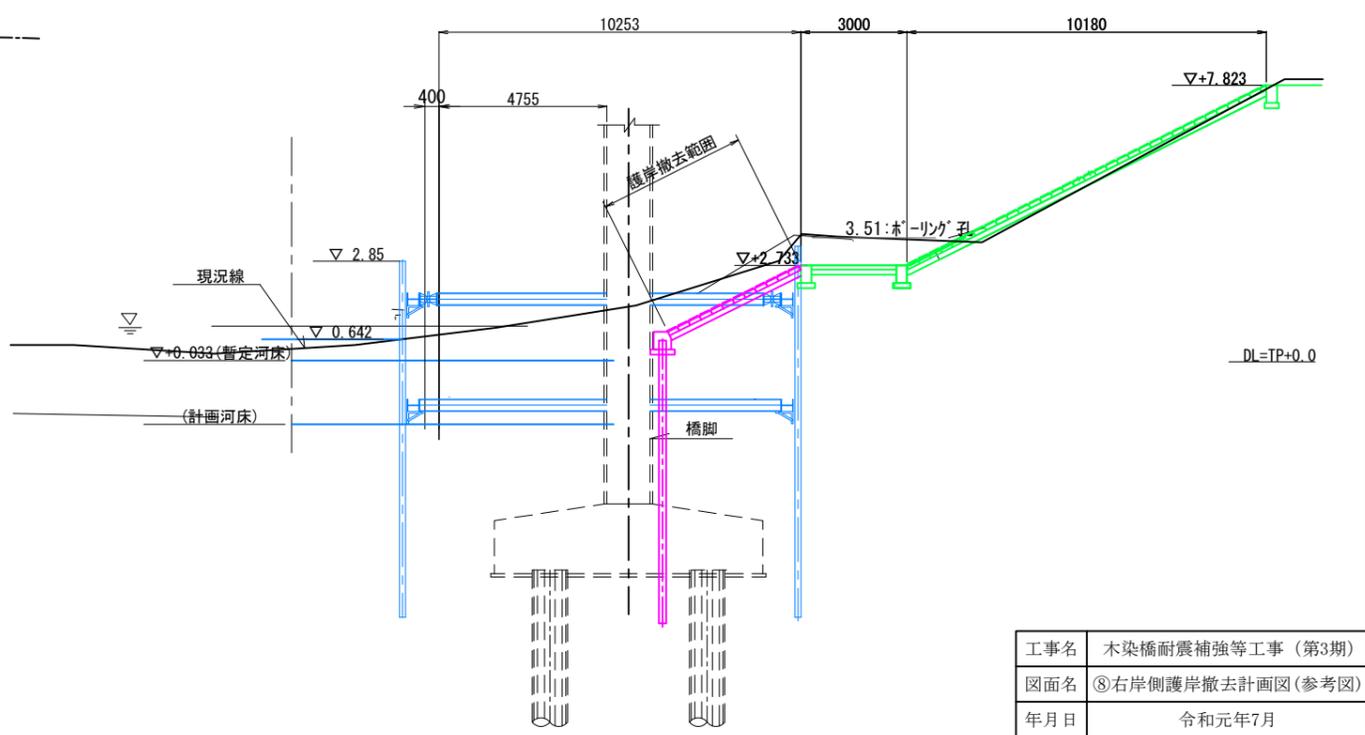
# ⑧右岸側護岸撤去図(参考図)



横断面図 S=1:100 (1-1)



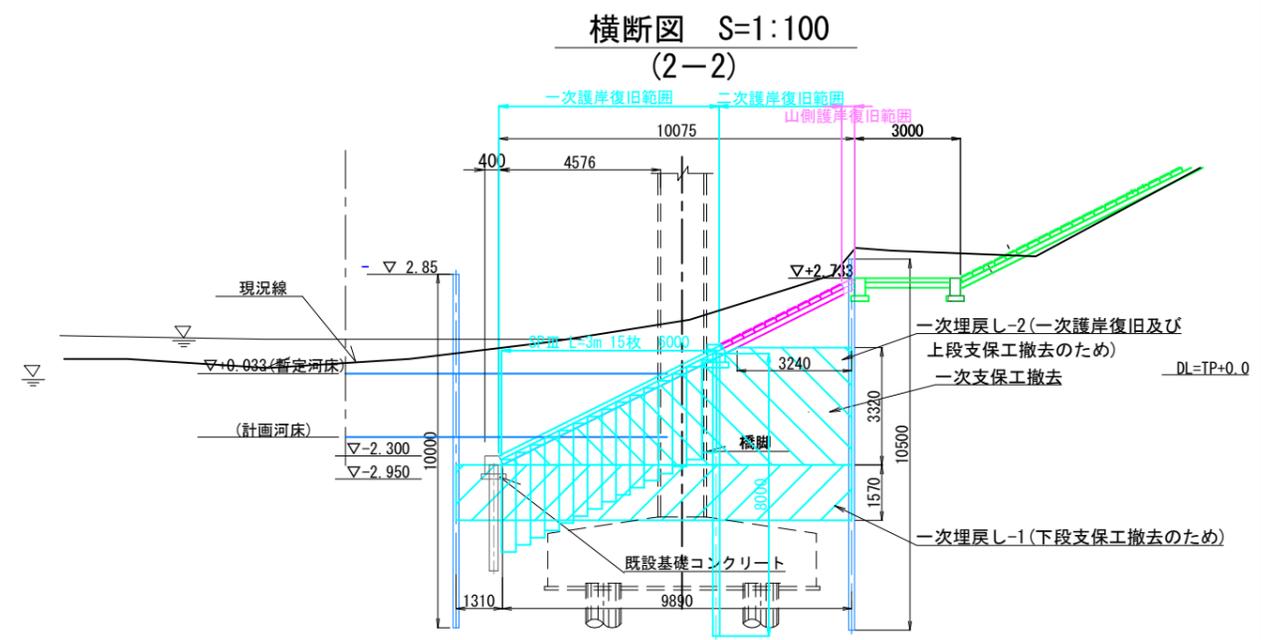
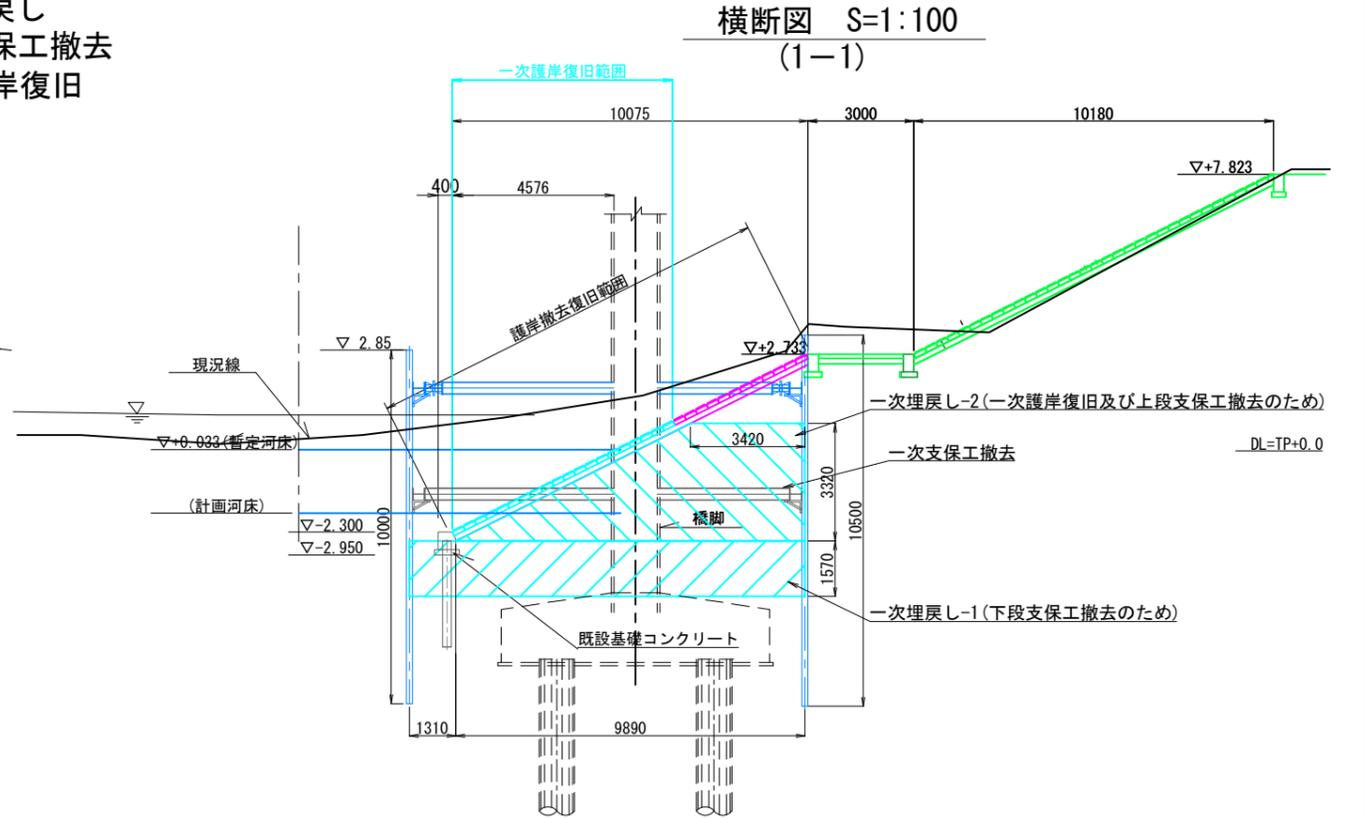
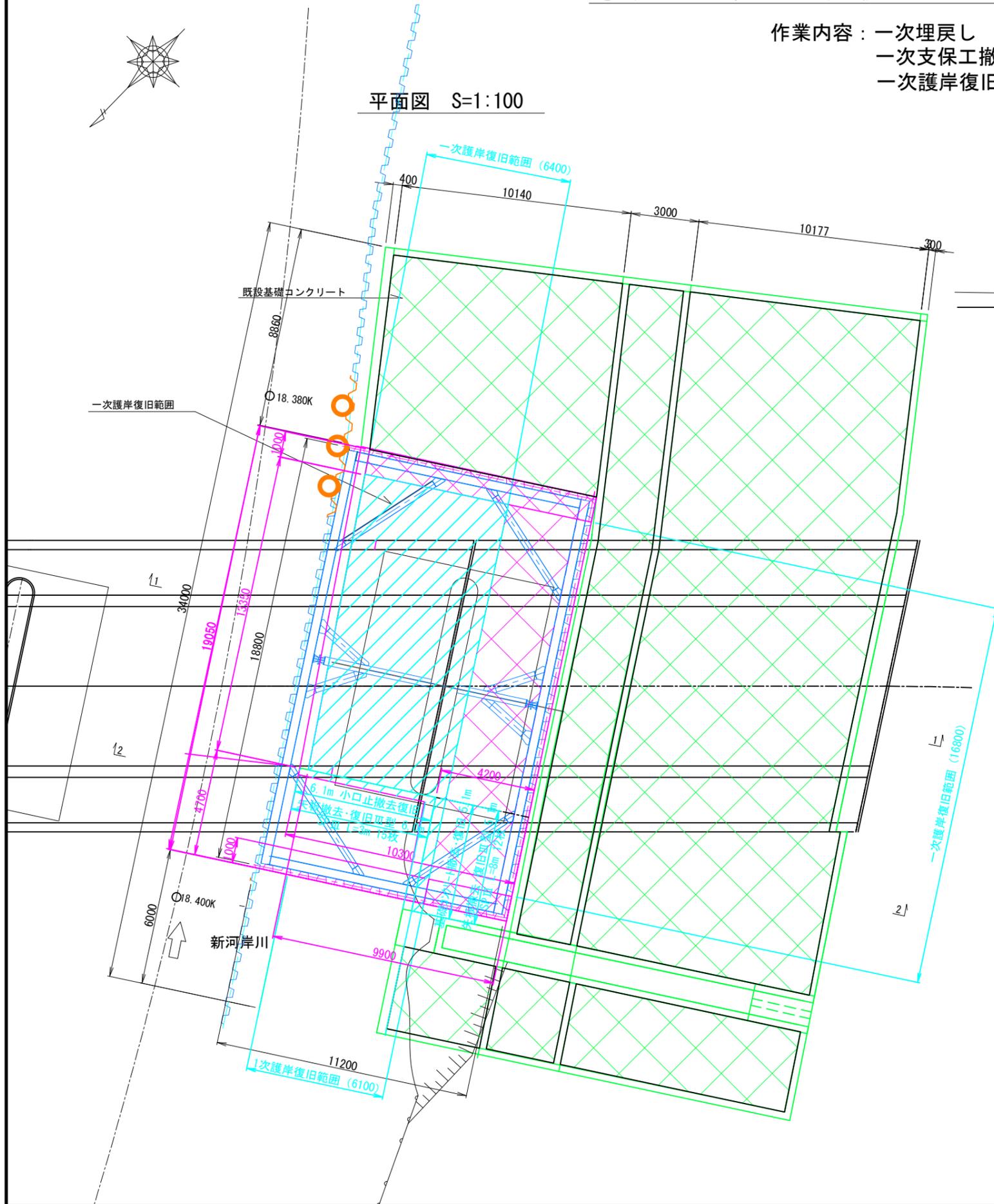
横断面図 S=1:100 (2-2)



工事名	木染橋耐震補強等工事 (第3期)		
図面名	⑧右岸側護岸撤去計画図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	18
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

# ⑨右岸側護岸一次復旧計画図(参考図)

作業内容：一次埋戻し  
一次支保工撤去  
一次護岸復旧

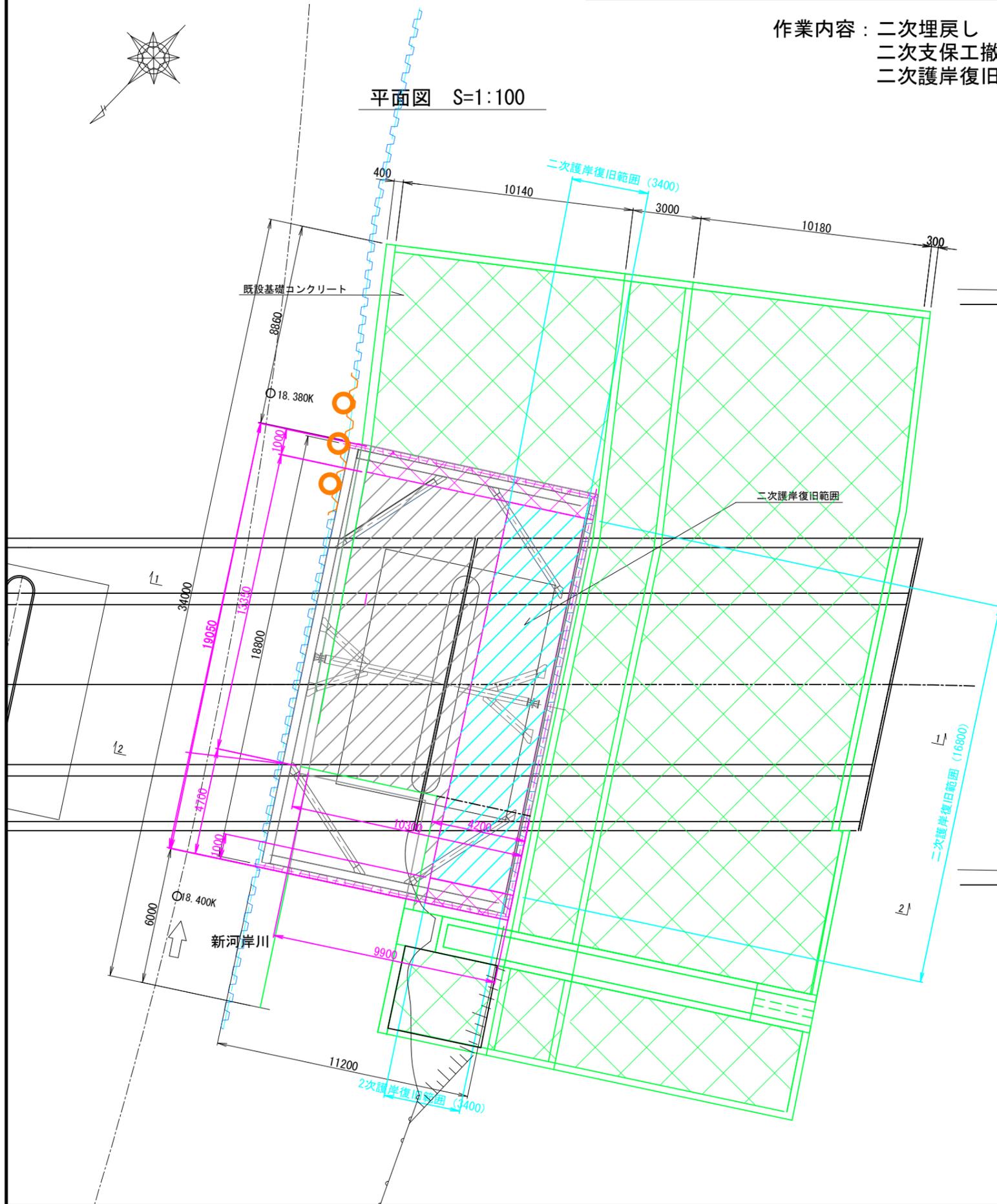


工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	⑨右岸側護岸一次復旧計画図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	19
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

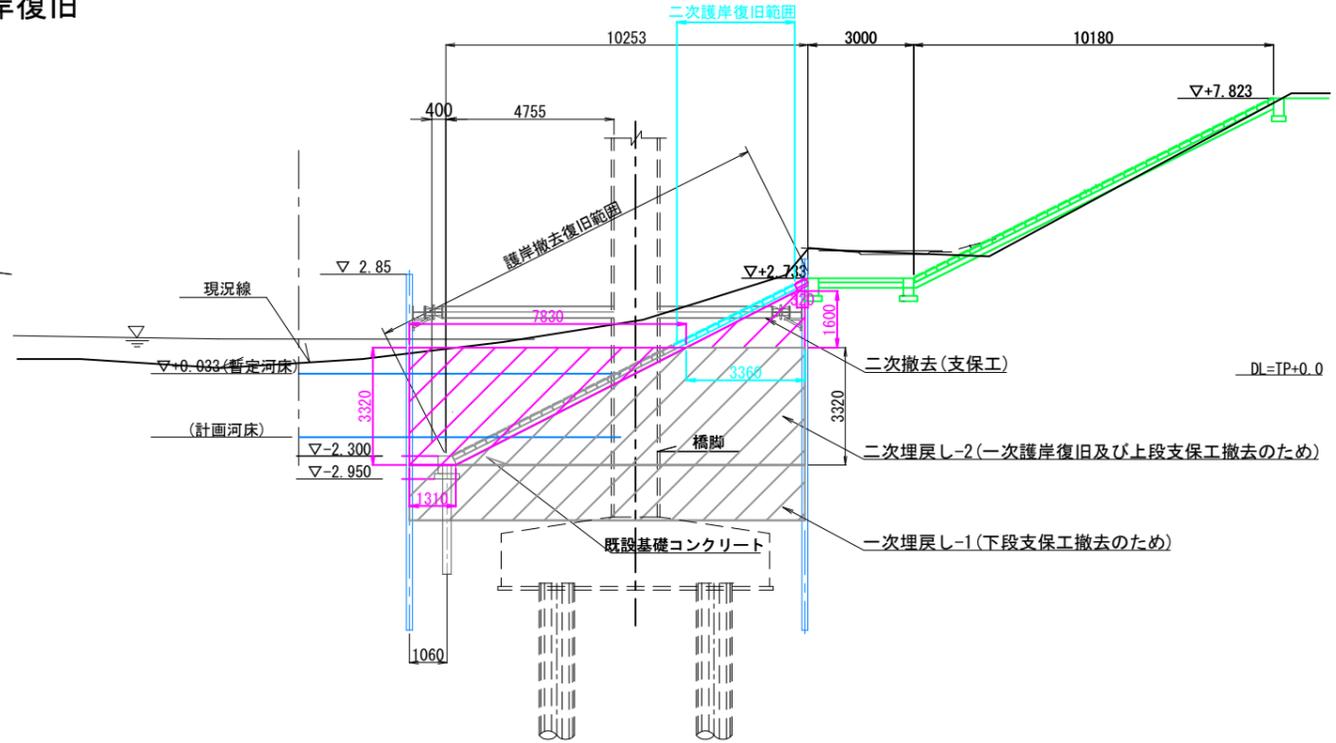
# ⑩右岸側護岸二次復旧計画図(参考図)

作業内容：二次埋戻し  
二次支保工撤去  
二次護岸復旧

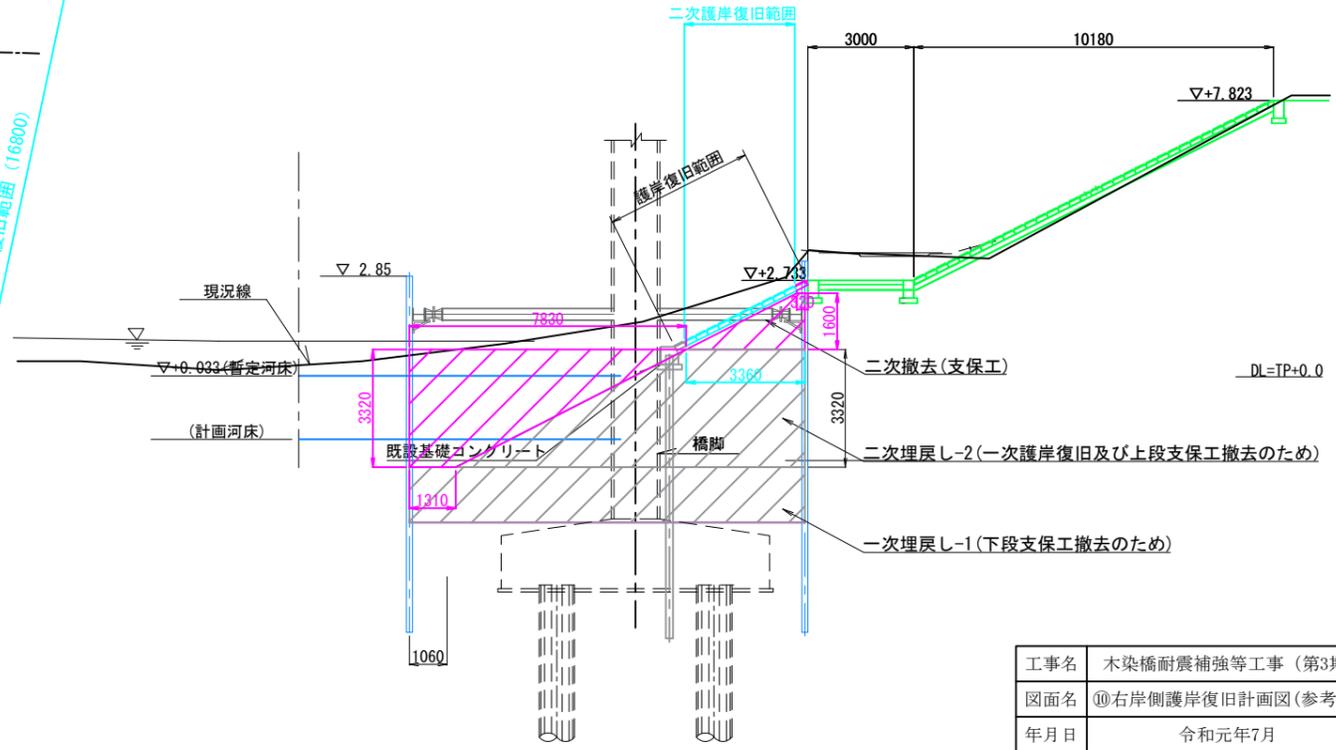
平面図 S=1:100



横断図 S=1:100  
(1-1)



横断図 S=1:100  
(1-1)

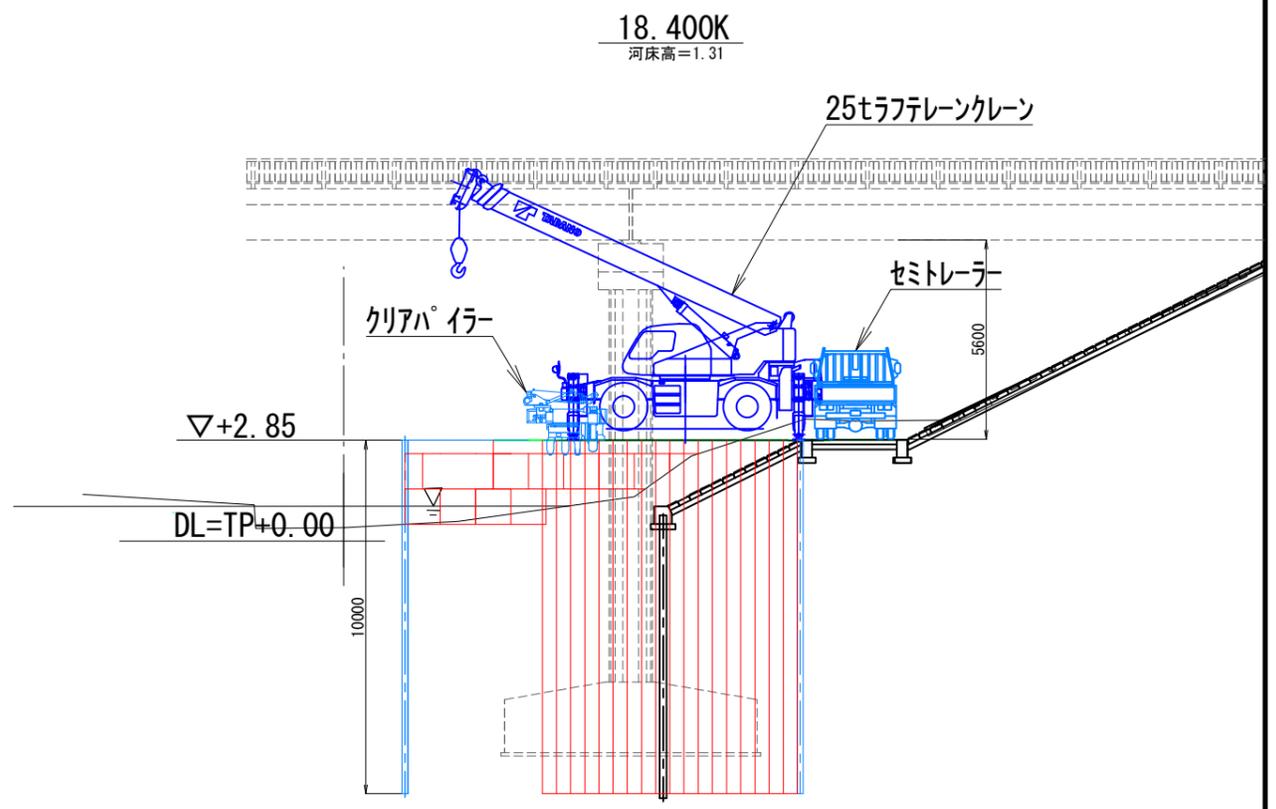
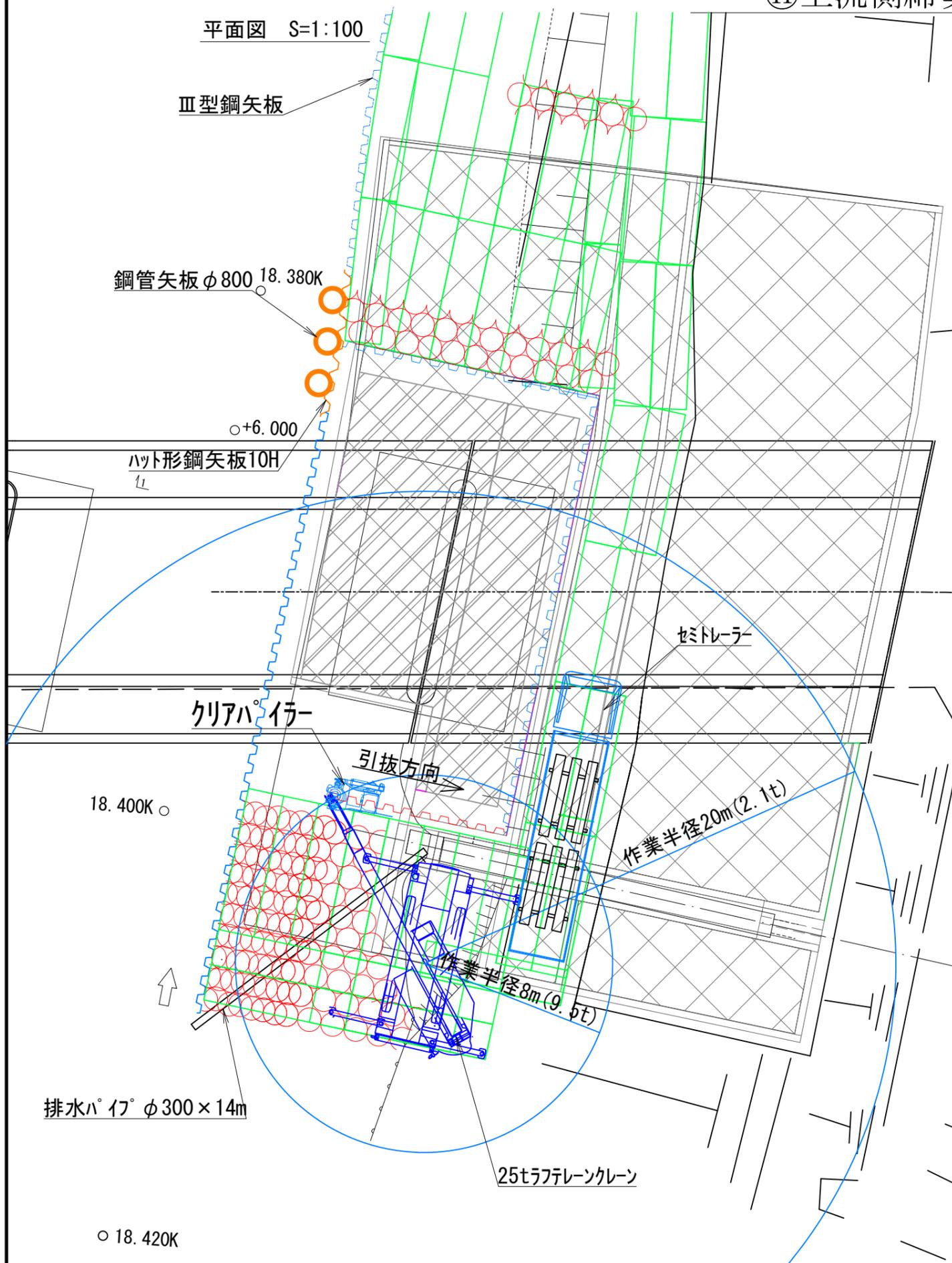


工事名	木染橋耐震補強等工事 (第3期)		
図面名	⑩右岸側護岸復旧計画図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	20
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

⑪上流側締切矢板撤去図(参考図)

平面図 S=1:100

横断面図 S=1:100

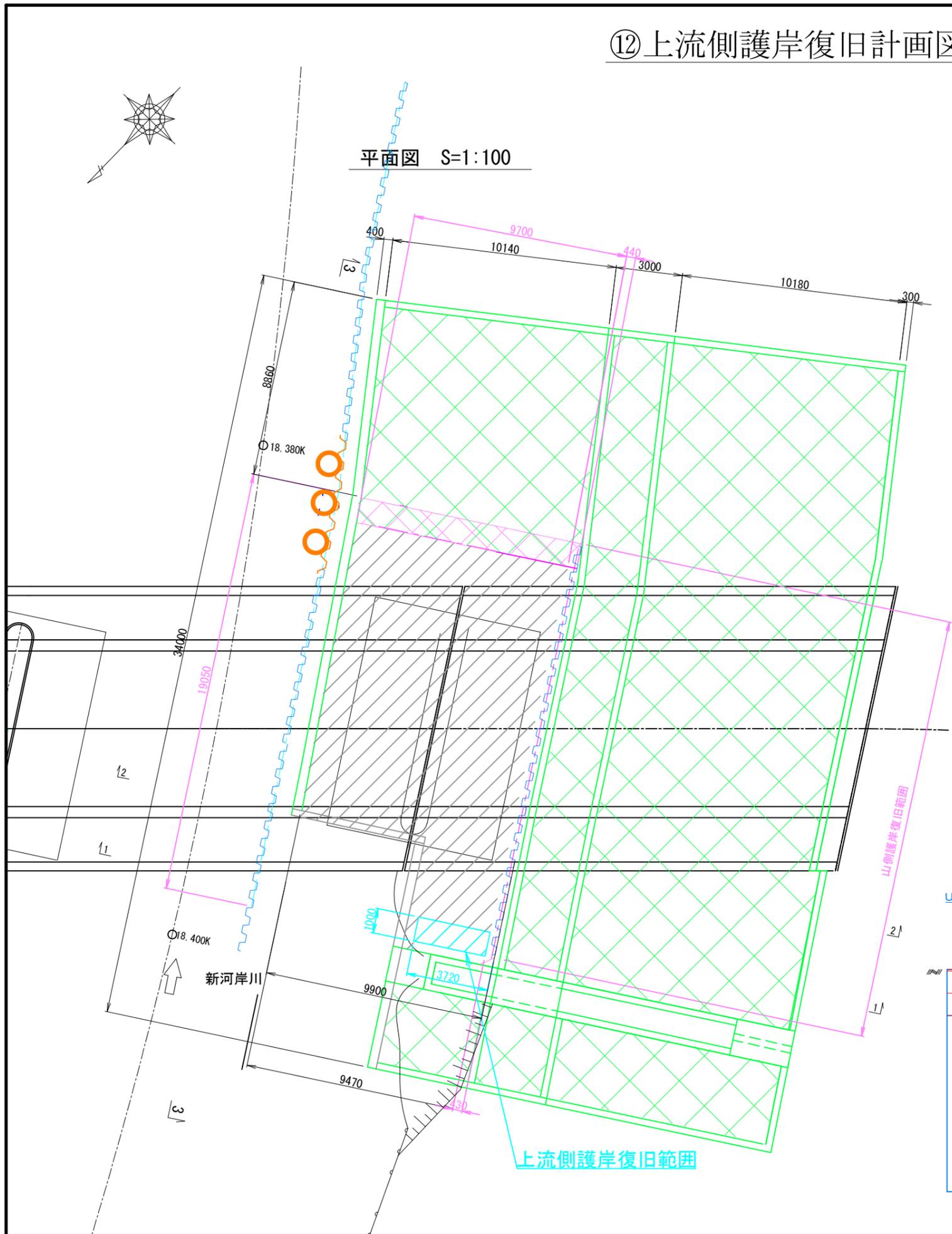


施工条件

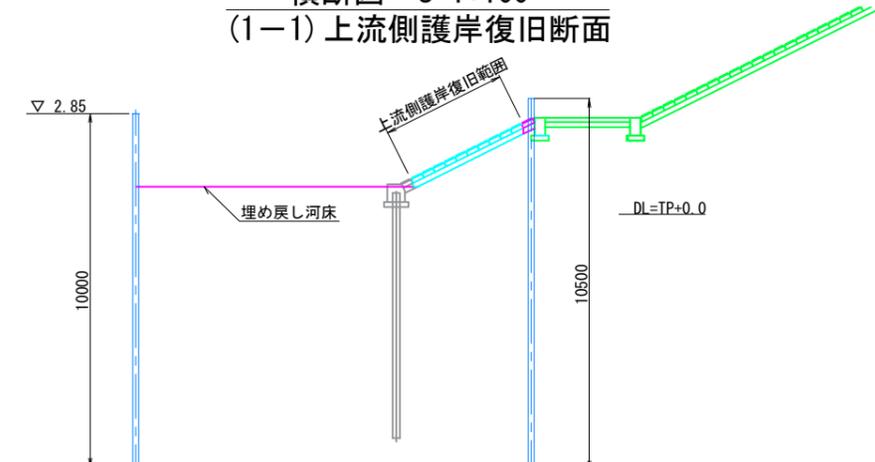
1. 上流側護岸ブロック設置を行うため、上流側締切矢板の引抜を行う。

工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	⑪上流側締切矢板撤去図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	21
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

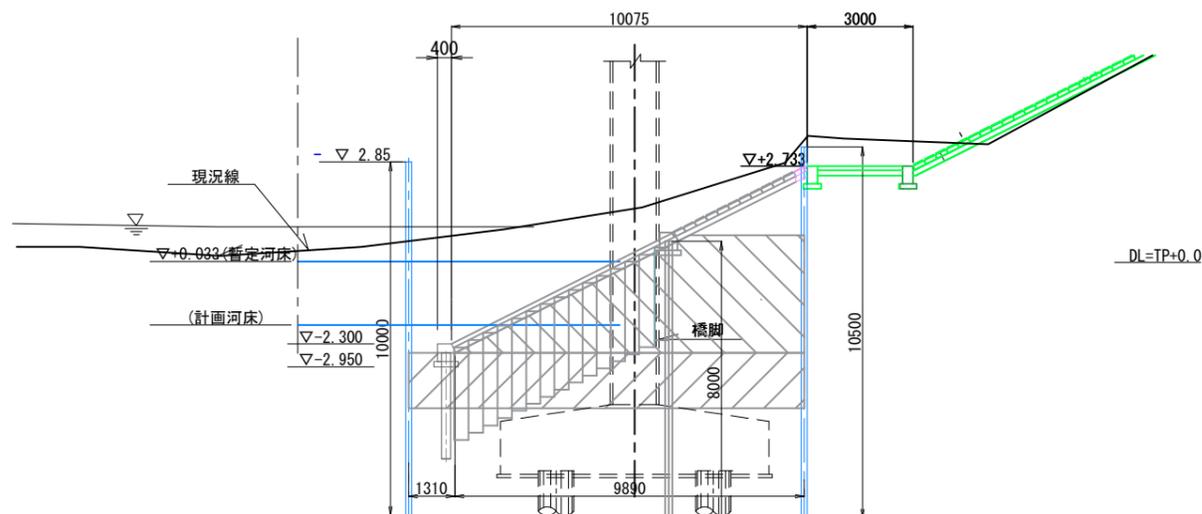
# ⑫ 上流側護岸復旧計画図(参考図)



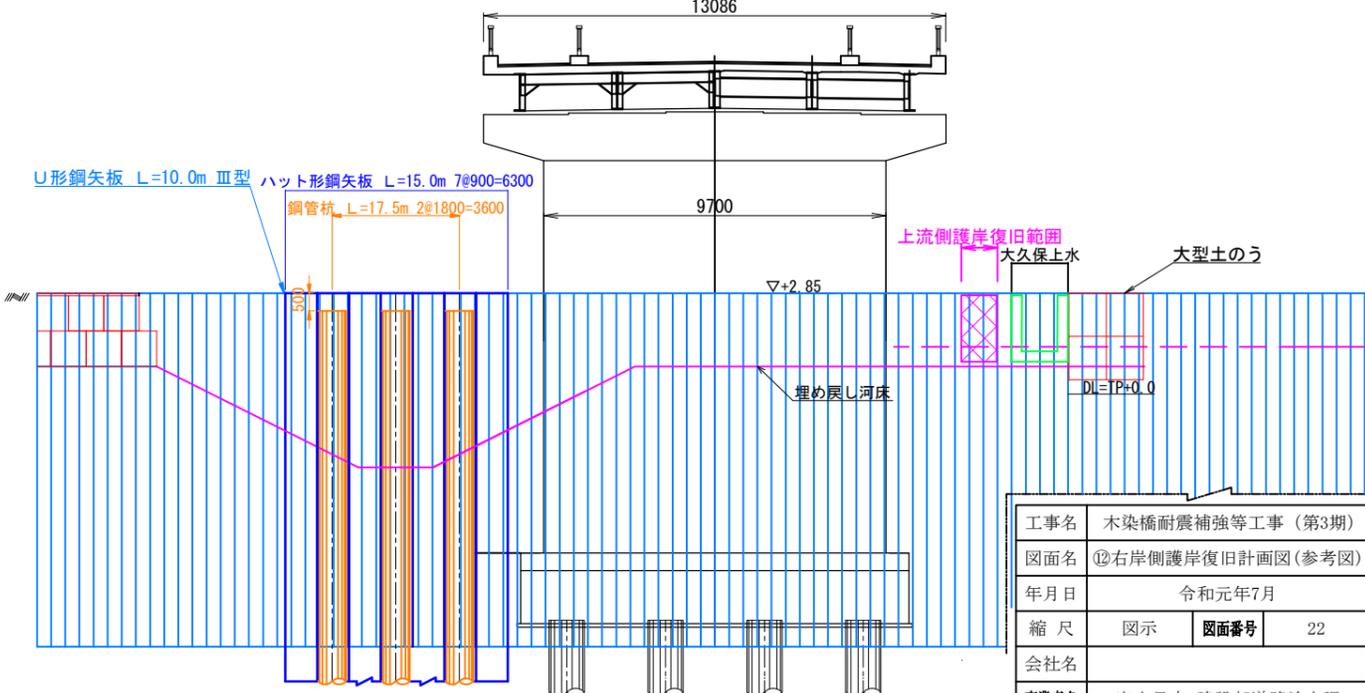
横断面 S=1:100  
(1-1) 上流側護岸復旧断面



横断面 S=1:100  
(2-2)



横断面 S=1:100  
(3-3)

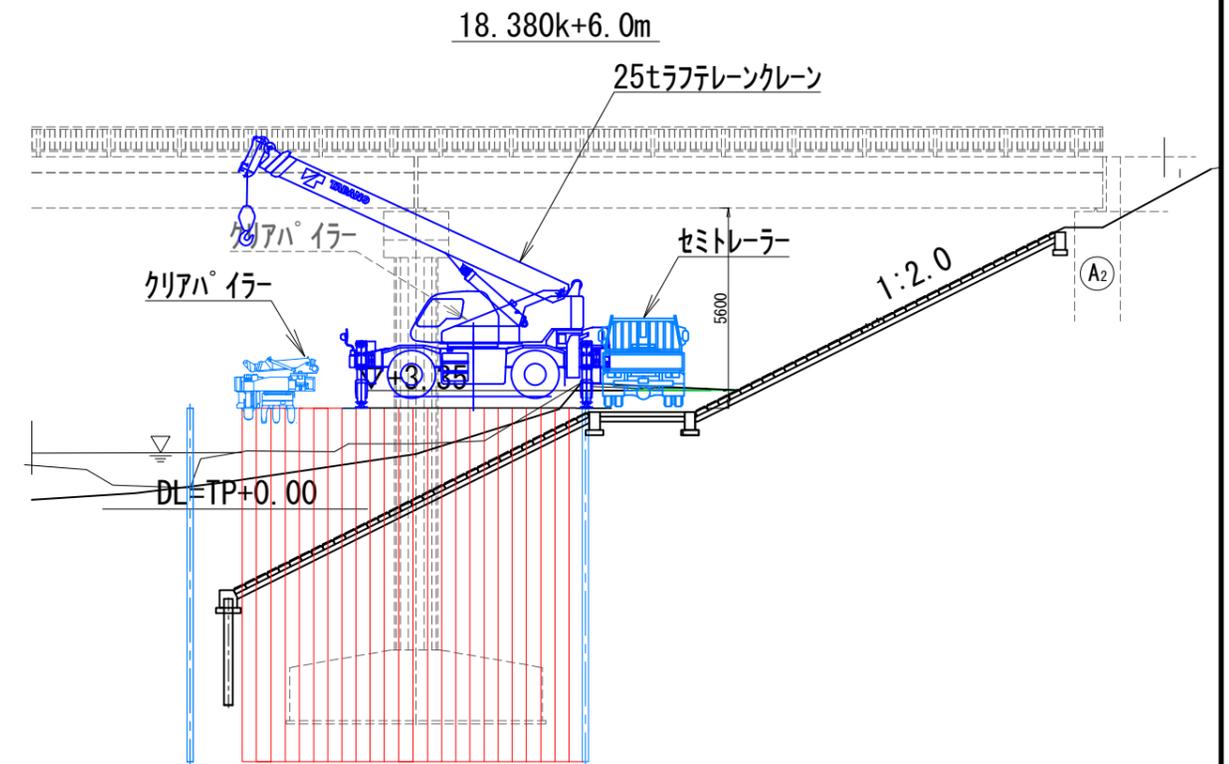
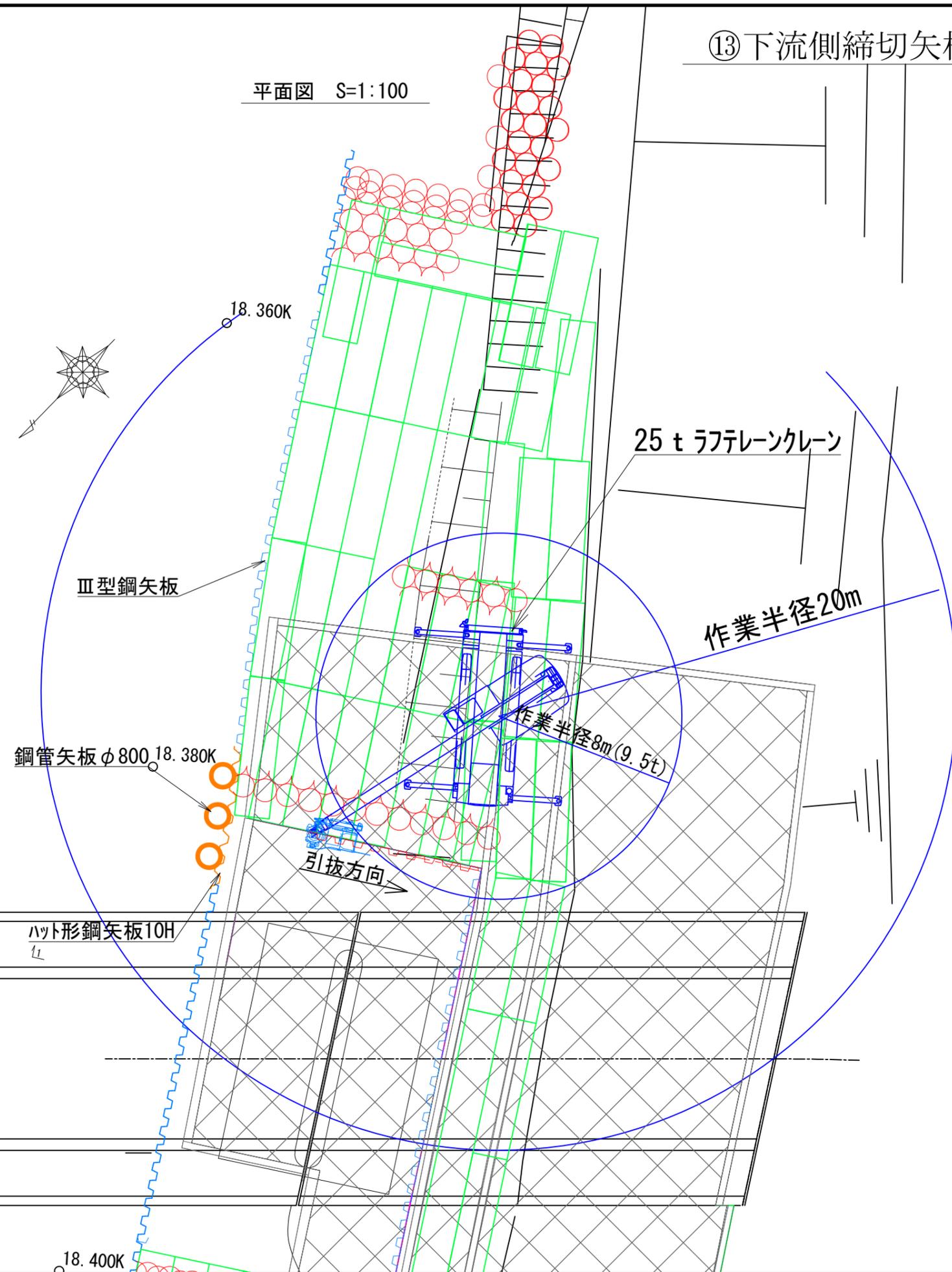


工事名	木染橋耐震補強等工事 (第3期)		
図面名	⑫右岸側護岸復旧計画図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	22
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

⑬下流側締切矢板撤去図(参考図)

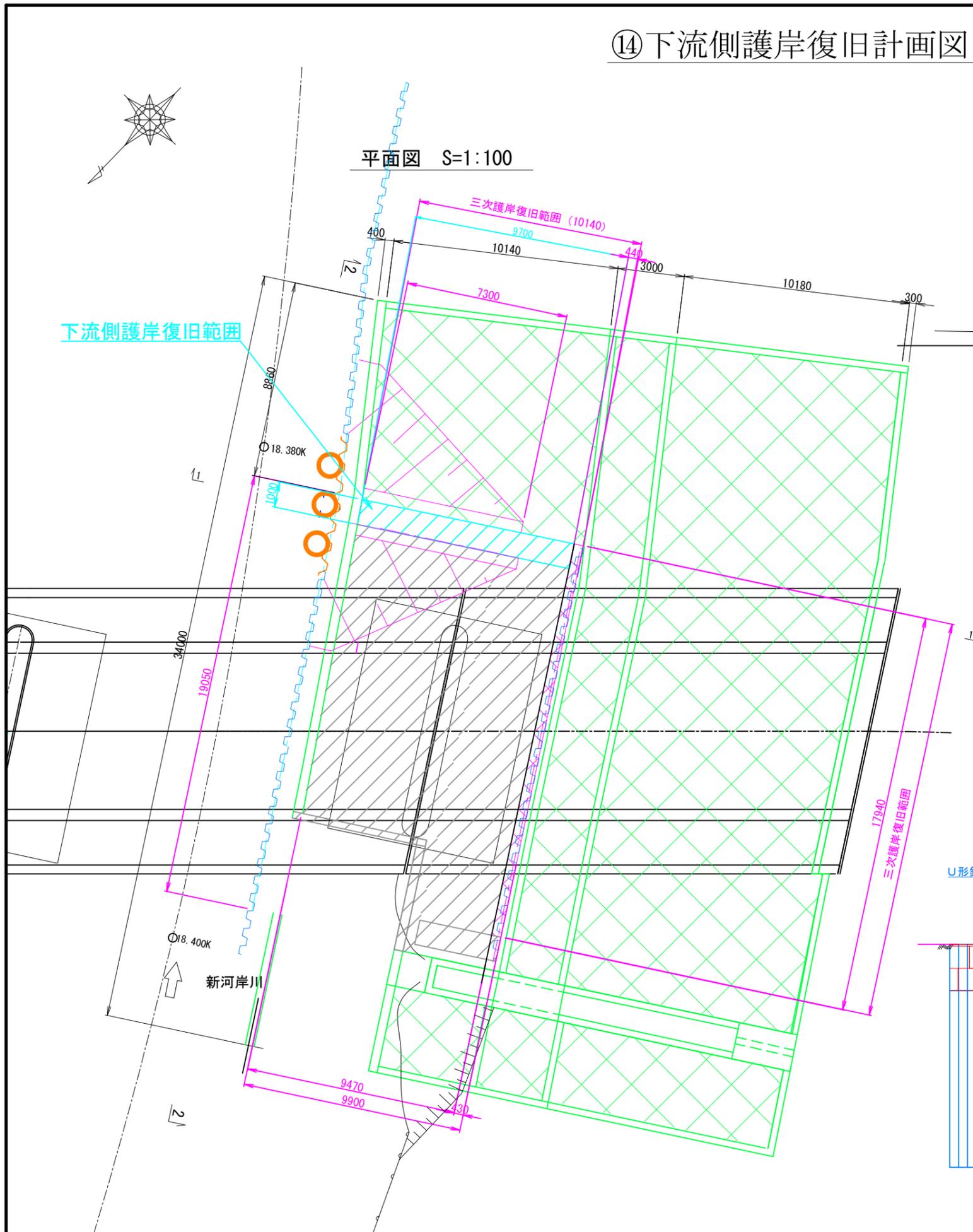
平面図 S=1:100

横断面図 S=1:100

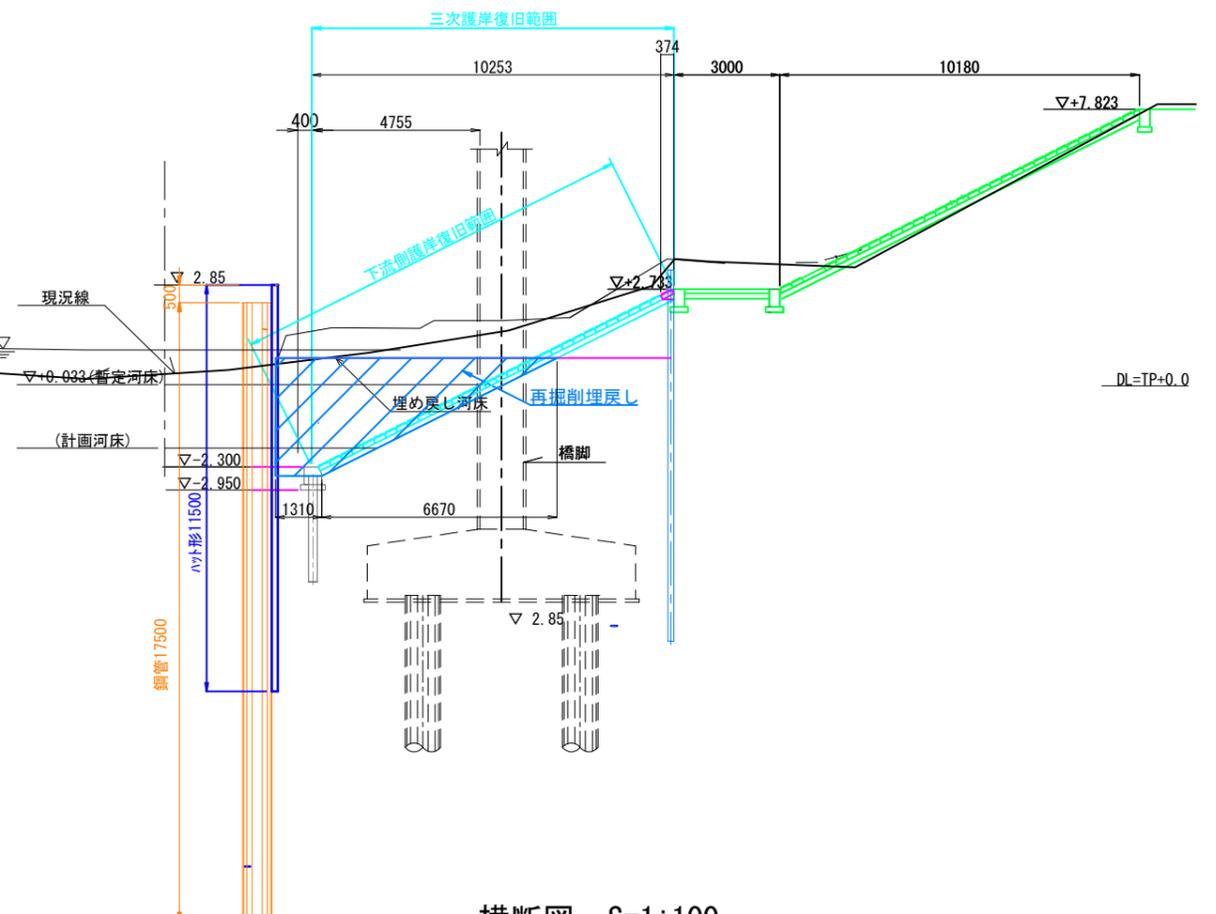


工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	⑬下流側締切矢板撤去図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	23
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

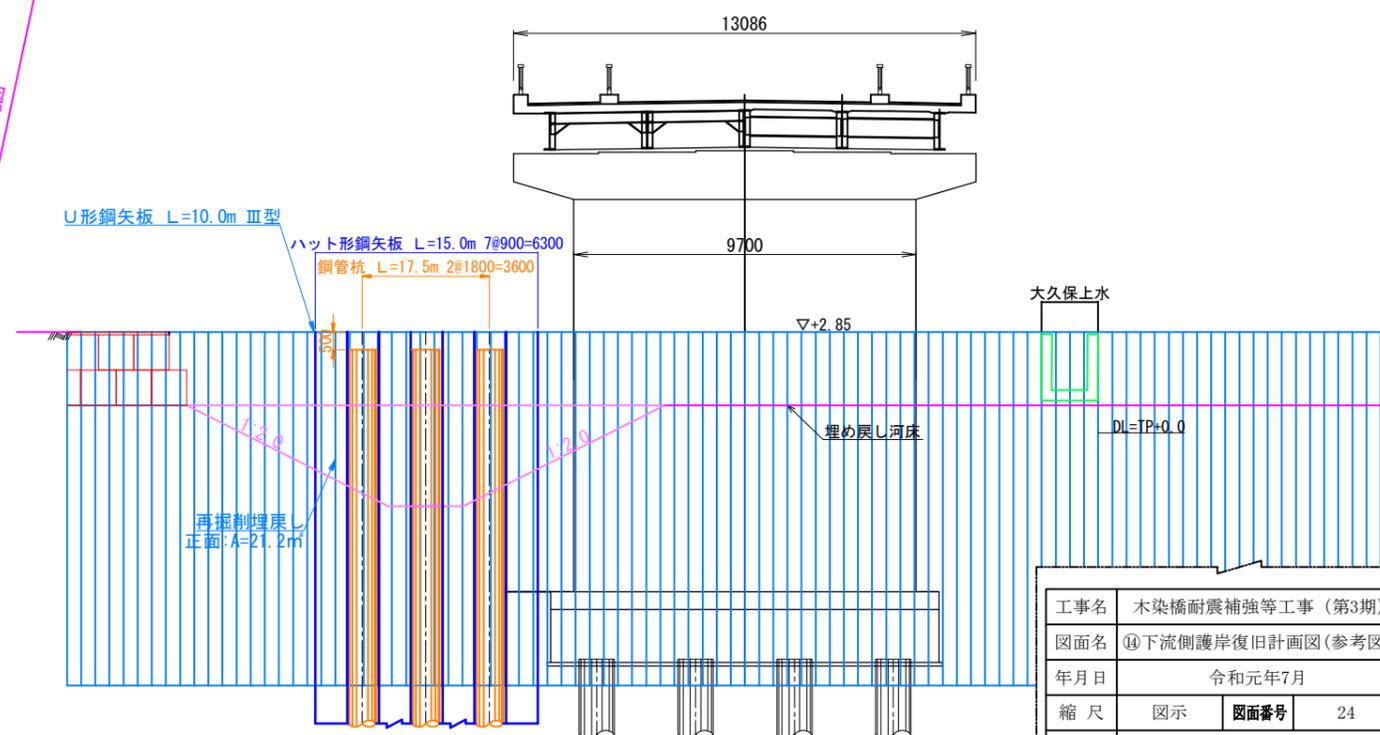
# ⑭ 下流側護岸復旧計画図(参考図)



横断図 S=1:100  
(1-1)



横断図 S=1:100  
(2-2)

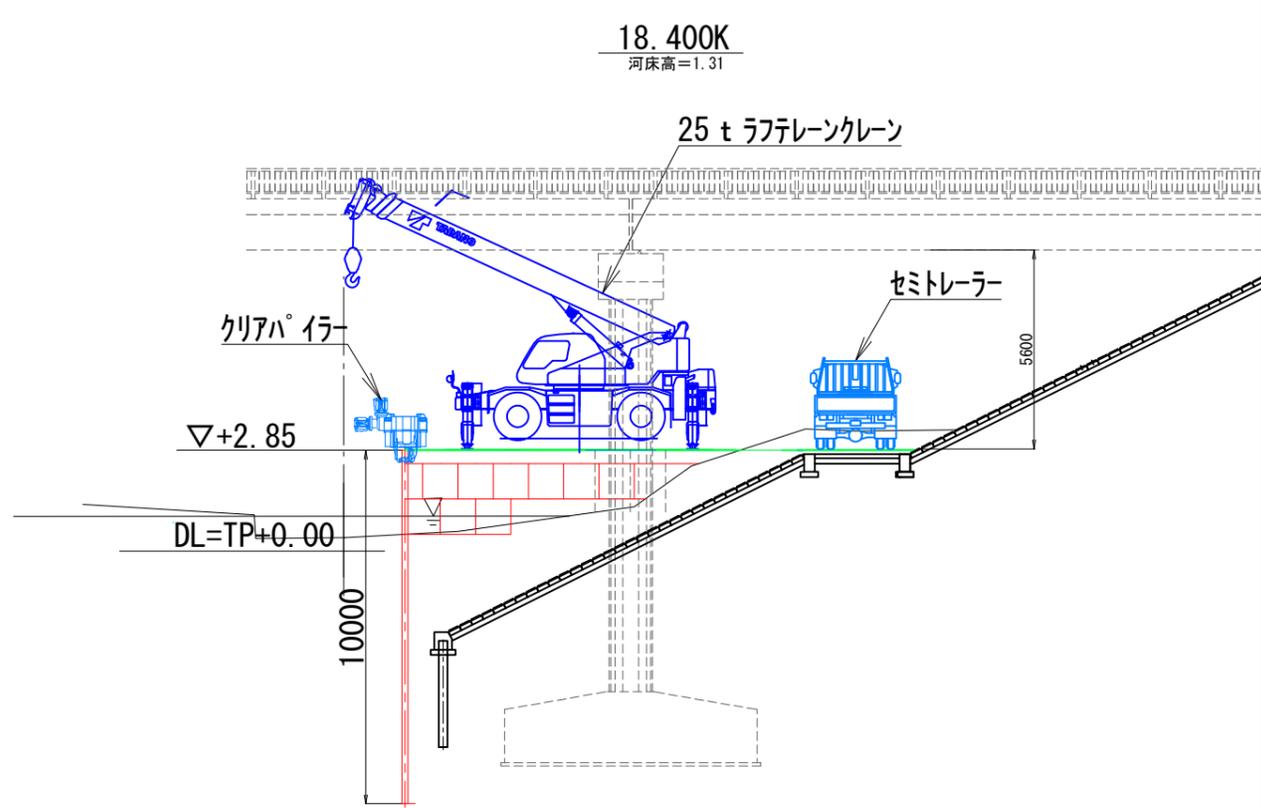
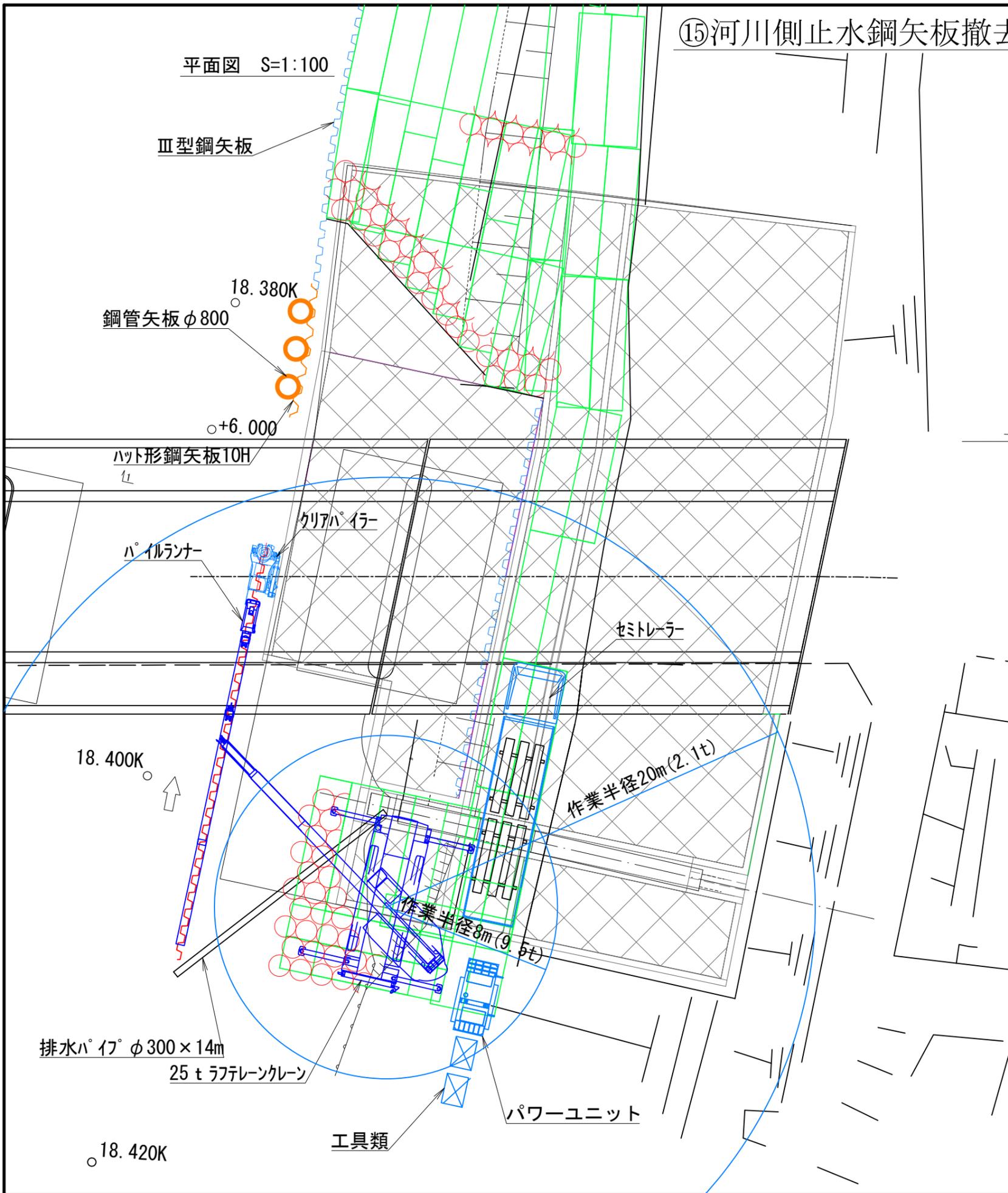


工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	⑭ 下流側護岸復旧計画図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	24
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

⑮河川側止水鋼矢板撤去図(参考図)

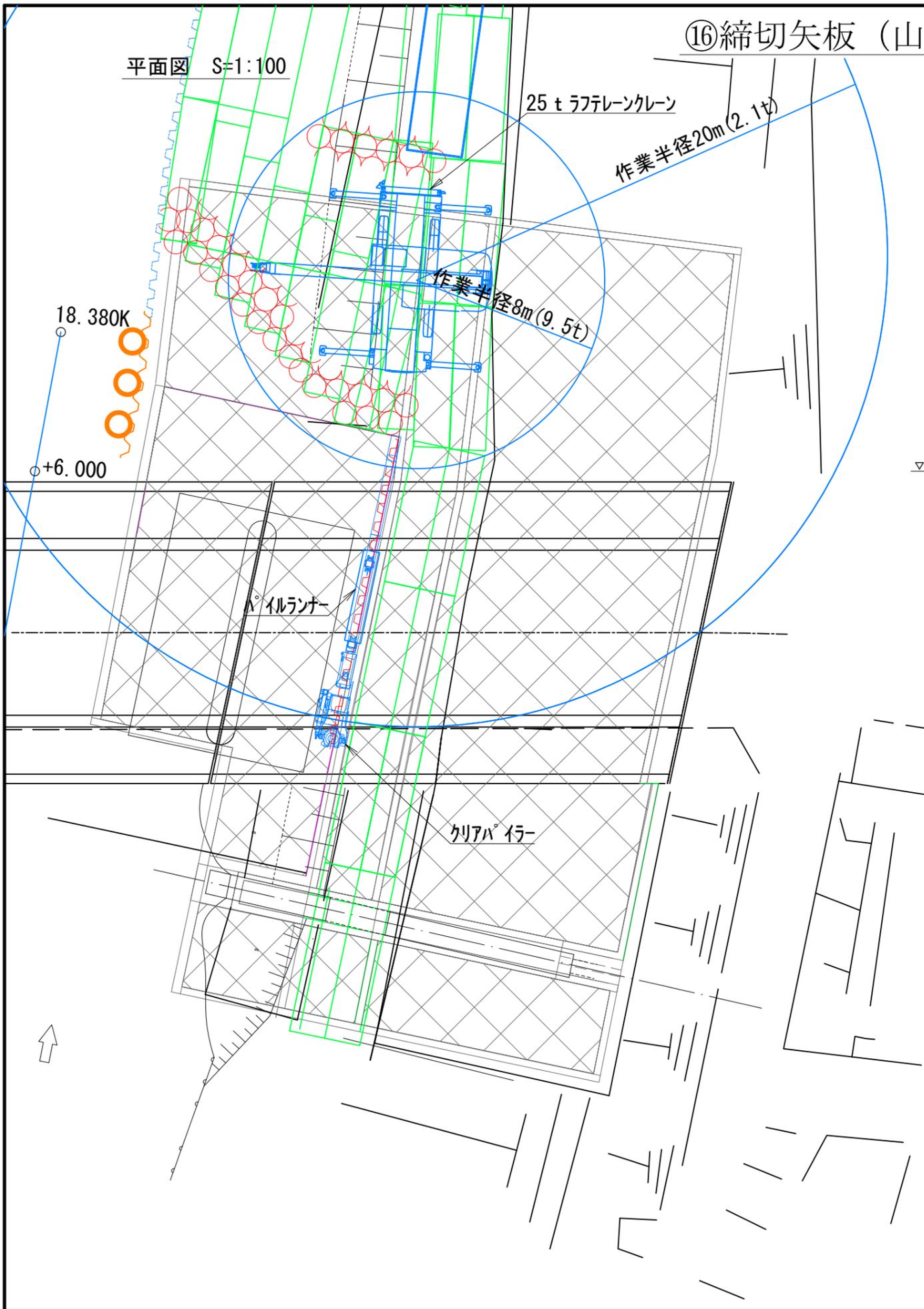
平面図 S=1:100

横断面図 S=1:100



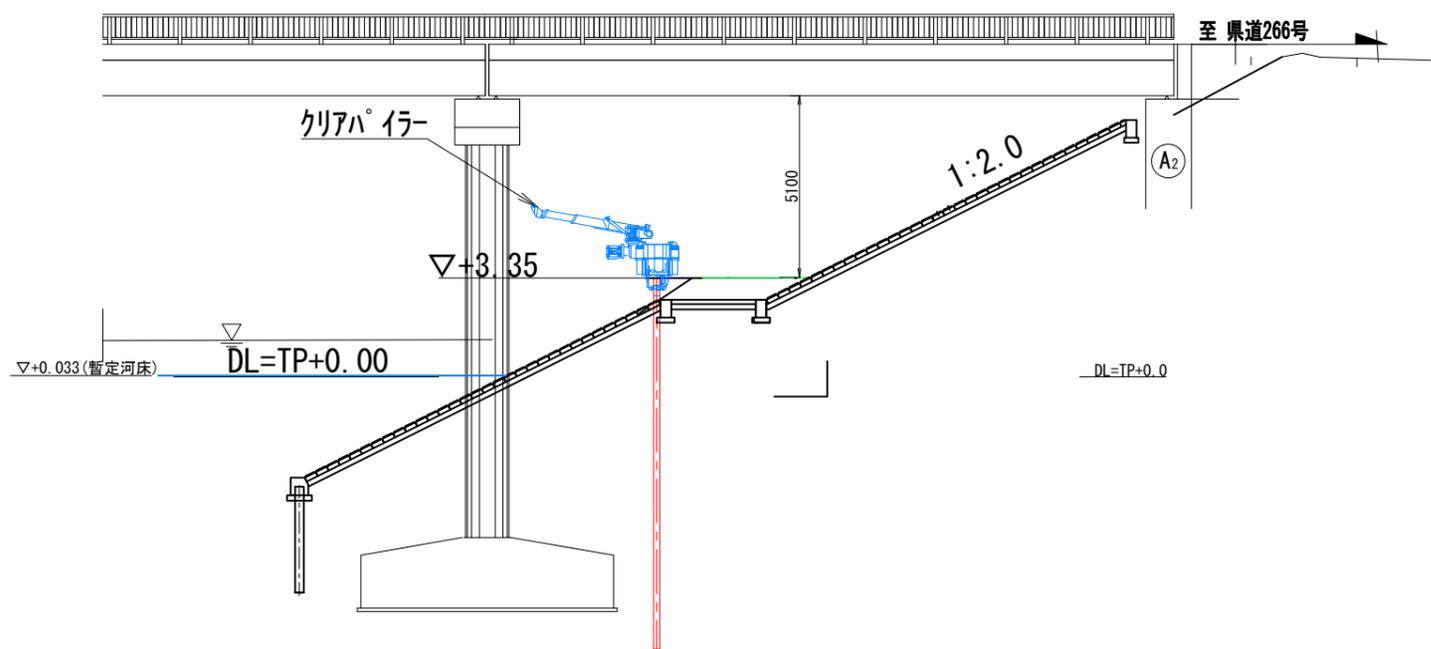
工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	⑮河川側止水鋼矢板撤去図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	25
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

⑩締切矢板（山側）撤去図(参考図)



横断面図 S=1:100

18.380k+6.0m



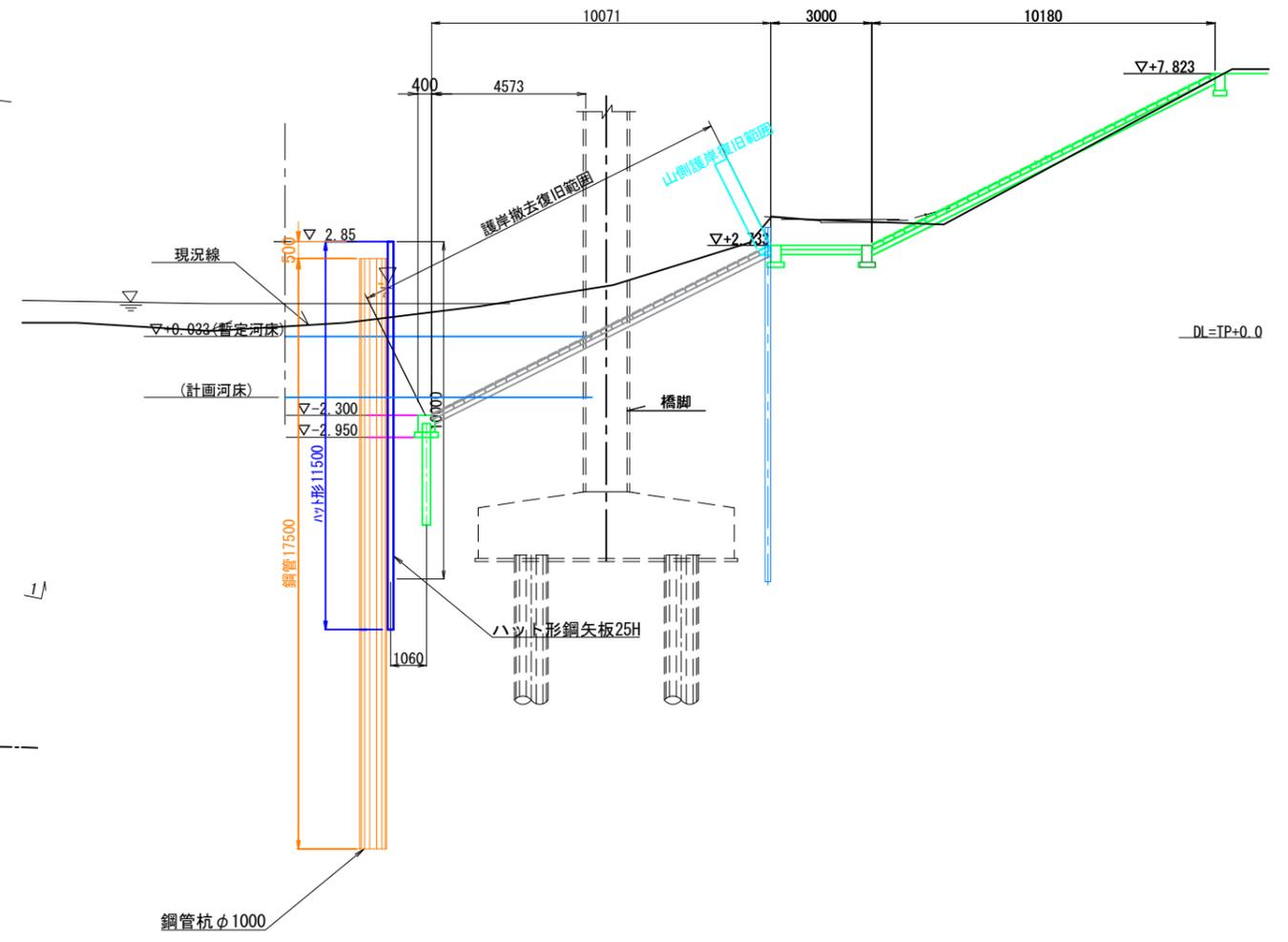
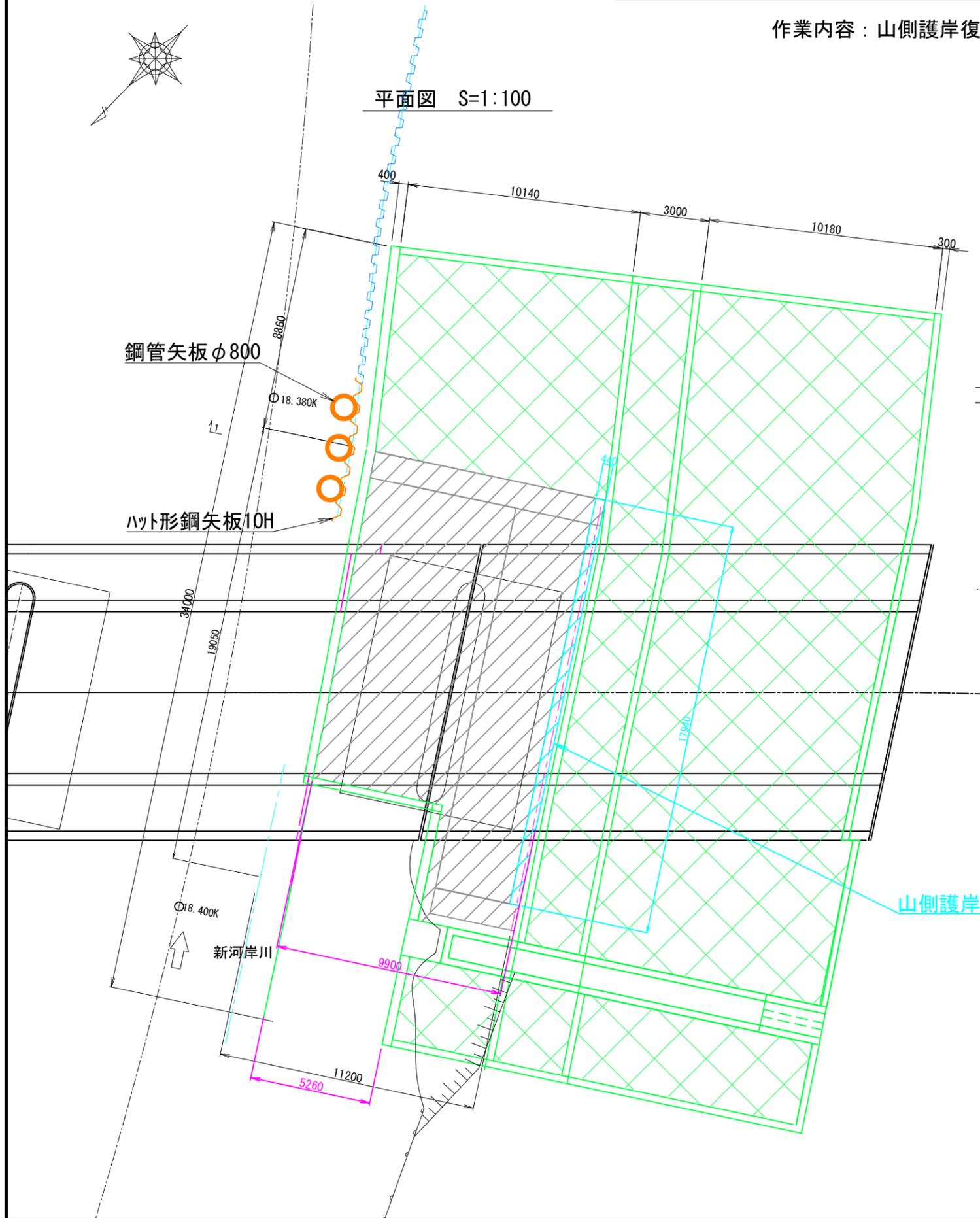
工事名	木染橋耐震補強等工事（第3期）		
図面名	⑩締切矢板（山側）撤去図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	26
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

# ⑰右岸山側護岸復旧計画図(参考図)

作業内容：山側護岸復旧

平面図 S=1:100

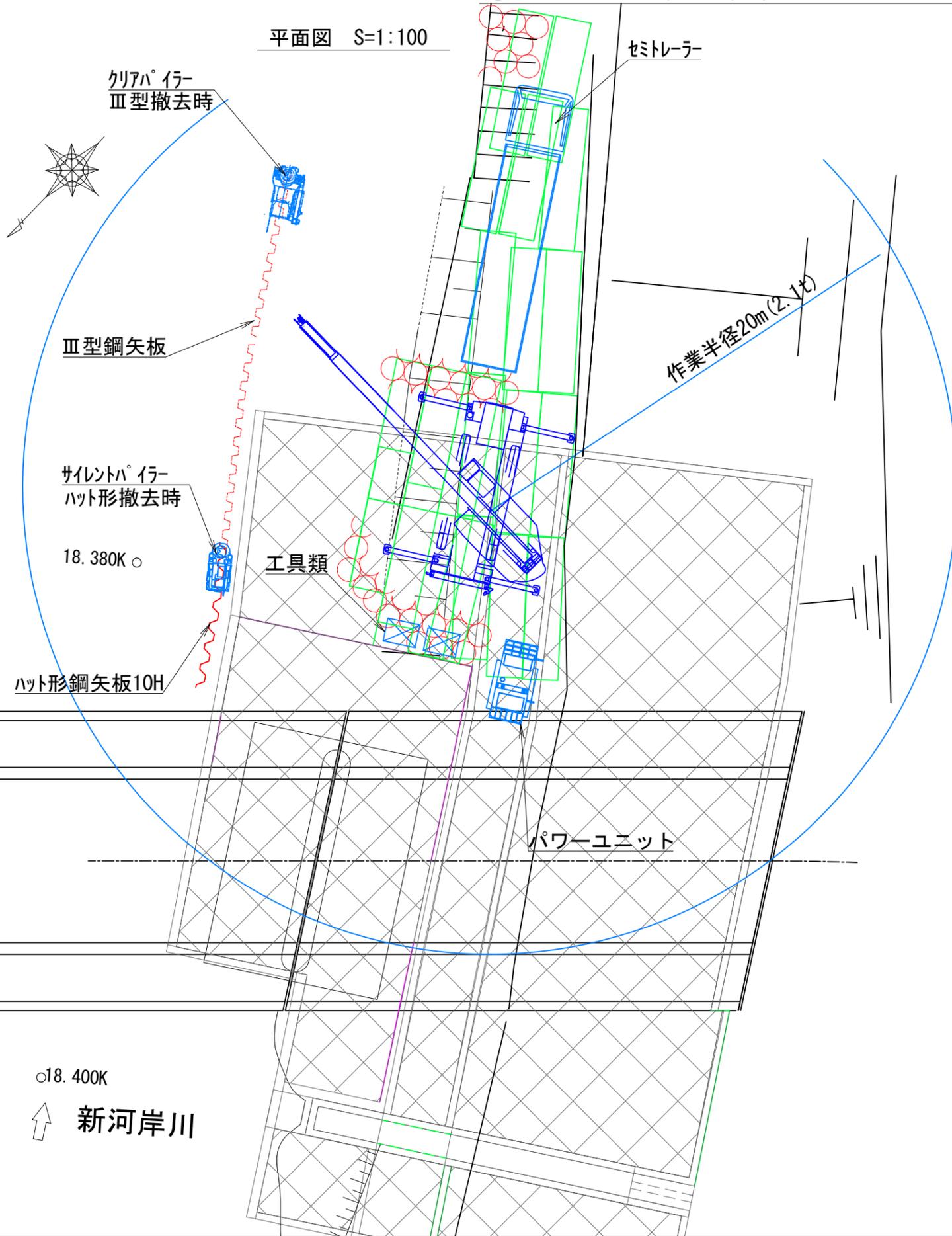
横断面図 S=1:100  
(1-1)



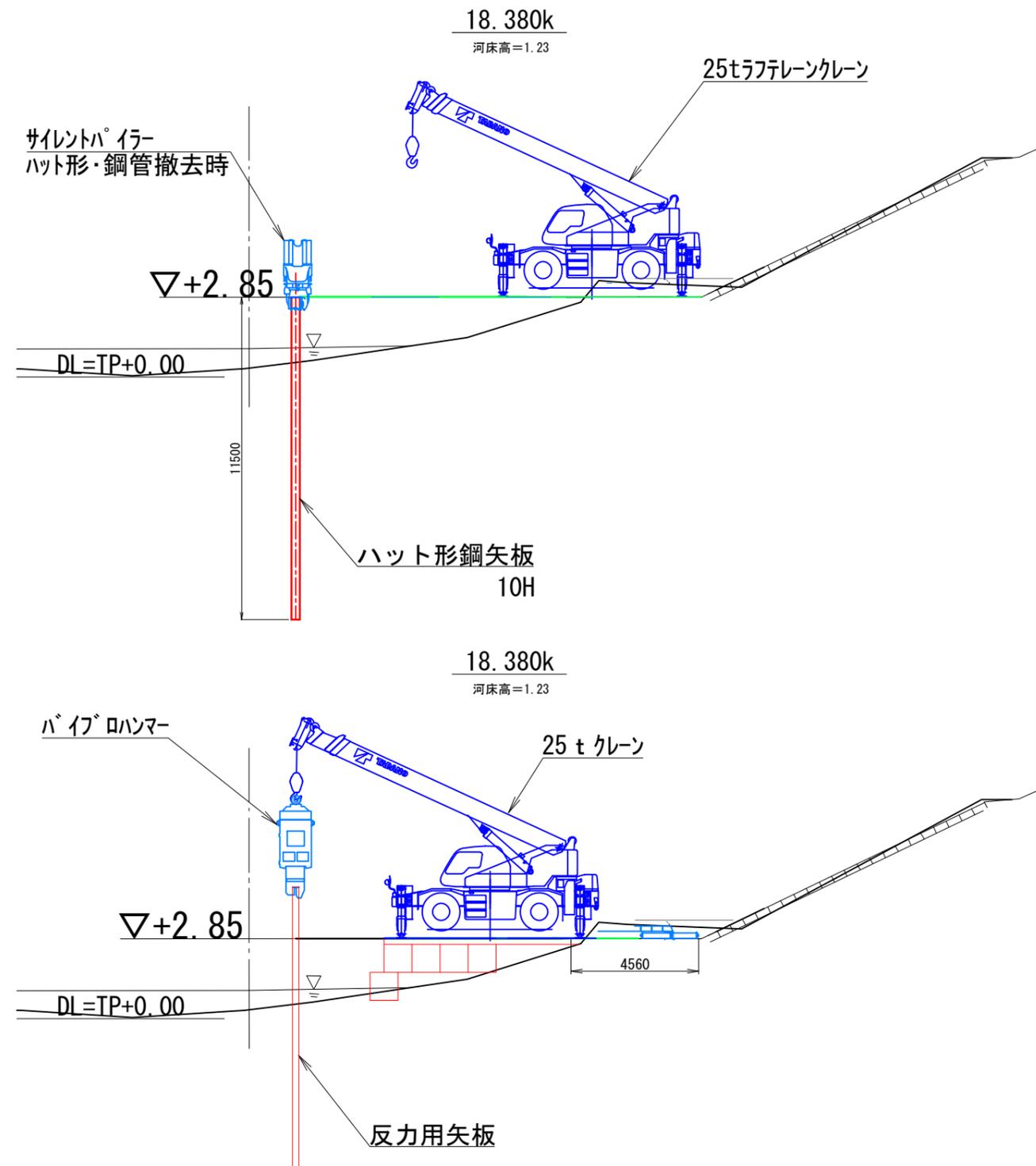
工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	⑰右岸山側護岸復旧計画図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	27
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		

⑱ハット形鋼矢板、下流側施工ヤード部鋼矢板撤去図(参考図)

平面図 S=1:100



横断面図 S=1:100



施工条件

1. 下流側矢板のうち、ハット形、鋼管矢板撤去はサイレントパイラーにより行い、U形矢板撤去は、クリアパイラーにより行う。
2. 最後に反力用矢板をパイプロハンマーにて撤去する。

○18.400K

↑ 新河岸川

工事名	木染橋耐震補強等工事(第3期)		
図面名	ハット形鋼矢板、下流側施工ヤード部鋼矢板撤去図(参考図)		
年月日	令和元年7月		
縮尺	図示	図面番号	28
会社名			
事業者名	富士見市 建設部道路治水課		